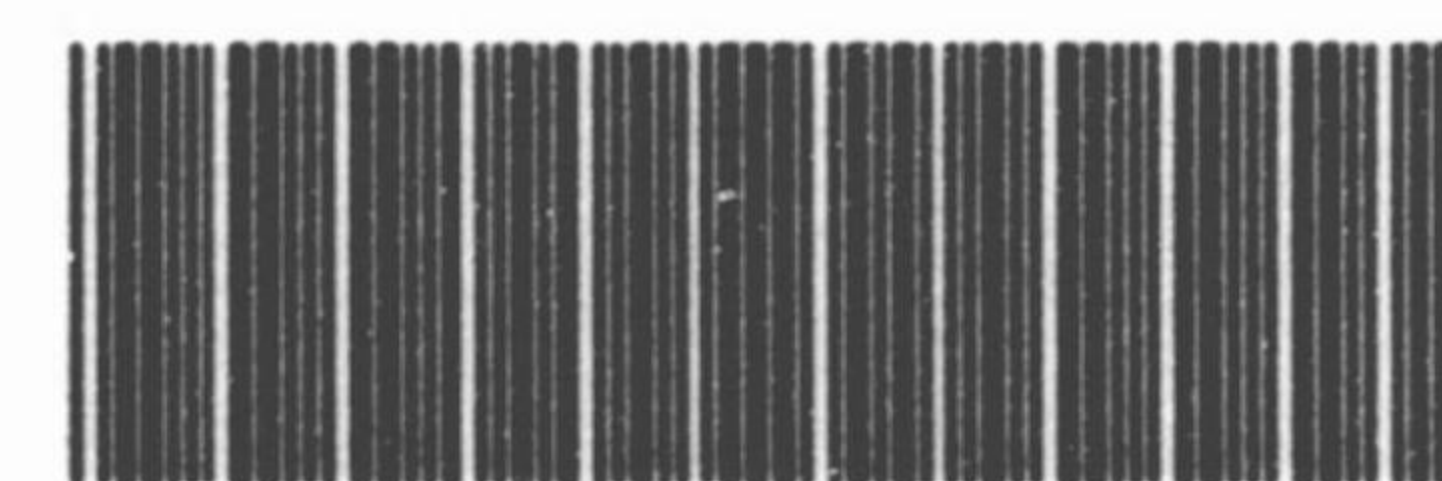


DC493

4



00792751



\*0022781000\*

0022781-000

DC493-4

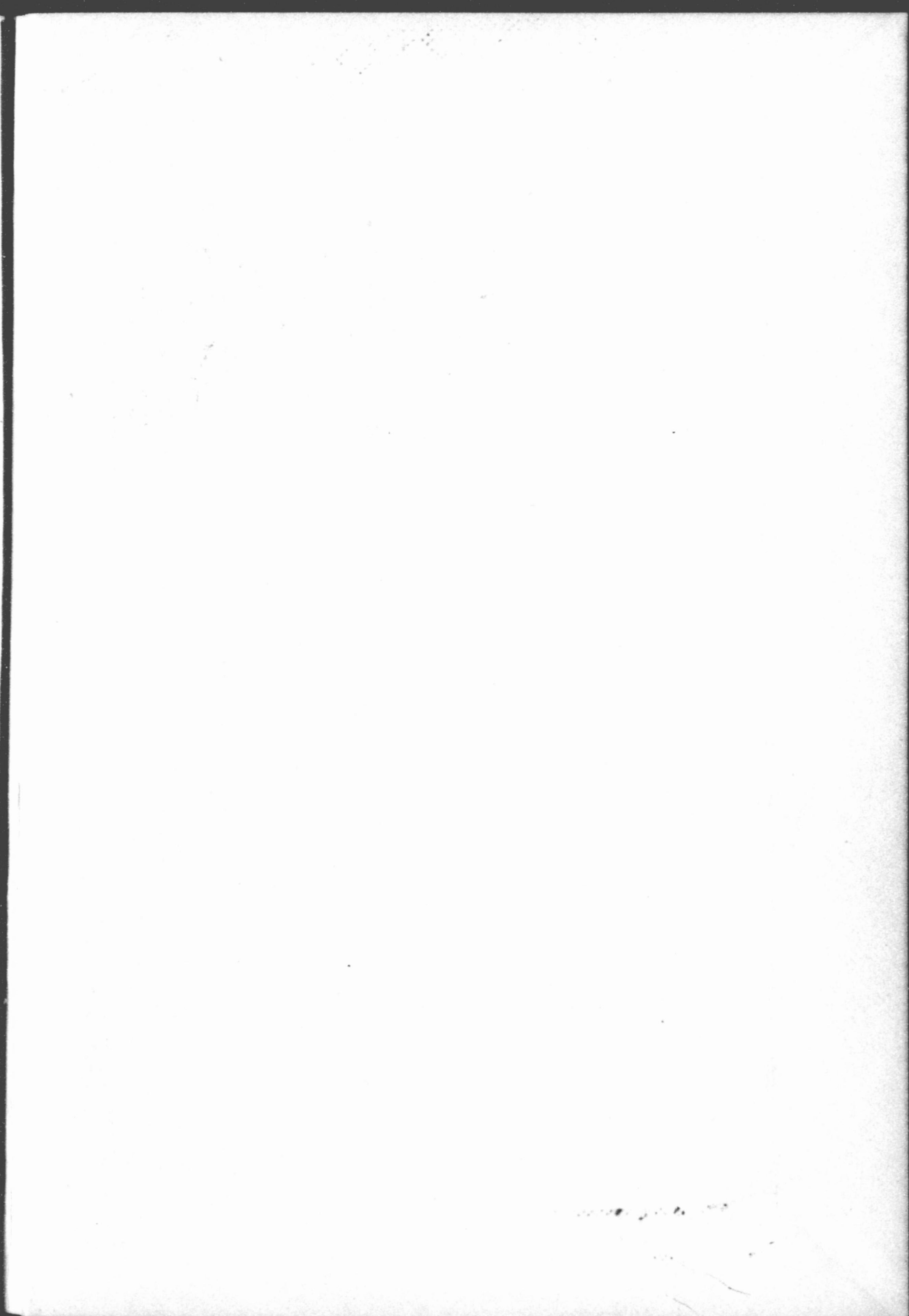
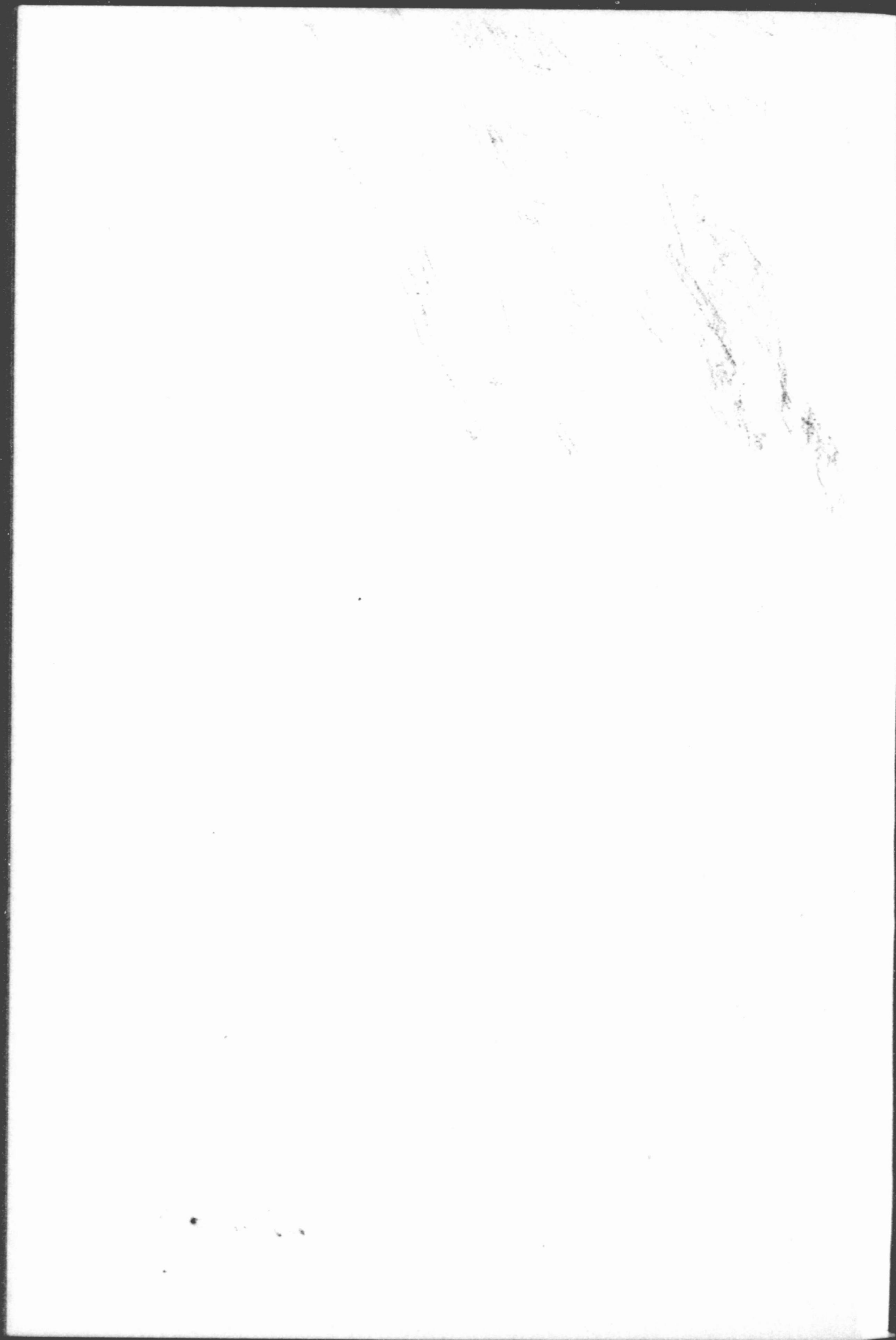
第二五ヶ年計画の全貌

ソビエト連邦共産党・編  
所・訳  
ナウカ社

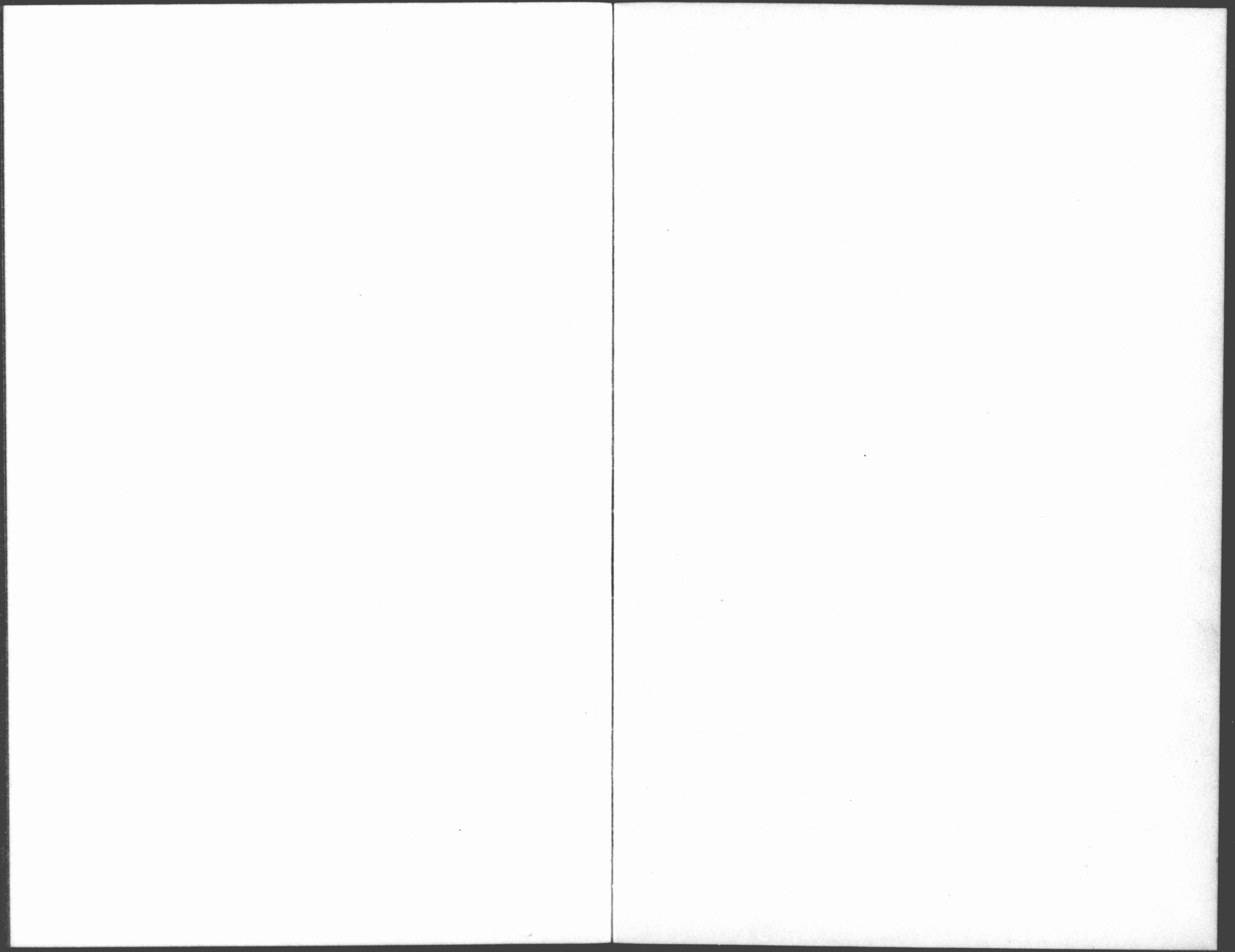
1934

ADC











池F 48

全譯  
XVII  
大會(1934年)報速記錄

# 第二五<sup>ケ</sup>年計畫の全貌

容 内

(篇 濟 經)

一九三四年 度の國民 經濟計畫	一九三三 年度の財 政計畫	第二次五 ヶ年計畫 の進行狀 態	第二次五 ヶ年計畫 案の基礎	第二次五 ヶ年計畫 の諸任務	第二次五 ヶ年計畫 の綱領
グ	メ	モ	ク	モ	第十七回 大會決議
リ	シ	ロ	イ	ロ	
ニ	ュ	ト	ブ	ト	
ウ	ラ	フ	イ	シ	
コ	ウ	フ	シ	フ	



DC493

4

437  
A  
13.9



792751

## 例言

一、本書は先に出版した「日ソ戦ふべきか」の姉妹篇であつて、やはり本年一月及び昨年十二月末にモスクワで開かれた全聯邦第十七回黨大會及び聯邦中央執行委員會に於ける各責任者の第二次五ヶ年計畫に關する報告演説の速記録の全譯である。

一、巻頭の決議及びこれに次ぐ二つの報告演説は第二次五ヶ年計畫の全貌を明かにしたものであり、後の三つの報告演説は第二次五ヶ年計畫の第一年度の経過と第二年度（一九三四年度）の計畫とを論述したものである。

一、今やロシア問題は國民注視的である。而してロシア問題研究の基礎となるべき同國の經濟過程をはつきりと提示せるこの第二次五ヶ年計畫の報告演説は、ロシア問題に關心を有する朝野全般にとつて大いに役立つものであると信じ、こゝに本書を刊行する次第である。

一九三四、四

ロシア問題研究所長

大竹博吉



目次

第二次五ヶ年計畫の綱領……………	第十七回大會決議	一—三〇
第二次五ヶ年計畫の諸任務……………	モロトフ	三一—三九
第二次五ヶ年計畫案の基礎……………	クイブイシェフ	三二—三六
第二次五ヶ年計畫の進行状態……………	モロトフ	三〇—三三
一九三四年度の國民經濟計畫……………	メジュラウク	三三—三五
一九三四年度の財政計畫……………	グリニコ	三五—三七

第二次五ヶ年計畫の綱領 (一九三三—一九三七年)

(第十七回黨大會決議、モロトフ、クイブイシェフ提案)



労働者階級の英雄的闘争によつて既に第一次五ヶ年計畫の期間に社會主義的經濟の基礎が建設され、最後の……  
……富農層は……、そして基本的農民大衆たるコルホーズ員は農村におけるソヴェト權力の強固な支柱となつた。ソヴェト聯邦は決定的に社會主義の道程に強化された。

第一次五ヶ年計畫の期間にソヴェト聯邦においては技術的に先進的な大工業が建設され、且つ現代的重工業創設事業には特に著しい成功を収めた、この現代的重工業は社會主義の物的根據であり、全國民經濟改造の基礎であり、且つ輕工業、食料品工業及び農業を一層急速に發展させる條件である。數十の新生産部門即ち精密機械製造業、自動車及びトラクター工業、コムバイン製作、飛行機及び飛行機用發動機製造、強大なタービン及び發電機製造、特殊鋼及びアルミニウムと鐵の合金製造、現代的化學工業、合成ゴム、窒素、人造纖維及び其他の製造工業が新たに組織された。メリヤス、裁縫、製靴、肉罐詰、製紙等の諸工業は現代的技術を基礎として改造せられた。全國民經濟を高い新技術的段階に移しつゝあり且つ資本主義的技術の最良水準にある幾千の先進的企業が建設された。

農業は第一次五ヶ年計畫において根本的に改造された。レニンの黨によつて指導されてゐるプロレタリアートは、幾百萬農民に集團生産の優越性を確信させ、そして農村に新たなコルホーズ制度を創設した。工業の發達の勝利は、農業を機械技術の軌道に乗せる方面ですばらしい成功をもたらした。ソヴェト聯邦は世界における最も大規模な農業國となつた。

新しい社會主義的規律を作り出す點でのすばらしい成功、労働者の資格の向上、生産の組織上の著しい成功、これ等は技術的改造の過程において労働の生産性の向上にすばらしい勝利を得させた。労働の生産性の増大速度にかけてはソヴェト聯邦は總ての資本主義諸國を（それらの國々の最高の向上諸年度に比較してさへも）凌駕した。



五ヶ年計畫の遂行につれて生じた非常な困難を克服して、プロレタリアートは、都市及び農村の勤勞者の地位の改善に歴史的な勝利を収めた。ソヴェト制度の優越性は、既に到達した發展段階においてさへ失業を完全に清算し、七時間制勞働日を實施し、農村における貧民化と赤貧とを絶滅させた。

勞働日及びコルホーズ員は明日に對する全き確信を得た。彼等の生活の物質的及び文化的水準が上るも上らぬも全く彼等の支出する勞働の質と量にかゝつてゐるのである。ソヴェト聯邦の勤勞者にとつては失業と飢餓の窮乏の脅威はなくなつた。どの勞働者もコルホーズ員も自己の將來を確信をもつて、歡喜をもつて眺め、益々高度な知識的文化的要求を示してゐる。

第一次五ヶ年計畫の期間にソヴェト聯邦は先進的な文化國に轉化した。幾千萬の勞働者農民の文盲は清算され、そして普通義務初等教育の實施に移つてゐる。校外教育は廣く發展した。新聞、雜誌その他の印刷物の發行部數は著しく増加した。科學的、技術的思想の發達の點でも著しい成功を得、幾多の技術的大問題を獨立に解決したのである。立ちおくれを最終的になくなさうと急進しつゝある諸民族地方では特に著しい經濟的、文化的成長が行はれた。

五ヶ年計畫の總結果の中には、……が、人類史上始めて全世界の幾億の勤勞者の面前で實際に證明された。

第一次五ヶ年計畫のこのすべての成功は第二次五ヶ年計畫を編成し實現するための前提と有力な根據を準備した。

「第二次五ヶ年計畫の根本的政治的課題は、資本主義的要素及び階級一般……階級的差別と搾取とを生み出しつゝある根源……、經濟及び人間の意識における資本主義的殘存物……、國內の全勤勞住民を……意識的な活潑な建設者に轉化することである」。(第十七回黨會議)

寄生的階級の殘存物の決定的清算及び全然勤勞者の掌中に入る國民所得の一般的増加は、第二次五ヶ年計畫において勤勞者及びコルホーズ大衆の福祉の一層急速な向上を保證すべきであり、實質賃銀の著しき増加を保證すべきであり、勤勞者の消費水準の二倍乃至三倍の向上を保證すべきである。

これらの課題を實現することは全國民經濟、工業、運輸、農業の技術的改造を展開することによつてのみ出來得ることである。従つて第二次五ヶ年計畫の根本的な、決定的な經濟的課題は全國民經濟の改造を完成することである。第二次五ヶ年計畫における國民經濟の技術的改造の完成を決定する條件は新たな技術と新たな生産とを體得することである。「新設事業の熱情は……」第二次五ヶ年においては「新設工場と新技術とを把握せんとする熱情によつて、勞働生産性の著しい向上によつて、生産原價の著しい低下によつて」補はられねばならない。(スターリン)。

## 一、國民經濟の技術的改造の完成と第二次五ヶ年計畫 における生産高の増加計畫

第十七回黨大會は、聯邦國家計畫委員會によつて提出され且つ黨中央委員會と聯邦人民委員會會議によつて採用されたところの第二次五ヶ年における全國民經濟の技術的改造完成計畫及び生産増加計畫を承認する。

黨大會は次の通り決定する。

(一) 一九三七年即ち第二次五ヶ年計畫の終りにおける全工業生産高を九百二十七億ルーブル(一九二六—二七年度の價格において)と定む。第一次五ヶ年計畫の終年度たる一九三二年度における同生産高は四百三十億ルーブルで



あるから工業生産高年平均増加率は一六・五%で、五ヶ年間の増加は二倍一分に達し戦前の水準に比較すれば約八倍に達する。一般消費物の生産發展速度は第一次五ヶ年計畫の速度に比較して速いばかりでなく(第一次五ヶ年計畫の年平均増加速度一七%に對して一八・五%)、更に第二次五ヶ年計畫における生産手段生産の發展速度よりも一層急速な速度を豫定する(生産手段の年平均増加速度一四・五%に對して平均年増加速度一八・五%)。

(二) 最重要工業部門の生産高を次の如く定む。

内 譯	一九三七年 の豫定實數		同上 一九三二 年に對する%
	一九二六—二七の價格にて、單位十億留	二二四・一	
全工業	九二・七	二二四・一	
生産手段生産 (同)	四五・五	一九七・二	
消費物生産 (同)	四七・二	二三三・六	
重工業委員會 (同)	三三・五	二三四・六	
林業委員會 (同)	三・六	二〇〇・〇	
輕工業委員會 (同)	一九・五	二四八・八	
配給委員會 (同)	一一・九	二五六・一	
機械及び金屬工業 (同)	一九・五	二〇七・〇	
うち	四〇・〇	二六七・〇	
金屬截斷機(單位千臺)			

トラクター(十五馬力に換算して、單位千臺)	一六七・〇	三三三・〇
コムバイン(單位千臺)	二〇〇・〇	二〇〇・〇
幹線用機關車(「エ」型及び「エス・ウ」型に換算、單位臺)	二、八〇〇	三三七・〇
貨車(二車軸車に換算して、單位千臺)	一一八・四	五三一・〇
自動車(千臺)	二〇〇・〇	八三七・〇
電力單位十億キロワット時	三八・〇	二八三・〇
うち		
地區重要發電所 (同)	二四・五	二九六・〇
石 炭 (單位百萬噸)	一五二・五	二二七
原油、ガスを含む (同)	四六・八	二二〇
銑 鐵 (同)	一六・〇	二六〇
鋼 鐵 (同)	一七・〇	二八九
展 鐵 (同)	一三・〇	三〇三
化學工業 (一九二六—二七の價格にて、單位十億留)	五・五	二八〇
挽 材 (單位百萬立方米)	四三・〇	一七六
綿 布 (單位百萬米)	五一〇〇・〇	一八八
麻 布 (單位百萬平方米)	六〇〇・〇	四六一
靴 (單位百萬足)	一八〇・〇	二二〇



製糖 (單位千噸)	二五〇〇・〇	三〇二
漁獲高 (同)	一八〇〇・〇	一三九
肉、類 (配給委員會のみ、單位百萬噸)	一一〇〇・〇	二七六
總計 (單位百萬噸)	二〇〇〇・〇	三三五

地方工業が労働者、コルホーズ員の急速に増大し行く消費を凡ゆる方面から満足させるため重要な補助的働きをなし得るといふことに鑑み、大會は、地方工業による一般消費物の生産増加を第二次五ヶ年計畫においては三倍と決定し、そして、地方機關に對して地方工業の發達及び新原料を採求する事業に最大の發意を示すべき義務を負はせる。同時に大會は全聯邦及び各共和國の幾多の企業を地方機關の手に移譲し、又地方工業の利益の可なりな部分を地方執行委員會の處分に委ねる方法によつて、地方工業を強化すべき義務を中央委員會及び人民委員會會議に負はせる。

(三) 大會は工業の發達及び國民經濟の技術的改造に關する既定計畫を遂行する爲には次の箇條が必要缺くべからざることを指示する。

(イ) ソヴェト聯邦において最短期間に最新の技術的成果の扶植を保證し、且つ一九三七年度には第一次及び第二次五ヶ年計畫中に新設され乃至は全然改造された諸企業の生産高が全工業生産高の八〇%を占めることを保證するところの全國民經濟部門の技術的再整備を行ふこと。第二次五ヶ年間のみに國民經濟へ向けられる生産用具は第二次五ヶ年の終りには全國民經濟の就業中の生産用具の五〇%乃至六〇%を占めねばならないこと。

(ロ) 國民經濟の指導的部門たる機械工業の改造を實施して、新形態の生産が廣く發達した際に起る現代的な技術的に進んだ裝備に對する國民經濟の全消費要求が國內の機械生産力でもつて満たされる様になすこと。第二の五ヶ年

間には二百種に達する最新式の機械の生産を體得しなければならない。冶金用機械工業は全冶金工場のために完全な裝備を供給せねばならない。輕工業、食料品工業用機械工業は數十種の新型機械を供給せねばならない。農業用機械工業は、農業をより以上に機械化し、特に勞力による耕作過程の機械化を實現するために、必要な凡ゆる種類の機械、トラクター附屬品の生産を體得せねばならない。

(ハ) 勞動力を喰ふ困難な工業過程を全部機械化することを大體完成すること。石炭については切羽の機械化を五ヶ年計畫の終り迄に九三%迄高め残餘の過程の機械化水準もこれに應じて引上げること。製鐵業では機械化を進め、全然機械化された焙鐵爐の鉄鐵の生産を八〇%に達せしめること。泥炭工業では機械化採掘法による泥炭の採取高を全採取高の七〇%以上に達せしめること。建築業においては基礎過程の機械化を八〇%迄高めること。基礎的な製材過程の機械化を搬出作業においては六倍に高め、挽材においては三倍に高めること。

(ニ) 國民經濟全部部門の改造を完成するために新たな動力根據を創設し、そして送電網の各分岐點に動力を貯藏し國民經濟に不斷の電力供給を保證すること。あらゆる工業部門殊に冶金業及び化學工業の生産に最新式電力利用を最も廣く應用することによつて(生産における電力の消費増加は九倍以上)、又運輸事業の電化を廣汎に發達せしめることによつて、又農業の生産過程に徐々に電力を扶植することによつて、産業の電化を根本において完成すること。工業及び大都市の暖房装置をより廣汎に發展させること。電力供給のために種々な地方的燃料殊に水力資源を一層廣く利用する方針を繼續すること。第二次五ヶ年計畫においては各地區内の地區發電所の環狀送電網を完成し、且つ第二次五ヶ年においては世界最大の電力供給系統(ドンバース—ブリドニエプロウイエ、年發電量九〇億キロワット時)の開設をも含む地區間の環狀送電を開始すること。泥炭及び頁岩の瓦斯化を進めること。



(ホ) 製鐵業の國民經濟の一般的發達速度から立ちおくれつゝを完全に清算すること。五ヶ年計畫の期間に冶金業の生産能力を二倍に高め、熔鐵爐能力とそれに立ちおくれつゝある熔鋼場殊に展鐵工場能力との隔たりを出来るだけ速に克服すること。あらゆる種類の金屬即ち良質金屬、電氣鋼、鐵合金、複雑な壓延金屬等の生産を發展さして國民經濟の消費を完全に満たすに到らしめること。貧礦處理法及び鑛石凝集法を廣く適用して鐵鑛工業を一般的に改造すること。

卑金屬工業の發達及び技術的再裝備に特に急速な速度を與へること。鋼の生産上現代的な生産方法（淨鑛法、反射爐）へ完全に移り、亞鉛の生産上では先進的な電氣溶解法を廣く扶植して、一九三七年度には全亞鉛生産の七〇%をこの方法で生産すること。錫、ニッケル、マグネシウムの生産を組織しアルミニウムの生産を廣く發達させること。全國民經濟、特に電化事業の有色冶金業の生産品に對する需要を完全に満足せしめること。

(ヘ) 化學工業の發達に決定的進歩を齎らし全國民經濟部門の廣汎な化學化と國防の強固とを保證すること。あらゆる種類の肥料の生産を第二次五ヶ年計畫の期間に十倍に高めること。幾多の化學的新生産の創設事業を廣く發展せしめること（石炭、泥炭、頁岩等の硬質燃料の化學的處理、各種の新有機染料、整形資料、合成ゴム等）。化學工業に最新の工藝的過程を適用すること（電熱法及び電解法の廣汎なる發達、ガス状態における反作用の適用等々）。化學工業と他の工業部門（コークス工業、有色冶金業、製鐵業及びその他）との結合を強め且つ幾多の新原料の採用を盛んならしめること。

(ト) 輕工業及び食料品工業の最重要部門の生産を、大規模機械工業の創設に立脚して、出来る限り發展させること。——紡績業内の自動織機の比重を五ヶ年計畫の終りには四〇%迄高めること、亞麻工業に高速機械を扶植し且つ

亞麻の第一加工工程を根本的に改造して其の技術的立後れを清算すること。メリヤス、裁縫、製靴工業の全面的的機械化を實現すること。綜合工場の發達を土臺として大規模な機械的獸肉工業を創設すること。トロール船隊を著しく大改造して其の漁獲高の比重を國家の全漁獲高の七〇%迄高めること。最も有效な抽出製造法を扶植して製油工業を廣汎に改造すること。

(四) 工業を技術的に改造する任務を實現するには新技術と新生産をうまく體得する必要があるが、これは勞働の生産性の著増と生産原價の激減に表現されねばならない。これに關して大會は次の如く決定する、

(イ) 第二次五ヶ年間に於ける勞働生産性の増大は工業においては、第一次五ヶ年計畫の四一%に對し六三%とする、即ちこの六三%は、勞働生産性が第二次五ヶ年の生産増加豫定計畫の遂行上、決定的な要因となるが如き向上率である。

(ロ) 全工業の生産原價の低下率は二六%とする、これは一九三二年度の生産原價水準と比較してその低落の結果一九三七年度には百三十億ルーブルを下らざる蓄積を保證するものである。

(ハ) 生産原價の低落と同時に國民經濟全部門に於ける生産品の品質と種類の著しい改善を實現すること。石炭の中の灰分と黃硫分の含有量を著しく減少させ、冶金業内の品種を高め、機械の品質と有効利用係数を改善し、製絲の品位を高め、紡績業亞麻工業の織物の品質を著しく改良し、毛織工業に於ける精巧羅紗の比重を増し、織物に於ける細毛の比重を高め、大脂肪工業に移つて石鹼の品質を著しく改良し、縫付方法と原料を改善して靴の品質を改善し、豚肉、腸詰製品、食用脂肪の比重を引上げることによつて獸肉工業の生産物の質を改善し、良種魚類の比重を増すことによつて漁業產品の質を改善し、高級製粉の比重を増して製粉工業の種類と製品を著しく改善すること。



(五) 第十七回黨大會は、五ヶ年計畫の期間の全農業生産額の増加を百三十一億ルーブル(一九二六—二七年度の價格において)から二百六十六億ルーブル迄即ち二倍以上と定める。

農業の各重要部門に對して大會は次の如き生産高に達すべき義務を負はせる。即ち、穀物は十億四千八百萬ツェントネル、其の收穫率は一ヘクター當り一〇ツェントネル、甜菜は二億七千六百萬ツェントネル、其の收穫率は一ヘクター當り二〇〇ツェントネル迄、棉花は七百萬ツェントネル、其の收穫率は一ヘクター當り一二ツェントネル迄、亞麻纖維は八百萬ツェントネル其の收穫率は三・七ツェントネル迄夫々高上し、且つ畜産品は二倍四分の一に高めること。

(六) 大會は、農業生産額を豫定通りに増加することは共營化を全く完成し全農業の技術的改造を實現することによつてのみ出来ることであつて、そのためには次の箇條が必要缺くべからざることを強調する。

(イ) 次の様な事業を土臺として穀物、牧畜、甜菜、棉花その他のツフホーズを模範的農業企業たらしめること。大機械經營の技術體得の事業を頑強に遂行し、適正な輪作法と種子改良を完全に行ひ、家畜の改種を行ひ、生産品の品質を高め、穀類、甜菜、棉花、肉類、牛乳、バター、皮革、羊毛などの國家への受渡高を増大し、且つ尨大なツフホーズを幾つにか分割して堅實なものとなし、過度の専門化を廢止してツフホーズの全生産組織の決定的改善をとけることがこれである。

(ロ) 機械・トラクター配給所(略してM.T.S.)數を一九三二年度の二千四百四十六ヶ所から一九三七年には六千ヶ所迄増加し、全コルホーズをM.T.S.の下に網羅すること。

(ハ) トラクターの總馬力を一九三二年の二百二十五萬馬力から一九三七年には八百二十萬馬力迄、即ち三・七倍に増加し、コムバイン臺數は十萬臺迄、農業用自動車は十七萬臺迄即ち十二倍以上に増加すること。

(ニ) 農業の機械化を根本的に完成すること、トラクター耕地及秋耕地は一九三七年には八〇%、栽培は七〇%、トラクター收穫機による穀類の收穫は六〇%、脱穀の機械化は八五%を占むべきであること。

(ホ) 廣く農學的、技術的方策の一體系を扶植し、正しい循環農法を實施し、純良種の播種を穀物播種面積の十五%に及ぼし、總播種面積の五〇%に凍耕を行ふこと。

(ヘ) 棉花の播種に窒素肥料の供給を第二次五ヶ年計畫期間中に播種面積の六%から八〇%迄増加し、甜菜に對しては窒素肥料を六%から四〇%迄増加し、磷肥料は九%の代りに全面積に及ぼし、而して廣く灌溉作業を發展させ灌溉面積を百萬ヘクターだけ擴大すること。

(七) 大會は、基本的運輸形態の貨物輸送の増加を次の如く規定する。鐵道運輸——一九三二年の一千六百九十億噸・籽から一九三七年には三千億噸・籽迄。河川運輸——二百六十億噸・籽から六百三十億噸・籽迄。海上運輸——一百八十億噸・籽から五百十億噸・籽迄、そして自動車運輸は十億噸・籽から一百六十億噸・籽迄。

荷物運輸事業を各種の運輸機關に一層合理的に分配するために、鐵道運輸の基本的役割を依然として残しつつ、しかも大會は新運輸形態たる自動車航空運輸並に水路運輸の積荷作業における比重を高める必要あることを指摘する。

(八) 大會は、運輸事業と通信事業の技術改造の必要を強調する、この改造は次の如き根本方向に行はるべきである。

(イ) 最重要鐵道線路の改造の實現。即ち鐵道線路五千籽に互る電化。最も負荷率の高い基本幹線約九千五百籽に複線を敷設(ウラルリンクス鐵道、ザバイカル及びウスリ鐵道、ドンバスの諸鐵道等々)。鐵道分岐點及び停車場の驛内線を八千五百籽だけ増設。輕量レールを重量レールに取換える延長二萬籽。橋梁の廣汎な建設、八千三百籽に互



る自動閉鎖機網の装備、使用線路の強化(砂利バラスト層の移行、二籽あたりの枕木の量の増加等)。

(ロ) 機關車臺数を一九三二年の一萬九千五百臺から一九三七年には、二萬四千六百臺迄増加し、同時により強力な、完全な型の機關車への移行を実現すること。強力な機關車「エフ・デ」型機關車は第二次五ヶ年においては貨物機關車の基本単位となるべきであり、強力な機關車「イ・エス」型は客車用機關車の基本単位となるべきである。重油機關車及び電気機關車はより廣汎に利用されねばならない。

(ハ) 貨車臺数を一九三二年の五十五萬二千臺から一九三七年には八十萬三千臺まで増加し(二車軸の計算)、大型貨車の比重を著しく増加し、全貨車に自動制動機を装備し、貨車總数の半数以上に自動連結機を装備する。

(ニ) 最大の新鐵道線路の建設を実現すること、即ちバイカル・アムール幹線、アクモリンスク・カルタール間、モスクワ・ドニバス間、カラガンダ・バルハシ間、ウファ・マゲニイ間その他、これらの線路は鐵道網の延長を一九三三年一月一日の八萬三千籽から一九三八年一月一日には九萬四千籽迄延長するものである。

(ホ) 水路運輸においては人工水路即ち運河の巨大な建設が遂行されねばならない。白海・バルチック運河(この延長二百二十七籽(第一工程は第二次五ヶ年計畫の第一年に終つた)、モスクワ・ヴォルガ運河、この延長百二十七籽、ヴォルガ・ドニ運河)の延長百籽、マリンスク水運網とモスクワ・ヴォルガ運河の改造、これと共に現在使用中の各水路に大規模の水力工學的作業を施し(ドニエプル河の貫通航路、ソージ河の水門施設、中部ヴォルガ河の改造)水路の改造を根本的に保障し、そして、白海、バルチック海及びカスピ海を結びつけるソ聯邦州部の統一的水路網を創設すること。航行路の延長は第二次五ヶ年間に八萬四千籽から十萬一千籽迄増加しその航行條件を著しく改善すること。海洋船舶及び河川船舶は根本的に更新され改造されねばならない。又小河川に使用すべき小型船の建造を進展せしめ

ること。

(ヘ) 自動車運輸については自動車臺数は一九三三年一月一日の七萬五千臺から一九三八年一月一日には五十八萬臺迄、即ち殆んど八倍に増加すべきである。普通路及び砂利道路網の建設を廣く展開して、これによつて根本的に無道路状態を清算し、國內の總道路網は、地方資源によつて行はれる相當な建設を除外しても、尙二十一萬籽だけ増大する。

(ト) 民間空輸においては、全聯邦的意義を有する航空路網は第二次五ヶ年に三萬二千籽から八萬五千籽迄即ち殆んど三倍に増加すべきである。これと共に地方的航空路の建設を廣く發展させ、その就業線の延長は一九三七年には三萬五千籽に及すべきである。

(チ) 運輸事業の積荷積下ろし作業の機械化では決定的進歩を遂ぐべきである、即ちその機械化の増加は鐵道運輸においては三倍(一八%から五七%迄)、海上運輸においては一四%から七二%迄、河川運輸においては一二%から五六%迄即ち約五倍に達すべきである。

(リ) 大會は凡ゆる種類の遞信事業、就中ラヂオの大發達を來し且つ遞信事務の質を根本的に改善すべき必要を強調する。

(九) 運輸事業の物質的技術的基礎の著しい向上に應じて、又労働の生産性を著増する可能性の創造に應じて、大會は第二次五ヶ年間に鐵道運輸においては労働の生産性を四三%だけ、水運においては八六%だけ向上せしめ、同時に運輸全體における原價の低下を四〇%(其中、鐵道は一〇・五%、水運は三六%、自動車運輸は五四%)と規定する。



(十) 技術的改造を實現し、技術を獲得し、勞働生産性に關する諸任務を遂行する上で決定的な一條件は、資格労働者、技手及び技師の養成であり、プロレタリア自身の生産的技術的インテリゲンチヤ養成問題の解決である。これに應ずるために、大會は、第二次五ヶ年における幹部(技術)養成計畫を次の如く規定する。

(イ) 五百萬の大衆的資格労働者の養成、そのうち工場附屬學校において二百五十萬人、農業の常設學校及び講習所において百五十萬人以上(トラクター運轉手、班長其他)、運轉手學校及び講習所において七十萬人。

(ロ) 第二次五ヶ年間に高等専門學校を卒業した専門家三十四萬人を出すこと、これは第一次五ヶ年計畫における十七萬七百人に比し二倍の増加である。そして技術學校を卒へた専門家八十五萬人を出すこと、これは第一次五ヶ年計畫における三十萬八千人に比し三倍の増加である。

(ハ) 國民經濟の全部門における資格専門家數の増加は二百七十萬人から四百萬人まで即ち四六・五%の増加である、そのうち工業における専門家數の増加は五七%、運輸及び通信事業においては六〇%、農業においては二倍である。

(十一) 大會は、學術的技術的研究所殊に工場附屬研究所の活動を最も廣汎に展開することの必要を指示する。學術的技術的思想と發明思想は新技術の扶植、新形態の生産の組織化、原料及び動力の新利用法等の諸事業において有力な要具とならねばならぬ。

## 一、第二次五ヶ年計畫における新建設計畫

(十二) 國民經濟の技術的改造の完成及び工業、農業、運輸事業の豫定の生産的課題は第二次五ヶ年における巨大な建設計畫の實現を要求する。

第十七回黨大會は、國家計畫委員會によつて作成されたる第二次五ヶ年における建設計畫を是認し、第二次五ヶ年計畫における國民經濟の全資本工作高千三百三十四億ルーブル(一九三三年の價格において)を確認する(第一次五ヶ年計畫においてはこれは五百五億ルーブルであつた)。そのうち、

(イ) 工業への資本投下額は六百九十五億ルーブル、(第一次五ヶ年計畫は二百五十億ルーブル)。そのうち生産手段を生産する工業に五百三十四億ルーブル(第一次五ヶ年計畫では二百十三億ルーブル、即ち二倍半の増加)。消費物を生産する工業に百六十一億ルーブル(これは以前の三十五億ルーブルに比して四・六倍の増加である)。

(ロ) 農業への投下資本額は、百五十二億ルーブル(第一次五ヶ年計畫の九十七億ルーブルに對し一倍半以上の増加)。

(ハ) 運輸事業には二百六十三億ルーブルでこれは八十九億ルーブルに對し三倍の増加である。

大會は輕工業、食料品工業及び運輸事業の資本建設がこの豫定の通り多大の増加を來すことは、國民經濟の他部門に比較してそれら産業部門の一層急速な發達速度を保證するものであると認める。

(十三) 大會は第二次五ヶ年間に新設企業及び改造企業で操業開始をなすものの資金總額を、第一次五ヶ年計畫の三百八十六億ルーブルに對し千三百二十億ルーブルと確認する、そのうち工業では百五十七億ルーブルに對し、六百九十一億ルーブル、農業では九十二億ルーブルに對し百五十四億ルーブル、運輸事業では七十七億ルーブルに對し二百五十六億ルーブル。



(十四) 資本工作のこの豫定額と新設及び改造企業の操業開始計畫とは、ソヴェト聯邦の生産技術能力の巨大な成長を保證し、次の如き國民經濟の最重要部門のうちに必要なる餘力の形成を保證するものである。即ち、

(イ) 基本資金の總額は第二次五ヶ年間に八百五十億ルーブルから千九百五十億ルーブル迄増加する(一九三三年の價格において)、これは基本資金の二・三倍の増加を意味するものである。そのうち工業については、二百五十五億ルーブルから七百七十億ルーブル迄、農業では百十四億ルーブルから二百二十六億ルーブル迄、運輸では百九十八億ルーブルから三百八十五億ルーブル迄それぞれ増加する。

(ロ) 最重要工業部門における生産能力は次の如く増加すべきである、製鐵業(鉄鐵)では二・三倍、石炭業においては二倍以上、發電機の生産では二・四倍、自動車工業では殆んど四倍、機關車製造工場では三・二倍、車輛製造工場では三・九倍、地區發電所においては二・五倍、製靴工業では二倍、紡績工業では一倍半、亞麻工業では二倍以上、製糖業では一倍半、大獸肉聯合工場では二倍半。

(十五) 大會は次の如き最重要なる建設事業に特に注意を集中する必要を認める。

機械製作においては、第一次五ヶ年計畫によつて建設をはじめられた次の諸工場の落成。即ち重機械製作のウラル工場(能力十六噸)、ウラルのグラマトール化學工業中機械工場(生産力十五萬噸) ルガン機關車製造工場(年生産力「エフ・デ」型機關車千八十臺)、オルスキー機關車・重油機關車製造工場(年生産力機關車五百臺、重油機關車五百臺)、カシルの電氣機關車工場(年生産幹線用電氣機關車三百臺)、ウラル貨車製造工場(生産力四車軸貨車五萬四千臺)、クズネツとイルクーツクの車輛建造工場(年産四車軸車各一萬臺)、ウフアのモーター工場(年産力モーター五萬臺)、百五十萬キロワットのハリコフ・タービン發電機工場。

次の諸工場の擴張。即ちゴリキ市市の自動車工場の生産力を三十萬臺迄、モスクワのスターリン自動車工場の生産力を八萬臺迄、ヤロスラフ工場の生産力を五噸貨物自動車二萬五千臺迄、その他。

第二次五ヶ年に次の諸工場の建設。生産力三噸貨物自動車各十萬臺のウフム自動車工場とスターリングラード自動車工場。五噸貨物自動車二萬五千臺のサマラ工場。磨き工場、穿孔工場、齒切工場、自動機械及び重機械工場。年産二千四百萬個の一大ボトルベアリング工場。ウラルの電氣器具及び變壓機工場。紡織機械製造工場及び食料品工業用裝備工場群の建設等がそれである。

電化の方面では七十九ヶ所の地區發電所の建設。そのうち建設の完成は、二十五萬キロワットのズイフスカヤ發電所、二十萬四千キロワットのゴリキ市發電所、十八萬キロワットのシャツィラ發電所、十萬キロワットのゾゥプロフカ發電所、九萬六千キロワットのスピーリ第三水力發電所。發電力五十五萬八千キロワットのドニエプル國營地區發電所の完成。次の新大發電所の裝備とりつけ。即ち發電量四十萬キロワットのスターリノゴル發電所、二十五萬キロワットのボブリコフ發電所、十四萬八千キロワットのケンメラ發電所、ドンバスの有力な新發電所數ヶ所、十七萬キロワットのチルチク第一水力發電所、八萬八千キロワットのカナキル發電所、六萬キロワットのフラマ河の發電所、十四萬四千キロワットのスピリ第二發電所等、及び中部ボルガストロイ發電所の建設の進展、十萬キロワットのヤロスラフ發電所、三十一萬キロワットのベルム發電所及び二十萬キロワットのゴリキ市の發電所。

都市暖房装置のための大規模な中央暖房所の建設即ちレニングラード市のモスコフスコ區とナルフスキー區の中央暖房所、モスクワ市のスターリン區とフルンゼン區の兩中央暖房所、ハリコフ市のソルモヴ、カナビンスクとクラスノザヴ、ツクの兩中央暖房所。その他、地方的意義を有する最大工場發電所即ち十九萬八千キロワットのマグニト



ゴルスカヤ発電所、十萬八千キロワットのクズネツカヤ発電所其の他の建設。

石炭業においては、大炭坑建設の發展と一億四千三百萬噸の探炭力を有する百七十八の新炭坑の操業開始。

石油業においては、石油加工工場群（四十三箇の第一蒸溜管、九十三の分溜場）の新設、總延長四千軒以上に達する石油並石油製品輸送管の敷設。

泥炭及び頁岩工業の建設を進展すること。

製鐵業においては、次の諸工場の建設。即ち、鉄生産高二百七十萬噸のマグニトゴルスク工場、クズネツ、ザボロジエ、ニジニータギリスク、アゾフスタリ、クリヴ、ロジスキー、リベツキ、トウリスキー其他の諸工場。バカリスキー、ハリロフスキー、第二クズネツ及び極東製鐵所などの諸工場、鑄管工場其他の第一集合體の建設の進展と操業開始。

卑金屬冶金業においては、生産高十萬噸のブリバルハシ銅聯合工場、五萬噸のスレドネーウラル工場の建設。鉛六萬噸のカズボリメタル、及びチェリヤビンスク市、オルジニキゼ市における亜鉛工場、アルタイボリメタル其他の建設を完成すること、ヴァルホフスキー及びドニエプル輕銀工場の建設完成、アルミニウム生産高二萬五千噸のウラル工場、八千噸のカレリスキー工場の新建設。マグネシウム、ニッケル其他卑金屬冶金企業の建設。

化學の領域では、礦物肥料綜合工場、合成ゴム工場、曹達工場、硫酸、ゴム、プラスチック・マス、アンソソ及び漆塗料、人造纖維等の諸工場の建設。

輕工業では、十五の大規模紡績企業の建設。其のうちには、紡錘各二十萬本を有するタシケント、バルナウリスキー、ホヂェント、チャルヂュイスキー、ザカフカズ等の紡績聯合工場を含む。各八百萬乃至千五百萬メートルの織布能

力を有する十二ヶ所の大規模毛織工場、各一萬八千乃至二萬七千の紡錘を有する十二ヶ所の亞麻企業、十八ヶ所の大規模メリヤス企業、十一の絹工場、製靴力一億足を有する二十一ヶ所の製靴企業等の建設。

食料品工業においては、第一次五ヶ年計畫によつて着手された十七ヶ所の獸肉綜合工場の建設を完成し、二十三ヶ所の綜合工場の新設を進展させ、多數の砂糖工場の建設、六ヶ所の石鹼工場の建設を進展させ、漁業では漁船の数を著しく増加し、罐詰工場、製油工場、製菓工場等を建設。

木材工業においては、挽材工場、木材化學企業等を多數建設。カムスキー及びコンドボジスキー・セルロイド製紙綜合工場並びにシャンスキー・セルロイド綜合工場建設を完成。バシキール及びクラスノヤルスクの兩製紙綜合工場其の他の建設。

五ヶ年計畫の期間に二十億ルーブルに達する投資を以つて日用品の生産に當る數千の地方的工業企業を廣汎に建設し且つ改造すること。

都市建設においては、數百の工業中心地を立派に整頓された都市に轉化する仕事を廣汎に展開すること。凡ゆる便利な設備のある部屋を有する總延面積六千四百萬平方メートルの家屋數千の建設。都市計畫、都市運輸改善、上下水道、街路舗装、綠化等の諸事業の進展。ソヴェトの家、技術の家、文化と休息の公園、競技場、劇場、クラブ、キネマ館等の建設。モスクワにおけるソヴェト殿堂の建設及びソヴェト聯邦に始めての地下鐵道の建設（其の第一線は一九三四年中には既に運轉を開始する筈）。

(十六) 新建設事業のこの廣汎な展開の豫定計畫、生産力の分布上決定的な進歩を條件つけてゐる。

(イ) 舊工業中心地の發展を土臺として、ソヴェト聯邦の東部諸方（ウラル、東、西シベリヤ、バシキール共和國、



極東地方、カザクスタン及び中央アジアの工業化の據點が新設され、機械製造、冶金、石炭、石油、電力及び其の他の工業部門が能率的に發達してゐる。この東部諸地方に對しては、重工業の新建設に投せらるべき全投資額の約半額が投下せられる。一九三七年には東部諸地方は、鉄生産高の三分の一（一九三三年には四分の一）、石炭採掘高の三分の一以上（一九三三年には四分の一）、地區發電所電力の約五分の一（一九三二年には六・五%）、機械生産高の十分の一（一九三三年には五%）を供給するであらう。

(ロ) ソヴェト聯邦の第二の石炭、冶金根據地たるウラル・クズネツ綜合企業建設の完成。この建設には第二次五ヶ年間に、ソヴェト聯邦全國投資額の約四分の一、重工業總投資額の三分の一以上が投せられる。ウラル・クズネツ綜合企業は、一九三七年には製鐵業生産高の三分の一、國內總産炭高の四分の一以上、地方發電所發電量の六分の一、機械生産高の約一〇%を供給する筈である。

(ハ) 新開地方の發展に基いて、工業の原料資源への接近が實現される。輕工業及び食料品工業の分布上最もすばらしい進歩の實現、即ち、第二次五ヶ年に建設される十五ヶ所の紡績綜合工場のうち十ヶ所は中部アジア、シベリヤ、及びザカフカジエに建設の豫定であつて、これは中部アジアの綿布生産高を殆ど十六倍に増加せしめ（全ソ聯邦平均増加率は二倍）、且つこれらの地方に纖維工業の強固な根據地を創設するものである。亞麻工業は西部地方、ゴリキ市地方及び白露共和國に有力な加工根據地が創設される。新原料根據地が創設されそれに基づいて新砂糖工場の建設が實現される（西部シベリヤ、キルギジャ、極東地方、ザカフカジエ等）、農産原料生産の基礎的中心地に皮革、羊毛、製油其の他の輕工業、食料品工業の各企業の建設が展開される。各種の地方的燃料の獲得が廣汎圍に進展して、遠方から移入する燃料への各地方の依存關係を弱はめる。

(ニ) 農業の方面では、基礎的穀物地方に穀物生産高が著増し、又中部及び北部地方に強固な小麥根據地が創設され、技術的農作物の基本的生産地方におけるその生産高の増加が東部地方における甜菜根據地の新設と同時に進行はれ、高價な新農作物の殊に亞熱帶地方に廣く進展すること、——これらは基本的農業部門の適當なる分布及び諸地方の作物別並に部門別専門化の課題の解決を保證するものである。

(ホ) 運輸の方面では東部及び南部方面の基本的運輸幹線の改造及び強化と一緒に、新鐵道新水路の大建設を行ふこと。これらは新工業中心地をソヴェト聯邦の全運輸網に結びつけるものであり、新地方の經濟的發達の基礎となるものである。（カラガンダ、バルハシ間、ウファ、リステルリタマク間、ルブツェフカ、リッデル間、トムスク、リッヂェル間、白海、バルチック海運河及びその他）。

(ヘ) 従來工業的におかれてゐた諸地方即ち中部ヴォルガ、タタリヤ、北部カフカズ、黒土地方、ザカフカジエ、カレリヤ、ムルマンスキー地方、極東、東部シベリア等の地方の大工業が發展することを土臺として、大工業建設を行ふこと。

(ト) 民族、諸共和國及び民族諸州における文化、保健、藝術、出版關係の建設事業を能率的に發達せしめること。

(チ) 第一次五ヶ年計畫によつて開始された特殊化を深め、且つ地方内部の一層均等な工業分布を土臺として、ソヴェト聯邦の舊工業諸地方をより以上に成長せしめること。

大會は、第二次五ヶ年における生産力分布に關する確定計畫は、民族諸共和國及び州の經濟的、文化的立ち後れの消滅を保證し、生産力の一層均等な分布及び工業の原料地への接近、基本的諸地方の農作物別及び部門別の専門化、國全體の經濟的地區割り完成を保證するものであると認める。



### 三、労働者農民の物質的文化的水準の向上計畫

失業の根絶と全労働者及び従業員に對する仕事の保證、同時にソヴェト國家において組織的に遂行されてゐる労働條件の改善、七時間迄短縮された労働日、及び彼等の生産的資格を向上し且つ一般的文化水準を向上するに有利な情勢が現存してゐること——これはいづれも、労働者及び従業員全大衆に對して、労働の生産性を撓まず向上しつゝ、その物質的福祉の改善に向つて一層急速に邁進する可能性を與へるものである。

第二次五ヶ年計畫の期間に多數の農家の全般的共營化を完成し、富農層を絶滅し、富農のありとあらゆる反抗の企圖を鎮壓し、農民階級の有産層と無産層への階級分布を中止し、それと關聯してコルホーズを撓まず組織的經濟的に強化し其の機械技術的基礎の急速な成長を來すことによつて、農村における窮乏赤貧を絶滅すること——總てこれは、コルホーズ農民大衆の物質的水準の急速な向上にとつて、又コルホーズ員の文化的な裕な生活の達成にとつて未曾有の有利な條件を創造するものであり、且つこの向上速度を、コルホーズ員自身の組織化と労働生産性に直接依存せしめるものである。

これに應じて、大會は、この領域における國家計畫委員會の計畫案を是認し、労働者及び農村労働者の物質的文化的水準の向上について次の様な課題を決定する。

一、(イ) 労働者及び従業員の數的增加——第二次五ヶ年計畫の終りに國民經濟の全部門に亘り二六%、其のうち大工業においては二九%。

(ロ) 實質賃銀の増加は二倍。これは寄生的消費の徹底的絶滅、國民收入の急速な増加、肉類、脂肪、魚類、鶏卵、砂糖及び工業商品等の消費標準高の二倍半の増加、小賣價格の三五%の低下及び労働者の生活條件のより以上の改善等に基づいて行はれる。

(ハ) 労働者及び従業員の賃銀基金の増加は全國民經濟について五五%、其のうち大工業においては六四%。

(ニ) 労働者に對する文化的生活的サーヴィスに對する國家支出の著しい増大。即ち、社會保險に關する支出、労働者及び労働者の教育、保健、文化生活的助成に對する國家出費は四十三億ルーブルから九十三億ルーブルに、即ちこの五ヶ年間に二倍以上に増大。

(ホ) 都市農村の労働者及び労働者に對する社會供食の増加は二倍半。

(ヘ) 第二次五ヶ年にソ聯邦住民の文盲を清算し、労働能力ある年齢者の無學状態を清算し、且つ普通義務初等教育の實施を完成するに止まらず又、普通義務技術教育を七年制において第一に農村に實現すること。都市においては、この問題は第一次五ヶ年計畫の期間に根本的には既に解決されたからである。(初等及び中等學校、労働者豫科、工場附屬學校、工業學校、高等專門學校、高等技術專門學校における)生徒數を、一九三二年度の二千四百二十萬人に對し三千六百人迄増加すること、即ち、一九三二年に既に五百二十萬人を算した學齡前の教育を除外して、人口千人につき一九三二年の百四十七人に對して百九十七人の割合まで高めること。

(ト) 労働者大衆の文化的休息機關と密接に結びついてゐる大衆的校外教育工作を廣汎に發展せしめ、都市農村のクラブ網を六千八百(一九三二年の)に對し一萬九百迄増加し(都市における増加は一〇%五であるが、地方農村においては一三〇%)、大衆的圖書館網は一九三二年の一萬五千に對し二萬五千迄増加すること。



(チ) 勤勞者の保健工作を一層著しく強化し、第一に衛生及防疫方策を廣汎に實施すること。保健、勞働者の休息及び體育に關する出費は第一次五ヶ年計畫における五十四億ルーブルから百九十六億ルーブルに増加すること。

病床数の増加は都市においては四四%、農村地方においては九八%、託兒所の増加は都市においては二六四%、農村地方においては二二九%。

(リ) 五ヶ年間に上水道を有する都市数を三百六十六から四百四十迄増加し、下水設備を有する都市数を五十五から百二十五迄、電車を有する都市数を五十から七十迄、おのゝく増加すること。

(ヌ) これに應じて、第二次五ヶ年間の公共事業、住宅建設、文化建設に對する投資額を約三百二十億ルーブル、即ち、ソヴェト聯邦國民經濟への總投資額の約四分の一と定む。このうち住宅建築に百三十四億ルーブル、都市公共建設事業に六十二億ルーブル、教育事業に三十一億ルーブル、保健事業に二十九億ルーブル。

二、勞働者農民の物質的生活水準を向上させんとする課題は、商品流通を百方發展すべきことを要求する、この發展は、日用工業生産品の産額の増加を、都市に對する農産品の供給改善とに基いて行はれる。

これに應じて、大會は次の如く決定する。

(イ) 商品流通高の増加は二倍乃至三倍半、即ち一九三二年の三百十九億ルーブルから一九三七年には八百億ルーブル迄(一九三三年の價格において)。同時に、輕工業及び食料品工業によつて生産される日用品の生産高は三倍になるべきこと。

(ロ) 國營消費組合の小賣商業網は三七%だけ増加し、同時にこの商業網の技術的改造を實施すること。

(ハ) 小賣物價の平均水準を一九三三年に比し三五%だけ低下すること。

三、大會は、國民所得を四百五十五億ルーブルから一千八十億ルーブル迄即ち二倍二分、國民所得中の消費資金の増加を二倍四分増加すべしと決定する。同時にこれは、社會化された經濟部門における蓄積の尨大な増加並びに國家豫備金の増加を伴ふべきである。

大會は、經濟的活動の根本が次の事項にあるべきことを強調する、即ち國民經濟の全連環に企業別獨立採算を扶植し、計畫財政規程を強化し、ソヴェト・ルーブル——このルーブルは企業別獨立採算と、都市農村間の經濟的結合との強化にとつて重要な横杆である——を強化するための闘争がこれである。

第十七回黨大會は、聯邦國家計畫委員會によつて提出され、黨中央委員會及びソヴェト聯邦人民委員會會議によつて採用された、國民經濟發展第二次五ヶ年計畫案は次の事項を保證してゐるものと認める。

(イ) 資本家的要素及び階級一般……農家の集團化の完成と、小家内工業家全體の協同組合への集結とに基き、生産手段に對する……こと。ソヴェト聯邦の經濟の多様性の清算と、唯一の生産方法としての社會主義的生産方法の確立。これは、國內の全勤勞住民を社會主義社會の積極的な建設者への轉化によつて行はれる。

(ロ) 第一次五ヶ年計畫期間に創設され且つ一層急速な向上過程を辿りつゝある生産手段生産工業(重工業)を土臺としてソヴェト聯邦の全國民經濟の技術的改造を完成すること。

(ハ) 勞働者農民大眾の福祉の一層急速な向上、及びソヴェト聯邦の全住宅及び公共事業の徹底的改善。

(ニ) 資本家的要素と階級一般……、勞働者階級と農民層……、プロレタリア……



……政治的經濟的地位を強化すること。

(ホ) 國防力のより一層の強化。

資本家的要素の最後の殘存物をそれ以前の……所の、これらの課題  
實現は、階級闘争の尖鋭化を、コルホーズを破壊せんとする富農側の新企圖の尖鋭化を、わが工業に對する反ソ  
ヴェト勢力側の毒蟲的怠業企圖の尖鋭化を來さざるを得ない。他方、第二次五ヶ年計畫の課題實現、即ち全國民經濟  
の技術的改造の完成を土臺として労働者農民の生活水準を根本的に向上せしめる五ヶ年計畫の實現は、労働者の熱意  
を呼びさざるを得ないし、社會主義の建設者——最も廣汎な労働者大家——の間に生産的能動性の上潮を、新技術獲  
得熱の成長を呼びさざるを得ないのである。

……反革命的進撃を容赦なく粉碎し、第二次五ヶ年計畫案を成功的に遂行するために社會主義の突撃隊員  
を結合しつゝ、労働者階級はコルホーズ員大家と共に、凡ゆる日和見主義と不屈不撓の闘争を行ひつゝある黨の指導  
下に、社會主義建設途上にあるありと凡ゆる困難を克服するであらう。

第十七回黨大會は、第二次五ヶ年計畫案即ち國民經濟の一般的技術的改造の計畫を遂行することは次の諸事項を保  
證するが如く事業を組織することを要すると指示する、即ち

第一、經濟機關内の官僚的歪曲と妥協する所なき日常的經濟的指導の事務性と具體性。

第二、精銳なる技師、技手等を生産の決定的部署に集中して、各機關の事務所に集中しないこと。

第三、労働の生産性の増大に對する物質的獎勵を保證するやうに、労働者の賃銀を正しく組織化すること。

第四、社會主義的競争の事業を高めること、殊に新技術及び新生産をよりよく獲得する目的で、

第五、工業企業においても、將又、ソフホーズ並にコルホーズにおいても強固な生産規律を確立すること。

第六、プロレタリア……對する……警戒と、委任された事項について労働者階級と其の黨に對して現實に  
責任をとること。

第七、労働者と勤勞農民……より一層強めること。

第二次五ヶ年においてソヴェト聯邦は、人類社會の幾世紀來の對立を、都市と農村との對立を清算する事業につい  
て巨歩を進め、この對立の排除に必要な一切の條件を創造するのである。其の社會的形態から見れば農業は工業と同  
一型のものとなり農業労働は工業労働の一變形と化する。都市と農村間の運輸連絡は力強く成長し、工業と農業の生  
産増加の速度が著しく接近し、都市と農村の勤勞者の物質的福祉、文化水準が接近するのである。

ソヴェト聯邦は第二次五ヶ年間に技術的、經濟的に獨立した國となり、且つ技術的關係ではヨーロッパ第一の先進  
國となる。(以下八行削除)

第十七回黨大會は、全黨員に向つて、第二次五ヶ年計畫案の勝利のためにボリシエヴィキ的闘争を要求し、且つ、  
この歴史的課題を遂行するために労働者とコルホーズ員を……周圍に結束するやうに召集する。



第二次五ヶ年計畫の任務

(第十七回黨大會報告)

モ  
ロ  
ト  
フ



同志スターリンの報告演説は黨中央委員會の過去の活動の單なる報告ではなかつた。それは、我々の任務、社會主義建設の見透し、我々の今後の活動方針等についての報告でもあつた。この報告のうちには、第二次五ヶ年計畫における黨の目標決定にとつて必要な一切の根本的なものが與へられてゐる。

第二次五ヶ年計畫において我々は三つの根本的任務を持つてゐる。  
即ち次の三つである。

第二次五ヶ年計畫の第一の、且つ根本的な政治的任務は——「資本主義分子と階級一般……、階級的差別と搾取とを生み出しつゝある根源……、經濟と人間の意識の中に残つてゐる資本主義的遺制……、國內の全勤勞住民を階級なき社會主義社會の意識的な積極的な建設者に轉化させること」(第十七回黨會議)これである。

第二の任務は——勞働者並にコルホーズ員大衆の福利をより以上に向上させ、勤勞者の消費水準を二倍半乃至三倍に引上げることである。

第三の任務は——全國民經濟即ち工業、運輸、農業の技術的改造を完成することである。

以上三つの任務は相互に不可分に結び付いて居るものであつて、第二次五ヶ年計畫の期間中の社會主義建設事業の本質を決定してゐるものである。

第十七回黨會議の決定の中に述べられてゐる通り、第二次五ヶ年計畫の根本的な政治的任務は、階級……、同時に階級を生み出しつゝある根源……、である。かやうな任務の提起は、「社會主義とは階級の××である」(レニン)といふマルクス・レーニン主義の根本命題から出てゐるものである。他方から見れば、勞働者農民の



物質的文化的水準の根本的向上といふ任務は、寄生階級分子……、増大し行く國民所得をそつくり勤勞者とソヴェ  
ト國家の管理下に移すといふことに結びつけて初めて提起することが出来るのである。これらの任務の實現は、國民  
經濟の巨大な向上と其の技術的改造に依據しなければならぬ。従つて、國民經濟の技術的改造を完成することは、  
第二次五ヶ年計畫の根本的な經濟的任務として提起されてゐるのである。

我々は今や第一次五ヶ年計畫の成功に基いて、その勝利的遂行に立脚して、この三つの根本的任務を提起すること  
が出来るのである。これらの任務の解決は、第一次五ヶ年計畫と更にそれ以前の一切の社會主義建設事業によつて準  
備されてゐるのである。

第一次五ヶ年計畫の初め頃には、わが國の資本主義分子はなほ重大なものがあつた。

成程、工業の方面では資本主義分子の割合は第一次五ヶ年計畫の當初迄に年々低落して行つて、五年前にはも早や  
全然取るに足らないものになつてゐたことは事實である。大工業のうちの資本主義分子の割合は當時既に全大工業生  
産額の精々一%位を占めるに過ぎず、全く取るに足らないものになつてゐたのである。従つて、第一次五ヶ年計畫の  
終りには工業のうちの資本主義分子のことはも早や論ずる必要のなかつたことは明かである。

商業においても個人商人は矢張り第一次五ヶ年計畫の初め頃には既に破滅され、そして商品取り引き中の資本主  
義分子の割合は著しく減退した。一九二八年には個人商業は總體で小賣商業のうちで約二五%を占めてゐた。コーペ  
ラツヤと國營商業はそれだけ優勢な状態にあつて、個人商業は第一次五ヶ年計畫の期間中に商品取り引きから殆ん  
ど全く驅逐されてしまつた。私はこれらの事實をもつて我々が商業組織化の任務を見事に果したと云はうとしてゐる  
ものではない。が商業のうちから資本主義分……ことは、我々が當時既に極めて成功裡に遂行してゐたこと

である。

周知の通り、農村の資本主義分子との闘争はこれよりも遙かに困難な任務であつた。第一次五ヶ年計畫の直前迄は  
農村には有産者と無産者への階級分化は増大し、そして富農は増加し續けてゐた。唯基本的農民大衆が共同經營化の  
道に轉じたために初めて（そしてこれはやつと第一次五ヶ年計畫の初に行はれた）階級としての富農……といふ任  
務を提起することが出来るようになったのである。富農階級の決死的な抵抗にも拘はらず、農村の資本主義分子……  
……闘争は全線に互つて展開された。そして第二次五ヶ年計畫の初め迄には決定的な農業地方における貧、  
中農家の共營化は根本において實現せられ、それによつて富農の立場は破滅された。農村における個人經營の役割も  
亦根本的に變化した。現在では農家の三分の二は共營化されてゐる。そしてコルホーズとソフホーズは粒穀作物の全  
播種面積の八四・七%を占めてゐる。従つて今日では、我々は我が國における共營化事業が全く勝利を制し、富農の  
残存物は間もなく終局的な破滅に陥る運命にあり、そして殘餘の個人經營の農家にとつては徐々に共營化の軌道に移  
つて行く唯一つの道だけが残されてゐるといふことを正當に言明することが出来るのである。

總てこれらのことを第二次五ヶ年計畫の初め迄に達成したればこそ、即ち資本主義的要素が工業や商業においてはば  
かりでなく農業においても……、大衆となつてどん底に陥ちて行つたればこそ、こゝに我々は資本主義分子と階  
級一般……第二次五ヶ年計畫の根本的任務として提起することが出来るのである。

今日迄達成された結果と我等が當面してゐる任務とは次の表に見る通りである。



ソヴェト聯邦の經濟における社會主義的形態の比重

	一九二八年	一九三二年	一九三七年
大工業の總生産高のうち	九九・〇〇%	九九・九三%	一〇〇・〇〇%
農業の總生産高のうち	三・〇〇	七四・七〇	一〇〇・〇〇
(コルホーズ員の個人經營を含む)全播種面積のうち	二・八〇	七九・三〇	一〇〇・〇〇
(コルホーズ員の個人經營を含む)農業の共營化%	一・七〇	六一五・〇	一〇〇・〇〇
小賣商品取引のうち	七五・二〇	九九・〇〇	一〇〇・〇〇
ソヴェト聯邦の國民所得のうち	四四・〇〇	九三・〇〇	一〇〇・〇〇

第二次五ヶ年計畫の終り迄に社會主義的形態は全經濟部門において支配的地位を占めるであらう。我が國における五種の社會主義的經濟的の制度(これはレニンが新經濟政策の當初に述べたものである)のうち現在二つの社會經濟制度が尙存してゐるが、第二次五ヶ年計畫の終りには我が國には一つの社會經濟的の制度即ち社會主義的の制度のみが存続するであらう。そしてソヴェト聯邦の國民所得は擧げて勤勞者の管理に歸するであらう。我が國は第二次五ヶ年計畫の任務を實現して一本石の如き社會主義共和國となるであらう。

●譯註 レニンの分類によれば當時のソヴェト聯邦における經濟的類型は次の五種である。

- 一、家長的なる、大なる程度において自然經濟的な農民經濟。
- 二、小商品生産。
- 三、私經濟的資本主義。

四、國家資本主義。

五、社會主義。

我々は階級的差別と人による人の搾取を生み出しつゝある原因………第二次五ヶ年計畫の任務として提起してゐる。

これらの原因とは一體どんなものであらうか？ これらの原因は一方の人々が生産手段を所有してゐるのに他方の人々が所有してゐないと云ふ状態が續く限り存続するのである。我々は工業における生産手段は既に殆んど全く國家の手中にあることを知つてゐる。今や商業についても殆んど同斷と云ひ得るのである。又今なほコルホーズの外に取り残されてゐる約三分の一の農家が第二次五ヶ年計畫の期間中に共營化の道に轉ずるであらうことも疑ひないところである。これによつて農業においても生産手段は——機械と家畜は——國家とコルホーズの手に屬する様になつて、 $XX$ に屬することは無いであらう。そして土地は、周知の通り、既に一九一七年に國有化されたのである。農業においても社會主義的形態(コルホーズ、MTS、ソフホーズ)の地位を確立して階級と搾取を生み出しつゝある原因を我々は $XX$ するのである。

我々はこゝで經濟と人間の意識の中にある資本主義的の遺制………ことについて述べよう。

これは何を意味するか？ 以上述べたことによつて明かな様に、これは我が國の經濟に關することである。人間の意識の中にある資本主義的の遺制は尙極めて強く且つ極めて活潑である。同志スターリンはその報告の中で、我々は人間の意識の中のこれらの遺制と、黨の内部においてさへも尙如何に戦はねばならないかを強調してゐる。黨の内部にあつてさへもこれらの遺制は尙長く反レニン主義的イデオロギーの温床となるであらう。況んや全勤勞大衆に對して



は、この人間の意識の中の資本主義的遺制を克服する任務は尙一層強調せねばならない。この種の遺制の中に、我々は、今日尚ほ生き残つて社會主義の事業を破壊し、勤勞者を汚損し、傷けるために凡ゆる手段に訴へつゝあるところの……の支柱を見ざるを得ないのである。勤勞者の間のこれらの遺制を出来るだけ速かに××するためには、プロレタリア権力の一切の力が必要であり、文化の巨大な成長と大衆に對する黨の影響が必要である。勤勞者の意識の中の遺制を克服するために戦ふことは、我が國の神聖にして不可侵な財産たる社會主義的財産を強化するために戦ふことを意味するのである。これらの遺制を××するために戦ふことは勞働に對する社會主義的態度のために戦ひ、意識的な鐵の如き勞働規律のために戦ひ、社會主義的競争と突撃隊運動を展開するために戦ひ、一切の怠け者や我々の事業の破壊者に對抗して闘ふことを意味する。

これらの任務を實現すること、就中、資本主義分子と階級一般………任務を實現するには、ソヴェト權國家力、その権力の勢力、その戰鬪力を出来る限り強化する必要がある。これらの任務を實現するには、それと同時に勞働者階級と勤勞農民との同盟を強固することが必要であつて、この強化を土臺として始めて………最後まで遂行することが出来るのである。

これこそわが國の全勤勞者を………の意識的な積極的な建設者へ轉化する道である。

我々は第一次五ヶ年計畫の間に勤勞者の物質的文化的水準を向上させる事業で、絶大の成功を収めた。これについては、失業が絶滅したこと、勞働者が明日の日に對して充分な確信を持つ様になつたこと、農村で貧窮が跡を絶ち富農と貧農との階級分化が絶滅したことを挙げれば十分であらう。

勤勞者大衆の物質的水準が絶えず向上してゐること、農民大衆の福利の増進を早めるための前提が現に出来上つ

てゐることは、勤勞者の生活上、文化上の要求が増大してゐることに現はれてゐる。即ち、黨と政府は上に擧げた事實と結びつけて、輕工業と食料品工業並に其他の工業・農業部門の活動を伸展させて、勤勞者の消費水準を二倍半から三倍も向上させる任務を提起してゐるのである。

このためには何が必要か？

このためには、第一に輕工業と食料品に原料を保障し、そして、國內の農業の商品生産高を少くとも二倍に高める必要がある。

このためには第二に、わが輕工業、食料品工業の生産能力を著しく高め、この工業部門の生産高を三倍に高める必要がある。この點に第二次五ヶ年計畫案の最も重要な部分が含まれてゐるのである。農業を急速に向上させ又輕工業、食料品工業を展開させる任務も、將又全運輸事業を根本的に改善する任務も共に、第二次五ヶ年間の國民經濟の技術的改造と云ふ問題に導くのである。

大會に提出したテーゼの中に「第二次五ヶ年計畫の根本的な決定的な任務は、全國民經濟の改造を完成することである」と述べてある所以はこゝにある。

我々は、第一次五ヶ年計畫の成果を、わが黨のレニ主義政策の、國內の社會主義的工業化政策の最も偉大な××として觀る權利をもつてゐる。我々は又、第二次五年計畫の中に提出されてゐる諸任務は、全く今日までの成功と達成から生じてゐるものであつて、この任務は、ソヴェト聯邦で社會主義の勢力がすばらしく伸びて黨と勤勞者階級は自己の事業の××に對して不動の確信を持つに到つたことを證明してゐるものである——と云ふ權利がある。

第二次五ヶ年計畫の任務を一層具體的に説明する前に、私は第十七回黨會議の二、三の指令について一言しよう。



個々の經濟部門に下された指令と比較すれば、第十七回黨大會に提出したテーゼには一聯の變更を加へてある。この點は、就中、工業生産高の課題に見られる。其の詳細は略して、こゝでは、それらの變更は第十七回黨會議の根本規定を少しも變更するものではないと云ふに止めよう。今回の大會に提出したテーゼの中の第二次五ヶ年計畫の根本任務は第十七回黨會議の決定に全く照應して作製されてゐるのである。

本大會の仕事はこの變更を審議して、第二次五ヶ年計畫の總ての決定的課題について大會の最終的決定を與へることである。

### 一、國民經濟の技術的改造の完成とその向上

第二次五ヶ年計畫の主たる經濟的任務は國民經濟の技術的改造を完成させることであり、そしてこれに基いて國內の生産力を力強く伸張させることである。

第一次五ヶ年計畫の間に工業と農業の技術的改造の事業は既に著しく進捗した。重工業殊に機械工業は強固に確立した。農業においては技術的再裝備は一大變革を引き起した。技術的再裝備は他の國民經濟部門にも行はれた。しかもなほこれだけのことではソヴェト聯邦の國民經濟の技術的改造の端緒が出来上つたにすぎないのである。

第二次五ヶ年計畫に入つて初めて技術的改造の任務は全工業部門、全農業及び全運輸形態に對して全體的に提起されてゐるのである。

ソヴェト聯邦の國民經濟の技術的改造を完成すると云ふことは何を意味するか？ それは國民經濟の全部門即ち工

業、農業及び運輸の技術的裝備をやりかへて、技術の點で進んだ資本主義諸國の水準に達させることを意味する。國民經濟の技術的改造を完成することはソヴェト聯邦を技術的發達水準ではヨーロッパ第一となすのである。單に技術的水準ばかりでなく、工業生産高の點でも、又その他の二、三の重要經濟部門の生産高の點でもソヴェト聯邦はヨーロッパ諸國の先頭に立つてあらうが、しかも尙ほ多くの部門ではアメリカよりも後れてゐる程度とならう。總てこれらの事柄はソヴェト聯邦と資本主義世界との相互關係に本質的な變化を齎らし、そして二つの社會體制即ち社會主義的體制と資本主義的體制……を新たなより一層高い段階に引き上げるのである。

第一次五ヶ年計畫における我が國の向上の根柢は工業化政策であつた。強力な重工業の創設を保證したところの、工業化政策に基いて、我々は全國民經濟の絶大な向上を達成した。

第二次五ヶ年間に工業化政策は、國民經濟の總生産高に對する工業の比重がより以上に増大する點に表現されてゐる。これは次の表に見る通りである。

國民經濟の總生産高の工業と農業の比重		
	一九三二年	一九三七年
一、全工業	七六・八%	七九・五%
二、農業	二三・二	二〇・五
計	一〇〇・〇	一〇〇・〇

斯様に第二次五ヶ年計畫の終りには、國民經濟の總生産高のうちで工業生産高は殆んど八〇%を占めるであらう。これはソヴェト聯邦が、世界の最大工業國たるドイツやアメリカの水準に立つといふことを意味するものである。



第二次五ヶ年計畫案によつて黨は工業生産高の尠大な増加を圖る任務を立ててゐる。この生産高は第一次五ヶ年計畫の終りの四百三十億ルーブルから第二次五ヶ年計畫の最終年には一千三十億ルーブル迄増加しなければならぬのである。これは工業生産高が第二次五ヶ年計畫期間中に二・四倍に増加し、戦前の水準に比較して九倍に増加すべきことを意味するのである。斯くて我が工業は眞にボルシェヴィキ的速度で成長を續けるのである。

今度は工業の成長の速度に移らう。第一次五ヶ年計畫では生産高の主要部分は舊企業或は更新された企業によつて生産され、それ等の企業の技術は既に體得済みのものであつた。然るに第二次五ヶ年計畫では生産高の主要部分は、新設企業が提供することとなるのだが、この新設企業の體得は最初の間は幾多の大困難を伴つてゐるのである。この事情からして、新建設の任務と共に新技術、新生産を體得する任務が特殊な意義を持つことがわかる。次に、この點からして、第一次五ヶ年計畫の工業生産高の増加速度(二二—二二%)に比較して、第二次五ヶ年計畫の工業生産高の増加速度は(年平均一九%)幾分低くなるのである。

他方又、工業生産高の増加率の百分は第二次五ヶ年計畫においては第一次五ヶ年計畫のそれよりも比較にならぬ程大きなものであるといふことを忘れてはならない。

實際、工業生産高の増加率百分は第一次五ヶ年計畫の終りには三億八千六百萬ルーブルと評價されてゐたが、第二次五年計畫の終りにはこの百分は八億二千五百萬ルーブルとなるであらう。さればこそ第一次五ヶ年計畫の最終年度の工業生産高の年増加額は四、五十億ルーブルと評價されるに對して、第二次五ヶ年計畫の最終年にはその額は二百億ルーブルと決定されてゐるのである。工業生産高のこの増加額だけでも一九一三年度の帝政ロシアの大工業の全生産高の殆んど二倍に當るのである。工業のボルシェヴィキ的成長速度とは斯んな意味のものである！

第一次五ヶ年計畫の成功が、この巨大な新任務を課すだけの根據を與へてゐるのである。

周知の通り、昨年一月の黨中央委員會と中央統制委員會の合同總會は、工業總生産高については第一次五ヶ年計畫の最終年度の計畫は一九三二年度に九三・七%だけ遂行されたと決議したのであつた。それが第一次五ヶ年計畫の遂行に關する概括的統計であつた。一九三三年中に工業の報告資料が提出され、その資料に基いて第一次五ヶ年計畫の實績の精確な計算が行はれた。この計算は一年前に豫想した、第一次五ヶ年計畫の工業計畫遂行高を、低下せしめなかつたばかりでなく、却つて一層有利な結果を齎したのである。次にこれらの計算の結果を概算と對照して掲げよう。

大工業生産高(一九二六—七年度の價格による)

	全工業	A群工業	B群工業
一、一九三二—三三年度案(單位十億ルーブル)	三六・六	一七・四	一九・二
(第一次五ヶ年計畫案による)			
二、一九三二年度生産高概算(單位十億ルーブル)	三四・三	一八・〇	一六・三
一九三二—三三年度案に對する比率	九三・七%	一〇三・四%	八四・九%
三、報告資料による一九三二年度生産高(單位十億ルーブル)	三五・三	一九・一	一六・二
一九三二—三三年度案に對する比率	九六・四%	一〇九・八%	八四・四%

かくて今日規定されたところによれば、工業生産については第一次五ヶ年計畫の最終年度案は九三・七%でなくして、九六・四%だけ遂行されたのである。生産手段を生産する工業(A群)においては一〇三・四%でなくして一〇九・八%だけ遂行されたのである。



はないが、第一次五ヶ年計畫遂行の成功を十分に裏書してゐるのである。しかもこれは第一次五ヶ年計畫の終りに當つてこの計畫案の遂行に困難を來たさしめたところの國際關係の特殊な原因があつたにも拘はらずなつたのである。

第二次五ヶ年計畫の最も重要な特長は生産手段の生産（A群工業）と消費資料の生産（B群工業）との發達速度の變更である。第一次五ヶ年計畫では生産手段を生産する工業は比較的急速に發展したのであつたが、第二次五ヶ年計畫においては日用品を生産する工業がこれよりも一層急速に成長するであらう。第一次五ヶ年計畫の任務は全經濟の技術的再裝備の基礎たる重工業を創造することであつた。我々はこの任務を果した。今や我々は日用品の生産を特に促進せしめて、重工業も輕工業も急速に前進せしめることが出来るのである。

第二次五ヶ年計畫では二つの基本的工業群（A及びB群）の生産高の比重に次の如き變更が豫定されてゐる。

第二次五ヶ年計畫期間における全工業の基本群の相互關係の變更

	一九三二年	一九三七年
A群、生産用具	五三・三%	四七・一%
B群、消費資料	四六・七	五二・九
計	一〇〇・〇	一〇〇・〇

かくA群とB群は位置を換えるのである。これは消費資料の生産の増加速度二二%が第二次五ヶ年計畫では生産手段の生産増加速度（一六%）よりも著しく高いからである。この速度は第一次五ヶ年計畫の日用品の生産増加速度（一七%）よりも矢張り高いのである。全體の發達速度から取り残されてゐた工業群は工業の平均増加速度以上に急速な

發達を見ることになるのである。かくて輕工業、食料品工業並びにその他の日用品生産部門は新たな絶大な發展任務に直面してゐるのである。

我々の任務は單に國營大工業をより以上に急速に成長させることに止まるものではない。第二次五ヶ年計畫においては我々は地方工業に對しても國家的支持を與へて、その強力な發達を圖るべきである。我々の任務は日用品の生産高を増加させるために、地方原料資源と地方燃料を最大限度に利用することにある。そのために地方工業の利益の可成な部分を地方執行委員會の管理に移す必要がある。これは地方工業そのもの、將來の發展に取つて大きな意義を持つであらう。我が地方諸機關、就中、州機關が最近著しく強固になつた點に鑑み、我々は聯邦及び共和國工業中の幾多の企業をこれらの機關の管理に移さなければならぬ。第一にこれは、主として地方原料と地方燃料によつて活動してゐるところの、諸企業にあてはまることである。

家内工業が將來成長すべき大なる可能性を有することを無視するのも亦正しくない。國營工業は急速に向上してはゐるが、家内工業は地方市場のために少なからぬ補足的産額を擧げ、又工業に對して家内工業の製品や建築材料をもつて少なからぬ寄與をなし得るし又なすべきである。

一、工業の向上と改造

第二次五ヶ年計畫における各工業部門の發達に移らう。

生産手段を生産する最重要工業部門における根本課題は次表の通りである。



工業總生産高の増加 (A群工業)

生産手段の生産 (一九二六―七年度の價格による)	一九三二年	一九三七年	一九三二年に對する 一九三七年の比率
内 譯	二二・一	四八・四	二〇九・四%
一、機械製造 (單位十億ルーブル)	九・三	二二	二二七
内 譯			
(イ) 金屬加工機 (單位一千臺)	一五・〇	四〇	二六七
(ロ) 重機械工業 (單位百萬ルーブル)	一四八・三	四一五	二八〇
(ハ) トラクター (十五馬力に換算、單位千臺)	五一・七	一六七	三二三
(ニ) コムバイン (單位千臺)	一〇・〇	二五	二五〇
(ホ) 機關車 (貨車用及び客車用) エ型及び ス・ウ型のものに換算、單位千臺	八二八・六	二九〇〇	三五〇
(ヘ) 貨車 (二車軸車の計算、千臺)	二二・二	一一八	五七六
(ト) 自動車 (千臺)	二二・九	二〇〇	八三七
(チ) 紡織機製造 (單位百萬ルーブル)	六〇・一	三六〇	五九九
(リ) 食料品用機械製造 (同上)	四七・七	一四〇	二九四
二、電力 (十億キロワット時)	一三・四	三八	二八三

そのうち地區主要發電所

三、石炭 (單位百萬噸)	八・三	二五	三〇二
四、石油及びガス (單位百萬噸)	六四・三	一五二	二三五
五、鉄鐵 (單位百萬噸)	二二・一	四七	二二三
六、銅 (單位百萬噸)	六・二	一八	二九二
七、壓延銅 (單位百萬噸)	五・八	一九	三二三
八、銅 (單位千噸)	四・二	一四	三三六
九、化學製品 (單位十億ルーブル)	四六・七	一五五	三三二
一〇、棉花 (單位百萬立方米)	一・九	五・七	三〇七
	二四・四	四三	一七六

この表によつて、重工業の最重要部門がいづれも大發展を豫定されてゐることが明かである。その上國民經濟の技術的改造を完成する上で指導的役割を割當てられてゐる機械工業は重工業の平均増加よりも一層急速に發展するのである。その結果第二次五ヶ年計畫の最終年には全工業生産高の八〇%は第一次及び第二次五ヶ年計畫期間中に新設されたか或は全然改築された企業によつて生産されることになるであらう。然るに第一次五ヶ年計畫の終りには新企業による工業生産高は三五%に過ぎなかつたのである。單に工業のみならず他の經濟部門もその技術的再裝備の爲に大量の設備を受取る筈である。第二次五ヶ年計畫の終りには全國民經濟の中で活動しつゝある生産用具の半分以上(五〇―六〇%)は第二次五ヶ年計畫の期間中に國民經濟に振り向けられた生産用具が占めるであらう。

我々はソヴェト機械工業の自力でもつて國民經濟の技術的改造の遂行を保證すると云ふ任務を立てる。この點で



は第二次五ヶ年計畫は第一次のそれと根本的に異なるであらう。第一次五ヶ年計畫期間中に我々は外國から種々の機械裝備を十五億金ルーブルだけ輸入したのであつた。これは諸工業部門や農業の技術的基礎を堅めるために必要であつたし、殊にソヴェト機械工業の成長を促進するために必要なものであつた。だが第二次五ヶ年計畫の初までに、機械製造工業は既に巨大な進歩を遂げた。一九一三年に比較すれば一九三二年の機械製造工業の生産高は十倍に増大した。この結果、世界の機械工業の全生産高のうちのソヴェト聯邦の比重は、一九二八年の四%から一九三三年には二・四%まで増大したのである。

第二次五ヶ年計畫では、わが機械工業は全經濟部門の需要に應ずるために、更に一層大きな任務を果たさなければならぬ。その上裝備品のタイプは著しく變化して、幾多の新型の生産手段が採用されるであらう。機械工業に關する第二次五ヶ年計畫案では複雑な裝備品の割合は増大してゐる。即ち半自動機、自動機、破磨機、廻轉機、その他の複雑な機械の割合が大きくなる。次に二百種に達する最新式機械を體得し、飛行機、自動車工業用及び運輸機械製造用の特殊な新型機械を多量に生産に使用することになる。金屬加工機械の生産高は、第二次五ヶ年計畫の期間中に十萬九千臺に達する筈であるが、第一次五ヶ年計畫の終りのソヴェト聯邦は合計十六萬九千臺であつた。冶金工業生産は完全な裝備品の供給を充分に受ける様にならねばならない。動力機械工業（タービン、發動機、内燃機關）蒸氣機、強電流、弱電流の電氣工業、精密な化學用機械工業等も亦急速に發達する。運輸機械工業は大發展を遂げる。自動車の生産高は一九三七年には二十萬臺以上に達すべきである。食料品工業用の機械工業は三倍に増加し、紡織工業用機械工業は六倍に増加する。ソヴェト聯邦の農業用機械工業は、既に第一次五ヶ年計畫において世界最有力のものとなつたが、第二次五ヶ年計畫では約三倍に増加する筈で、第二次五ヶ年計畫の終りには一年間に十六萬七千臺の

トラクター（十五馬力のものとして）と二萬五千臺のコムバインが製造されるであらう。

技術的改造事業の完成は、工業のうちで勞力を澤山必要とする困難な過程の機械化を廣く實現すること、不可分に結びついてゐる。これは特に重要な工業部門、石炭、木材、泥炭、鐵鋼業、建築等に關することである。機械化の成長の一例は石炭工業である。茲では基本的な作業過程が全部殆んど完全に機械化されるであらう。即ち探鑿——九三%、搬出——八〇%、納入——九〇%。

ソヴェト聯邦では機械は本當な意味で、勤勞者の解放者であり、親友である。それは困難な作業を容易にし、勞働の生産性を増大し、勤勞者の福利を向上させる。

國民經濟の改造事業にとつて第一級の意義を持つものは電化である。第二次五ヶ年計畫では電力の消費増加は尨大な量に達するであらう。殊に化學的及び電熱的目的で、就中、冶金、化學、機械工業では電力の利用は急速に發展するであらう。電化は運輸にとつて最大の意義を持つであらう。殊に最も貨物の輻輳する鐵道、即ちドンバスや、ブリドニエブロウイ、ザカフカズ、ウラル地方等の鐵道にとつては電化は殊の外重要である。又第二次五ヶ年計畫の期間には農業生産（電氣脱穀その他）農業生産における電力の消費は著しく増加しはじめるであらう。

電力の生産は第二次五ヶ年計畫の期間に百三十四億キロワット時から三百八十億キロワット時迄、即ち殆んど三倍に高まる筈である。電力の生産量についてはソヴェト聯邦は全ヨーロッパ諸國を追い越して世界第二位に進むであらう。勞働者一人當り電力消費はソヴェト聯邦ではアメリカの六十八%、ドイツ百五十%以上に達するであらう。ソヴェト聯邦の電力消費率は革命前とは比べものにならぬ位になつてゐる。この電力消費率の増加の中には我が國の技術的再裝備の最も重要な指標の一つが含まれてゐる。



燃料工業も亦第二次五ヶ年計畫の期間中に大成長を豫定されてゐる。石炭の生産高は六千四百三十萬噸から一億五千二百五十萬噸迄増加する。石油は二千二百三十萬噸から四千七百五十萬噸迄増加するであらう。

泥炭並に頁岩工業は地方的燃料として將來益々發達を遂げねばならない。

鐵鋼業は國民經濟の一般的増加速度に對する立ち後れを清算して、益々増大しつつある國內需要を完全に満たさねばならない。鉄鐵の生産高は六百二十萬噸から千八百萬噸迄増加し、鋼鐵の生産は五百九十萬噸から千九百萬噸迄、展鐵の生産は四百三十萬噸から千四百萬噸迄増加する筈である。わが冶金業は生産機關の能力の點でも、生産高の點でも、アメリカには遙かに及ばぬが、ヨーロッパでは第一位に上る筈である。

良質壓延鋼、電氣鋼の生産並に鐵合金の生産の發達は特に重大な意義を有つものである。鐵礦石鑛業の改造を廣汎に行ふこと、そして貧鐵處理法や凝集法を實際に扶植することも必要である。鐵鋼業のための鬭争は第二次五ヶ年計畫においてもわが經濟的諸任務の中心をなすものである。

卑金屬工業は工業全體の發達速度から特に立後れてゐた。然るに、銅、アルミニウムその他の工業部門を決定的に向上させなくては、國防上の必要は云ふ迄もなく、機械工業や電化を必要なだけ發達させることも不可能なのである。卑金屬工業の立後れを清算し、その技術的改造を完成することは、第二次五ヶ年計畫の最重要任務の一つである。

化學工業は第二次五ヶ年計畫においては技術的改造に一番大きな役割を演ぜねばならぬ。第一次五ヶ年計畫では窒素、コークスル化學、アニリン染料、加里、燐灰石、その他一聯の化學工業部門が新たに創設された。第二次五ヶ年計畫では幾多の化學的生産が新設される。即ち、石炭、泥炭、頁岩等の化學的處理、新種の染料等がこれである。又プラスチック・マス、合成ゴムなどの生産も發展し、金肥の生産は、五年間に十倍に増大すべきである。化學工業の發達

は國民經濟並に國防にとつて特殊な意義を有つものである。

次に日用品を生産する工業へ移らう。この生産部門の最重要指標について表を擧げると次の通りである。

#### 工業總生産高の成長 (B群工業)

消費資料の生産 (單位十億ルーブル、一九二一—二七年度の價格による)	一九三二年		一九三七年		一九三二年に對する 一九二七年の比率
	消費資料の生産	一九三二年	一九三七年	比率	
内 譯	二〇・二	五四・三	二六八・八	%	
(一) 輕工業人民委員會	六・七	二〇・五	三〇・八		
(二) 供給人民委員會	四・六	一一・九	二八・三		
(三) 重工業人民委員會 (日用品)	〇・九六	二・五	九三・〇		
(四) 産業組合	一・九	六・〇	三一・〇		
(五) 人民委員會々々附屬買付委員會 (小麥製粉其他)	一・〇	二・五	二五・一		
(六) 其他の經濟機關による日用品の生産	四・八	八・六	一一・八		
輕工業のうち					
(イ) 綿布 (粗布を含む) 總額 (單位百萬メートル) 二七一・九・七		六二五・〇	二二九・八		
(ロ) 毛織物總額 (單位百萬メートル)	九一・三	二七・〇	二九五・七		
(ハ) 革靴總額 (單位百萬足)	八一・九	二〇・五	二五〇・三		



(三)硝子總額(單位千噸)	三九六・四	一〇三三	二六〇・六
(ホ)石鹼總額(純分四〇%のものに換算して) 單位千噸	三五七・二	一三〇〇	三六三・九
食料品工業のうち			
(イ)肉類(單位千噸)	四三五・〇	一二五〇	二八七・四
(ロ)魚類(單位千噸)	一三三三・〇	一九〇〇	一四二・五
(ハ)動物油(單位千噸)	六五・一	一八〇	二七六・五
(ニ)罐詰(單位百萬箇)	七一六・〇	二四〇〇	三三五・二

この表に見る通り、五ヶ年計畫期間中に輕工業の日用品生産高は六十七億ルーブルから二百五億ルーブルまで、即ち三倍以上に増加する。全食料品工業の生産高は五十六億ルーブルから百五十六億ルーブル迄即ち第一次五ヶ年計畫最終年度に比較して二・八倍以上に増大する。重工業人民委員會所屬の日用品の生産高も亦著しく増大する。即ち金屬製品の生産高は四・二倍に増加し、自轉車の生産高は五倍半に、時計は五・八倍に、寫眞機は十二倍半に、ラヂオ受信器は二十倍以上に、金屬食器類は四倍に増加すると云ふ様である。

技術的裝備の水準から云へば、ソヴェト聯邦の輕工業は第二次五ヶ年計畫の終りには世界最高位の一を占むるであらう。機械業、綿布工業、毛織工業における自動機の採用は急速に成長し、そして廣範圍に互るであらう。紡績ではソヴェトの技師フルーシチエフの發明に係る極めて完成したファタルを廣汎に利用する様になり、織布業ではシェンゲルの優秀な新式織機の採用に移るであらう。亞麻工業においてはソヴェト技師ズワルイキン發明の新式ファタルが採用

されるであらう。これは現在のファタルの生産性を四〇%方高め、そして紡績を著しく改善するものである。製靴工業、硝子及び陶磁器工業、並に麻苧リジュート工業等においても顯著な技術的改善が行はれるであらう。麻苧リジュート工業においてはソヴェト技師ロマノフの發明に係る製鋼機が生産を數倍高めるであらう。

食料品工業では第一次五ヶ年計畫期間中に一聯の新部門が創設された、即ち、モスクワ綜合工業やレニングラード綜合工業の如く有力な第一級の技術的裝備を有つ企業を含む製肉工業、有力な罐詰工業、モスクワ、レニングラード其の他都市における機械化された製パン業、人造バター、水素化業、果實、蔬菜及び其の他の部門がこれである。魚類工業の技術的再裝備の點でも多大の事業が行はれた。最重要工業中心地には大規模な冷凍企業が組織された。機械化された社會的供食企業、大食堂、大規模な機械的裝備を有する炊事工場等は都市配給機關のうちで卓越せる地歩を占めるに至つた。第二次五ヶ年計畫では、砂糖、罐詰、肉類等の諸工業、小麥粉、マカロニ、菓子、茶並に石鹼等の生産高が極めて大きな速度で成長する豫定である。食用脂肪製造工業は先進諸部門の成長水準に達して、三倍以上に成長するであらう。技術的改造を完成すればその結果、ソヴェト聯邦は第二次五ヶ年計畫の終りには食料品工業の生産高ではヨーロッパ第一位となるであらう。

輕工業と食料品工業は、第二次五ヶ年計畫では年々其の發達速度を著しく高める。これは特に指摘しておかねばならぬ。これに應じて其の技術的改造と生産原料の供給も發展すべきである。

生産品の品質を決定的に改善せよと云ふ黨の要求は全工業部門にあてはまることだが、これは特に消費品の生産に、おそらく、最もよくあてはまることだらう。輕工業は次の如き任務に當面してゐる。即ち綿布の品質の大改善、染料と圖案の改善、毛織工業における上質羅紗、ウーステッドの割合の増加、靴の耐久力の増大、高級織物、食器等々を



使用し初めることなどである。食料品工業では次の様な任務が特にさし迫つてゐる。即ち、豚肉、食用脂肪の如き優秀な製品を増加して獸肉工業生産品の品質を改善すること、上質魚類の割合を増加して魚類工業製品の品質を改善すること等がそれである。全糧工業、食料品工業に亘つて品種を改善し、生産品の不良規格を禁止し、全生産品の品質改善に關する黨と政府の課題の確乎たる遂行を保障せねばならぬ。

生産品の品質改善のための闘争は全工業の注意の中心となるべきである。

## 二、農業の向上と改造

農業の方面では第一次五ヶ年計畫では工業の如き急速な向上はなかつた。その向上は既に穀物農業と工業用農作物に及んだが、同時に牧畜業の減退と家畜頭数の減少が起つた。

農業では其の技術的裝備の點で變革が行はれたばかりでなく、又これは特に重要なことだが、その社會的組織そのものにも變革が行はれた。

同志スターリンは中央委員會報告の中で、近年行はれた農業の根本的再組織の情況を述べた。二十萬のホルホーズと、五千のソフホーズと、三千のMTS等の創設は最近四、五年間に起つたことである。農業全體、少くともその壓倒的部分がかように建て直されたことは無償ですむ譯には行かなかつた。この改造は非常な困難と結びついてゐた。そのためにこの農業再組織時代にはその向上速度を著しく速めることは不可能であつた。

この時代の最大の成功は、家畜頭数が非常に減退したに拘はらず、播種面積が増加したばかりでなく、最重要な農作物の生産高が増加したといふ事實である。これはホルホーズとソフホーズの個人經營農業に對する農業組織上の優

越性のお蔭があつて初めて到達出来ることであつた。これは農村において社會的改造と一緒に農業の技術的裝備のやり直しが行はれて、農業に尨大な数のトラクター、自動車、コムバインその他の農業機械が提供されたために出来たものである。これは黨とプロレタリア國家の全機關がホルホーズ、ソフホーズを堅め、ホルホーズの規律を高め、新鋭なホルホーズ活動分子を養成して、富農層の粉碎を保證し、そして農村に巨大な組織的、政治的活動を展開したために初めて達成されたものである。

個人農業からホルホーズ農業への農業の改造が根本において完成された今日では農業の向上のためにはこれまでと比較にならぬ程有利な條件が出来てゐる。同志スターリンは本大會に對する演説の中で次のように述べた。

「本質においてこの報告期間は農業にとつては急速な向上と力強い疾走の時期ではなくて、むしろ近き將來にさう云ふ向上と疾走を行ふための前提を作り出す期間であつた。」

このスターリンの指令を實現して近き將來に農業の急速な向上を實現することは、今や一にかかつて我々の双肩にあるのだ。

第二次五ヶ年計畫の農業向上課題は如何なるものであらうか？

第二次五ヶ年計畫の農業總生産高の増加に關する任務の規模は先づ次の表の指數に見る通りである。

### 第二次五ヶ年計畫における農業總生産高(單位百萬ツェントネル)

一九三二年	一九三七年	一九三二年に對する
一九三二年	一九三七年	一九三七年の比率
六九八・七	一一〇五・六	一五八・二%

一、全粒穀作物

六九八・七

一一〇五・六

一五八・二%



二、技術的農作物

(イ) 棉 花	一二・七	一一・五	一七七・七
(ロ) 亞麻 (纖維)	五・〇	九・〇	一八〇・〇
(ハ) 甜 菜	六五・六	二七六・〇	四二〇・七
(ニ) 日向葵草種子	二二・六	三五・七	一五八・〇

農業總生産高に關するこの課題を遂行することは穀物に對する需要を完全に充たし、更に工業用農作物に對する需要を根本において満足させるであらう。甜菜は第一次五ヶ年計畫末に比較して特に急速な増加を豫定されてゐる、一九三二年は甜菜が最も減退した年であつた。

五ヶ年計畫案は播種面積の大なる増加を豫定してゐない。

第一次及び第二次五ヶ年計畫における播種面積(單位千ヘクタール)

全播種面積	一九三二年	一九三七年	一九三二年に對する 一九三七年の比率
内 譯	一三四、四三五	一四〇、〇〇〇	一〇四・一%
(イ) 粒穀作物	九九、七一	一〇四、八〇〇	一〇五・一
(ロ) 工業用農作物	一四、八七七	一四、〇五〇	九四・五
(ハ) 野采瓜類	九、二一五	九六・〇	一〇四・二
(ニ) 飼 料	一〇、六三二	一一、五五〇	一〇八・六

計畫案によれば全播種面積は一九三二年の一億三千四百四十三萬五千ヘクタールから一九三七年の一億四千萬ヘクタール迄即ち五ヶ年間に僅かに四%の増加を來すに過ぎない。工業用農作物ではその播種面積の増加は、近年屢々異常に大なる面積に達することもあつたが、計畫案では播種面積の僅かな減少さへ生じてゐる(五・五%)。只中央消費地帯とシベリヤ、極東においてのみ播種面積をなほ著しく増加する任務が課せられてゐる。

第二次五ヶ年計畫の農業の主要任務は收穫率の向上である。次の表は、收穫率の向上事業において我等が當面してゐる任務を示すものである。

第一次及び第二次五ヶ年計畫における收穫率(一ヘクタール當り單位セントネル)

全粒穀作物	一九二八―三二年の平均	一九三七年	一九二八―三二年平均に對する一九三七年の比率
	七・五	一〇・六	一四一・四%
秋 蒔 小 麥	八・六	一二・〇	一三九・六
春 蒔 小 麥	六・一	八・五	一三九・四
ラ イ 麥	八・〇	一一・五	一四三・八
燕 麥	八・三	一一・二	一三四・八
大 麥	八・二	一〇・五	一二八・一
とうもろこし	八・九	一四・五	一六二・八
工業用農作物			
棉 花	七・五	一二・〇	一六〇・〇



亞麻(纖維)	二・二	三・七	一六五・八
甜菜	一一〇・一	二〇〇・〇	一六六・六
日向葵草實	五・五	八・五	一五四・六

この表を見れば、收穫率の向上について、我々が如何に巨大な任務に當面してゐるか分る。穀物においては四〇%以上の收穫率の向上を、棉花、亞麻及び甜菜は六〇%以上、日向葵草實は五〇%以上の向上を保障せねばならぬ。

それは改造期を終へた今日——小規模農民經營の大規模コルホーズ經營への改造が根本的に終了し、そしてコルホーズが或る程度に強固になつた今日——始めて提起し得る任務である。この大任務が我々の双肩にあるといふことは、改造時代を終へた後で、我々が直ちに今年度にも穀物と工業用農作物の著しい増産を達成し得たことを物語るものである。

牧畜業の方面でも我々は第二次五ヶ年計畫の増大の任務を提起してゐる。その任務が何であるかは次表に見る通りである。

ソヴェト聯邦の家畜頭數(單位百萬頭)

	一九一六年	一九二八年	一九三二年	一九三七年	一九三二年に對する一九三七年の比率%
一、馬	三五一	三三五	一九六	二一・八	一一一・二
二、牛	五八・九	七〇・五	四〇・七	六五・五	一六〇・九
三、羊と山羊	一一五・二	一四六・七	五二・一	九六・〇	一八四・三

四、豚

二〇・三

二五・九

一一・六

四三・四

三七四・一

この表によつて、馬については、第二次五ヶ年計畫の最終年度になつてもなほ曾つての最高點には遙かに及ばないことが分る。牛については近年中に過去の最高水準(一九二八年)に接近するであらう。羊と山羊については五ヶ年計畫は頭數では殆ど二倍の増加を豫定してゐるのであるが、それでも猶一九二八年の水準を保つことは出来ない。豚に關しては五ヶ年計畫は殆ど四倍の増加を豫定してゐる、豚の頭數では我々は一九三七年には過去の最高水準の二倍以上に達する筈である。

家畜頭數のこの増加はいづれも牧畜ソフホースとコルホーズ商品農場の改善について不屈不撓の活動を行ひ、又コルホーズ員個人の牧畜業の發達を充分に支持することによつてのみ達成し得るであらう。

この外に我々は牧畜業の品質標指(搾乳量、生畜重量、幼畜の成長等)の著しい向上を達成せねばならぬ。我々は牧畜業の向上に關する全工作の組織を通じて、立ち後れてゐる活動部署を急速に克服するポリシエヴィキの能力と、最重要經濟的任務の解決をポリシエヴィキの速度をもつてやつてのける能力とを示さねばならない。

重要なことは、そしてこれは農業の急速な向上を保證するために必要なことであるが、コルホーズとソフホーズの組織的、經濟的、強固化である。第二次五ヶ年計畫の任務を遂行するために、コルホーズとソフホーズはその活動を根本的に改善し、大規模な組織的な機械化經營に應はしき秩序を作り上げねばならない。黨はコルホーズ内の政治的活動とその組織的、經濟的強化事業とに對する指導を著しく高めるためにあらゆることをなした。ソフホーズとの政治部は大衆の指導上、畜農並に準畜農に對する大衆の闘争上、更にコルホーズをポリシエヴィキ的なコルホーズになす上で、強固なポリシエヴィキ幹部團が如何に決定的意義を有するかを僅か一年間に立派に證明した。成長しつつあるコ



ルホーズ尖鋭分子とコルホーズ大衆の積極性とは、進展してゐるコルホーズ間の競争や、コルホーズ規律の強化や、コルホーズ労働組織の改善（殊に農作物の刈入れ）や、コルホーズ財産並にソヴェト國家に對する義務履行上の態度等の中に現はれてゐるが、これはコルホーズ事業と農業の向上を計る上での確實な支柱である。

農業に課せられてゐる第二次五ヶ年計畫の任務を遂行することは、ソフホーズとコルホーズの技術的裝備をやりなほすことに懸るところ頗る大である。農業機械化の問題は第二次五ヶ年計畫では全貌を表はしてゐる。

農業用トラクターが如何に増加するか次表の通りである。

農業用トラクターの勢力（價却を差引く）

年 度	單位千馬力
一九三二年	二・二二五
一九三三年	三・一〇〇
一九三四年	四・四〇〇
一九三五年	五・五七五
一九三六年	六・六七五
一九三七年	八・二〇〇
一九三二年に對する 一九三七年の比率	三六八・五%

この表を見れば農業用トラクターが年に急速に増加することは明らかである。（然しスターリングラード工場をカタピラー・トラクター製作工場に改造するためトラクター能力の増加率は一九三五―三六年には幾分緩慢となる）。トラ

クターの大部分はMTSに屬し、そのためにコルホーズのトラクター根據は恐ろしく強固となるであらう。第一次五ヶ年計畫中に農業は五千臺のカタピラー・トラクターの供給を受けたが、第二次五ヶ年計畫では十萬臺以上の同トラクターが農業に使用されるのである。この事實は重大な意義を持つであらう。このトラクターは幾多の優れた點（鋤返しの深いこと、早春の作業）を具へてゐるので收穫率向上のための闘争を著しく容易ならしめるものである。この外に三萬五千臺の耕作用トラクターが農業に入込むのであるが、これは工業用農作物を向上させる闘争を著しく助けるであらう。

MTSの總數は六千ヶ所迄増加して、第二次五ヶ年計畫の終りには、全コルホーズを抱括するであらう。ソフホーズ數も亦増加する筈であるが、これは主として大規模すぎる穀物生産ソフホーズを小規模にして基礎のしつかりしたものとすことによるのである。

尙ほ農業機械化の根據が如何に増大するかは次表に見る通りである。

全農業における農業機械臺數（ソフホーズ、MTS、コルホーズ）

	一九三二年	一九三七年
コムバイン（單位千臺）	一五・五	一〇〇
複式及び半複式打穀機（單位千臺）	四七・七	八〇
發電設備（單位千キロワット）	六五・九	四二五
修理工場	二二・〇	六九二・〇
貨物自動車（單位千臺）	一四・五	一二八



總てこれは農業の機械化の完成を保障するものである。このことは、一九三四年には秋耕地の耕作がトラクターの力で八〇パーセントが機械化され、栽培が七〇%、穀物の刈入れが六〇%、打穀が一〇〇%機械化される事に示されてゐる。

わが農業が第二次五ヶ年計畫の終りには近々數年前のそれと全然似つかないものとなることは明かである。我々は農業労働が工業労働に轉化するといふことを全く正當に云ひ得るのである。

機械化と平行して、農業技術對策を實施し金肥の應用を廣める活動を進めねばならない。わが化學工業は五ヶ年計畫の終りには金肥の生産を何十倍に増加する筈である。この結果施肥面積は著しく増大する。棉花は其の播種面積の八〇パーセント迄は窒素肥料と燐灰肥料を、二〇%迄は加里肥料を施さされ、甜菜は其の播種面積の四〇%は窒素と加里肥料を、そして燐肥料は播種面積の一〇〇%まで施肥されるであらう。なほ一層根氣よく動物糞の施肥を續けねばならない。

農業技術對策の實施については、我々はなほ非常に後れてゐる。然るに、穀物及び工業用農作物の收穫率を高める任務の遂行は農業技術對策の實施に依る所頗る大きいのである。例へば、凍地の耕作、純休耕地の起用、優良種子の採用、肥料の利用を弘めること等がそれである。經驗によれば、地方機關がコルホーズに對してこれらの方策を實施した場合には重要な成果を擧げることが出来るのである。第二次五ヶ年計畫では、コルホーズはこの方面でも其の特殊な力を示し得るのである。大規模な機械技術と、農業技術方策の實施に幾千萬のコルホーズ員を強く堅く組織化すること——この二つの土臺を持つた大規模コルホーズ經營こそは文字通りに山をも動かす力である。

斯くて、我々はなほ農業では極めて低い發達水準に立つてゐるが、然し我々の手には農業生産を急速に向上させるための最も大なる前提が握られてゐる。一切は我々の双肩に懸つてゐる。急速に成長して行く技術的基礎を利用する能力にかゝつてゐる。コルホーズとソフホーズを大規模な機械化經營として組織する我々の手腕にかゝつてゐる。この大規模經營では、労働の生産性は、零細農民經營における労働生産性よりも比較にならぬ程高まるであらう。斯うして我々は第二次五ヶ年計畫において、工業と同様な向上速度を農業に保障する任務を提起してゐるのである。

### 三、運輸事業の向上と改造

工業製品と農産物の膨大な増加、都市と農村間の商品取引の發展、並びに勤勞者の福祉と文化の急速な向上、これはいづれも運輸事業に對して最も巨大な任務を負はせてゐる。國民經濟の向上と文化の發達には運輸事業は活潑な役割を演ずるもので、國民經濟の發達は運輸事業の成長如何に懸つてゐる。中央から遠く離れてゐる新開地方の經濟的文化的向上をはかる任務が、運輸事業を著しく發達させずには實現出来ないことは云ふまでもないことである。

#### 第二次五ヶ年計畫における貨物輸送(單位十億噸・軒)

	一九三二年	一九三七年	一九三二年に對する 一九三七年の比率
一、鐵道	一六九・三	三〇二	一七八・四%
二、河川運輸(曳船輸送)	二六・一	六四	二五四・二
三、海洋輸送(ソツェト船舶による輸送)	一八・二	五一	二八〇・二



この表を見れば、全貨物輸送のうちで決定的役割を演ずるものが鐵道輸送であることは明かである。今日でも國民經濟の成長が如何に運輸に依存してゐるかを我々は、日々感じてゐる。この鐵道運輸の發展が鐵道運輸に對する指導そのもの、改善に依るところ多大であることは疑ふべくもない。黨の與へた指令を現實に實施すること、そして鐵道運輸の繁文褥禮的官僚的指導方法との鬭争を實際に展開すること——これは我々の根本的任務の一つであつて、この任務を解決せずには國民經濟の發達上最も根本的な必須條件を保障することは出來ないのである。鐵道運輸の活動が不満足なのは、其の技術裝備の立後れを現はしてゐる。この立後れも亦出來る限り速かに清算されねばならない。貨物輸送の急増をはかる任務と結びつけて、運輸事業、就中鐵道運輸を技術的に改善する事業はわが經濟的諸任務の中心となるべきである。

鐵道運輸の改造の根本方策は如何？

第二次五ヶ年計畫の期間に五千軒の鐵道の電化が實現されねばならない。重油機關車への移行が展開しはじめてゐる。最も停滞してゐる幹線、就中、ウラル—クズバス、ドンバス、ザバイカル及びウスリ等の幹線九千五百軒に亘つて複線の敷設が進行中である、自動閉鎖機は第一次五ヶ年計畫末の五百八十二軒であつたに對し八千三百軒に達する筈である。運轉材料に就いて計畫中の方策は非常に大きな意義を持つもので、それは次の表によつて判斷すること出來る。

第二次五ヶ年計畫期間における鐵道運轉材料の能力の増加

一、機關車數(單位臺)	一九三二年	一九三八年	一九三七年に對する
	一九、四七五	二四、六〇〇	一月一日
			一二六・五%

(イ)貨物機關車(單位臺)	一六、三五〇	一九、七二〇	一二〇・六
(ロ)貨物機關車總牽引力(單位千噸)	一九六・二	二九七	一五一・三
(ハ)客車用機關車(單位臺)	三、一二五	四、八八〇	一五五・八
(ニ)客車用機關車總牽引力(單位千噸)	二六・四	四六・五	一七六・一
二、電氣機關車(單位臺)	一〇	四一〇	—
三、重油機關車(單位臺)	六	二七六	—
四、車輛總數(單位千臺)	五三六・九	六八六	一二七・八
(イ)貨車(單位千臺)	五〇七・九	六四四	一二六・七
(ロ)貨車の貨物積載總量(單位百萬噸)	九・五	一五・八	一六六・三
(ハ)客車(單位千臺)	二九	四二	一四四・八

この表によつて總牽引力が機關車數よりも著しく急速に増加することが分かる。これは鐵道運輸が「エフ・デ」型の強力な貨物機關車及び「イ・エス」型の強力な客車機關車に移行するためである。又この表を見れば貨車の貨物積載量が貨車數よりも著しく急速に増加することも明瞭である。これは第二次五ヶ年では主として大型貨車が建造されるためである。四車軸大型貨車は貨車の基本型となるであらう。全貨車は自動制動機を備へ、貨車の半數以上は自動連結機を備へるのであるが、これは鐵道の運輸能力の増加にとつて大きな意義を持つであらう。

新設鐵道のうちで、千四百軒に亘るバイカル—アムール幹線は膨大な設備を割當てられる。この幹線はザバイカル地方をアムール河下流と連結して、今日迄大部分は人跡未踏の地であつた廣大な地域を經濟生活に引き入れるであら



う。  
これらの方策はいづれも鐵道運輸の國民經濟全體の成長に對する立ち後れを清算するといふ一つの目的に向つてゐるものである。運轉材料及び鐵道網の利用方法を正しく組織化し、そしてこれに應じて修理工場を發達させて鐵道運輸の技術的再裝備に關する上述の方策やその他の方策を實施することは鐵道運輸に課せられた任務の遂行を完全に保證するものである。

水運の意義は第二次五ヶ年計畫では著しく増大する。水路網も増大する。第二次五ヶ年計畫の第一年度に、スターリンの名を冠する延長二百二十七浬の白海―バルチック海運河の建設は竣工した。延長百二十七浬のヴォルガ―モスクワ運河（この運河はソヴェト聯邦の首都を最大の河川船舶の寄港地に變へるものである）の建設工事はすばらしい速度で目下進行中である。最後に第二次五ヶ年計畫では延長百浬のヴォルガ―ドン運河が建設される。白海をバルチック海と結びバルチック海を黒海と結びモスクワをヴォルガと結びつけるこの新運河建設事業と現有の水運系統（マリンスカヤ及びモスコ―レツカヤ）等の擴張を行ふ結果、ソヴェト聯邦のヨーロッパ地方には統一的な一大水運系統が創設されるのである。

河川運輸と海洋運輸の更新並に改造事業は第二次五ヶ年計畫では著しく高められねばならない。これは鐵道運輸の任務遂行を少なからず容易ならしめるものである。

自動車路運輸の國民經濟的意義と砂利道の新設は急速に成長する。我國ではこの事業は偉大な將來を持つものである。

航空運輸は各地方間の連絡並に大工業中心地間の連絡上、絶大な役割を演ずるであらう。

通信機關殊にラヂオ連絡は第二次五ヶ年計畫の任務を實現する上で大きな役割を演ずべきである。この通信機關の意義は國民經濟全部の活動に對する急速な實際的指導を保證する點で、又文化建設事業上目を追ふて増大するのである。

最後に運輸事業の向上並に改造問題について、私は次の根本思想を強調せねばならない。我々は運輸事業、就中鐵道の技術的再裝備に對してすばらしく大きな工作を行はねばならぬ。そして第二次五ヶ年計畫中に運輸に供給すべき新技術の巨額の投資は眞實に利用されねばならない。このためには鐵道運輸の全機關は現在よりも比較にならぬ程の高い水準に高められねばならない。然るに、運輸事業の同志たちは現在の技術的裝備をさへ使ひこなさきれないでゐるといふことを認めねばならない。我が運輸事業、就中鐵道の技術的裝備が著しく高まるとともに、この新技術を正しく利用し又全運輸活動を實際に改善することに對する運輸指導部全體の責任も亦著しく増大する譯である。この任務を解決すること、是が非でもポリシ―ヴェイキ的に解決すること、これが最も重要な最も緊急な我等の任務の一つである。

#### 四、技術的改造の完成と技術體得の問題

技術的改造事業の遂行は新技術體得のための不屈の闘争を必要とする。我々は「改造時代には技術が總てを解決する」といふ同志スターリンの言葉をよく記憶してゐる。

これらの教示は全經濟部門の技術的改造が完成する第二次五ヶ年計畫においては特殊な意義を持つものである。従つて、黨は第二次五ヶ年計畫では新建設事業と云ふ標語を新技術と新生産の體得てふ標語によつて補ふべきであると



認められたのである。

新技術體得の事業と全生産組織改善の事業で我々の納めた成功は我々の活動の實踐的成果をもつて測ることが出来る。その成果は就中、労働の生産性の大きな成長と生産原價の著しい低下に現はれるべきである。我々は第二次五ヶ年計畫において工業の労働生産性を六三%だけ高め、工業生産品の原價を二六%だけ低下すべき任務を負ふてゐる。

生産物の原價の低下は第一に労働生産性の向上に依存してゐる。

結局、第二次五ヶ年計畫の工業生産物増加に關する全計畫の遂行は労働者の勞力の生産性の向上如何に懸つてゐるのである。他方又、第二次五ヶ年計畫の労働者の物質的文化的水準の大向上は、わが工業、其の他の經濟部門の労働生産性の急増をはかるための前提を作り出すものである。

では五ヶ年計畫が目論んでゐる工業其の他の經濟部門の労働生産性の増加は何に基くか？

労働生産性の向上は、先づ第一に全國民經濟内の改良、新技術の大成長に基くものである。従つて労働生産性の成長と生産原價の低下とは次の様な部門に最も強くあてはまるのである。即ち鐵鋼業、機械工業、石炭業及び總じて技術的基礎が極度に改造されてゐる大工業がそれである。労働生産性の最高の成長速度は新企業及び新集合體を有する企業について計畫されてゐる。

労働生産性の向上は第二に、わが工業企業において完全に利用されてゐない労働時間の莫大な餘力が現存してゐることに基くものである。ソヴェト權力によつて七時間まで短縮された工業の労働日の利用が如何に亂暴であるかは争へない事實が證明してゐる。多くの企業では労働者の労働時間が一日五時間乃至五時半を超えてゐないことが立證さ

れてゐる。この點では多くは労働者自身の罪でもあるが、然し、より以上に經營上の指導如何に、工場内の労働組織事業の改善如何に、最も左右されてゐるのだ。

我々は七時間労働日を本當に利用することを學び取らねばならない。さすればこれは工業における労働生産性の巨大な増加を齎らすであらう。運輸に對してもソフホーズに對しても、勿論、同斷である。

労働生産性の向上は第三に全社會主義的建設事業における労働者大衆の積極性の成長に基いてゐる。この積極性は社會主義競争と突撃隊運動とその新たな形態(例へば企業における社會的技術試驗)等の中に見事に表現されてゐる。見習うべき立派な一例はレニングラードの諸企業における技術工業財政計畫の作成と實行の經驗である。この技術工業財政計畫の作成には、經濟的指導者や技術的指導者が参加するばかりでなく、全工場労働者も参加した。この労働者は職場、集合體及び個々の機械の生産的技術的性能を檢査してもつてこれによつて企業の全生産資源の發見に努めたのであるが、この技術工業財政計畫は速度達成闘争の、すぐれた社會主義的一形態である。この技術工業財政計畫の觀念の實行は經濟的指導「一般」の古い習慣とは兩立しないが全労働者集團の自己の企業に對する責任を著しく高めるので、こゝに我々の最も大なる力が存する。この外に労働者階級の成長し行く積極性がなほ幾つもの他の形態において我が國に展開されてゐることか！

労働生産性の向上は最後に、經營當事者、技師、技手及び資格労働者の幹部團が我が國に秩序ある生産經驗を蓄積したこと、そして第二次五ヶ年計畫にはそれが急速に成長するといふ事實に基くものである。彼等、即ち、資格労働者、技師、技術家及び經營指導者の幹部團並に増加し行くその補充隊は、國民經濟が第二次五ヶ年計畫中に、すばらしい技術的裝備を體得する任務を名譽にかけて解決すべきである。



我が幹部團、就中、有資格労働者幹部團について一言しよう。

この點では我々は第二次五ヶ年計畫において巨大な前進を遂げるであらう。

第一次五ヶ年計畫期間には工場學校の卒業生四十六萬人を國民經濟に送出したが、そのうち工業には工場學校卒業の資格労働者三十萬人を送出したのである。第二次五ヶ年計畫では全國民經濟に對して工場學校出身の資格労働者二百七十萬人を送出す計畫である。この内百七十萬人は工業に、五十萬人は運輸に向ふ筈である。その外に農業のために百五十萬人の資格當事者——トラクター操縦士、コムバイン操縦士、班長等——が養成されるであらう。最後に自動車學校や講習所においては自動車運輸のために運轉手七十萬人が養成されるであらう。かくて五ヶ年間は新たに養成される約五百萬人の大衆的資格従業員が生産に送り出されるであらう。

最高工業學校及び技術専門學校出身の専門家は第二次五ヶ年計畫中に第一次と比較して著しく増加する。

工業においては技術専門學校卒業者は第一次五ヶ年の六萬九千人から第二次五ヶ年には十七萬二千人迄増加し、最高工業學校卒業者は六萬人から十一萬二千人迄増加する。運輸では技術専門學校卒業者は二萬八千人から九萬七千人迄増加し、最高工業學校卒業者は八千人から二萬八千人迄増加する。農業の方面では技術専門學校卒業者は五萬七千人から十五萬三千人迄増加し、最高工業學校卒業者は二萬九千人から五萬四千人迄増加する。かくて工業、運輸、並びに農業のための専門家の養成は第二次五ヶ年計畫では過去の五ヶ年に比し急速に増加する。これに加ふるに技術専門學校及び最高工業學校卒業者の熟練家そのものは年々成長し行くのである。

最後に工業と鐵道運輸内の専門家數について述べよう。中等並に高等教育を受けた専門家數は工業では一九三二年の十二萬三千人から一九三七年には三十萬人迄増加する。運輸ではこの専門家群は五年間に一萬人から四萬一千迄増

加するのである。

かくの如く我が工業と運輸と農業は第二次五ヶ年計畫の期間に尤大な數の新技術家、即ちソヴェト權力によつて教育された専門家、新技術を指す且つ新條件の下で活動する準備を有する専門家によつて充たされるであらう。これはプロレタリア國家が管理し得る巨大な資本である。

なほ、ソヴェト聯邦で進展されてゐる科學技術事業についても述べねばならない。我々は外國の技術について、外國の専門家について多くのことを學ばねばならなかつた。この勉強は無駄ではなかつた。だが我が國には科學と技術の新幹部が既に著しく成長してゐる。従つて第二次五ヶ年計畫では國民經濟の技術的再裝備事業は既に著しくソヴェト技術の達成に依存するであらう。科學的技術的活動と社會的實踐との結合は益々緊密となり、ソヴェト聯邦における科學技術的活動は社會主義建設事業の統一計畫によつて益々統一されるであらう。

科學技術幹部を含めてプロレタリア生産技術的インテリゲンチヤを作り出すことは近き將來の最も重要な任務である。第二次五ヶ年間に我々はこの任務の解決に向つて急速に前進するであらう。労働者並びに全勤労働者大衆の巨大な文化的成長と一緒に、資格労働者新幹部養成事業の大飛躍と一緒に、ソヴェト國家は各種部門の技術及び經濟の新専門家數萬人を所有することになる。この幹部團を擁して、我々は新技術と新生産を體得し、わが企業を眞に文化的に社會主義的に活動させんとする最大任務の解決に着手することが出来る。我々はこの幹部團を擁して國民經濟全部門の技術的改造任務の解決に着手し、そして第二次五ヶ年計畫によつて提起された國民經濟の向上計畫の遂行に敢然と着手することができる。

以上はいづれもソヴェト聯邦の生産力がこの國にも曾つてなかつた程、又わが國の過去にも見られなかつた程成



長するのを保障すべきである。單に工業の成長速度の點ばかりでなく基本工業部門の發達水準の點でも、ソヴェト聯邦はヨーロッパの最先進諸國を超越して巨歩を進めるであらう。これは『第二次五ヶ年計畫草案』第一卷にソヴェト聯邦國家計畫委員會の擧げてゐる次表に見る通りである。

世界工業生産高におけるソヴェト聯邦の地位(註一)

生産品の種類	一九三二年(註二)		一九三七年(註二)	
	全世界における	ヨーロッパにおける	全世界における	ヨーロッパにおける
工業生産總額	五位	三位	二位	二位
電力	一〇	七	四	二位
石炭	六	四	三	二位
泥炭	一	一	一	一位
石油	二	一	一	一位
鉄	五	五	二	二
鋼	五	五	二	二
一般機械工業	四	二	二	二
農業機械工業	四	二	二	二
トラクター	四	二	二	二
コムバイン	四	二	二	二

自動車總生産	一九三二年(註二)		一九三七年(註二)	
	全世界における	ヨーロッパにおける	全世界における	ヨーロッパにおける
自動車總生産	二位	七	五	三
其中中貨物自動車	一位	六	二	一
銅	七	九	三	一
アルミニウム	一	一	二	一
セメント	一	七	二	一
燐肥料(過燐酸鹽)	一	九	二	一

(註一) 資本主義世界の分は「Annuaire Statistique de la Société des Nations」の統計資料に據る。  
 (註二) 一九三二年及び一九三七年は一九二九年の資本主義諸國における生産との比較。

この表によつて第二次五ヶ年計畫の終りには、全世界諸國家の生産高(量)から見たわが國の地位は過去に比較すれば根本的に變化することが分る。工業總生産高の點ではソヴェト聯邦は第一次五ヶ年計畫の直前には世界諸國家中の第五位を占めてゐたが、第二次五ヶ年計畫の直前にはソヴェト聯邦は既に全世界で第三位に上り、ヨーロッパ第二位を占めた。第二次五ヶ年計畫の終りには、わが國の工業生産高は全世界第二位をヨーロッパにおいて第一位を占むるであらう。技術的・經濟的關係において資本主義諸國に「追ひ付き追ひ越す」任務は實際に實現されるのである。ソヴェト聯邦は凡ゆる經濟領域において先進的技術の國に轉化する。ソヴェト聯邦は豊富な工業、農業生産物を有する國に轉化する。國民經濟全部の技術的再裝備を行ひつつソヴェト聯邦は、××××社會主義社會を完全に建設するに應はしき、經濟、技術、文化の發展の底知れぬ可能性を持つた國となるのである。



## 二、建設計畫と生産諸力の新分布

國民經濟の技術的改造の完成と、勤勞者大衆の福利文化の急速な向上とは新建設事業の巨大な展開を行はずには實現不可能である。第二次五ヶ年計畫の新建設事業は國民經濟全部門に——重工業においても、輕工業においても、運輸においても、農業においても——急速に展開される。第二次五ヶ年計畫の資本工作計畫の特殊性は、ソヴェト聯邦の生産諸力の新たな一層合理的な分布にある。ソヴェト全領土に亘る工業の均等な分布、原料及び動力源泉への工業の接近、後進民族共和國並びに地方の急速な經濟的文化的向上の保障と、都市農村間の對立の根絶への大前進に關する黨と政府の決定は現實に進展する。

第二次五ヶ年計畫の新建設事業の飛躍について第一次五ヶ年計畫との比較を述べやう。國民經濟の資本工作總量は第一次五ヶ年計畫では五百五億ルーブルであつたが、第二次五ヶ年計畫では千三百三十四億ルーブルに達する、即ち二・三倍に増大する。

各部門別の資本建設の割當は次の通りである。

資本支出の半數以上、即ち六百九十五億ルーブルは工業の發展に向けられる。この支出の獅子の分前即ち資本活動總額の四〇%に當る五百三十四億ルーブルは生産手段の生産工業に充てられる。これによつて國內工業化の基礎たる重工業のより以上の強化が保障される。

他方、輕工業及び食料品工業に對する資本投下の増加速度は重工業の速度の殆ど二倍に達するのである。この支出

額は第一次五ヶ年計畫には三十五億ルーブルであつたが、第二次には百六十一億ルーブルで四・六倍の増加である。消費資料を生産する工業が斯様に發展することは第二次五ヶ年計畫の根本任務に完全に答へるものである。

農業への(ソフホーズ、M T S、コルホーズ)資本工作も矢張り著しく増大する、即ち、第一次五ヶ年計畫期間の九十七億ルーブルから第二次には百五十二億ルーブル迄、即ち一倍半以上に増加する。この百五十二億ルーブルの中にはコルホーズ自身の支出は算入されてゐないが、後者は農業の建設計畫に對する少からぬ補足となつて居るものである。M T Sに對する資本工作は五倍以上に増加して就中急激な増加を示してゐる。その結果、M T Sはコルホーズの全播種面積を其の活動下に置くことになる。ソフホーズ建設は、ソフホーズを農耕の領域でも、牧畜業の領域でも、模範的な企業たらしめるための一切の前提を創造すべきである。

運輸における資本工作の増加は平均水準以上に豫定されてゐる。ここでは建設事業は第一次五ヶ年計畫の八十九億ルーブルから第二次五ヶ年計畫には二百六十三億ルーブル迄、即ち三倍に増加する。

第二次五ヶ年計畫の建設計畫の最も重要なモメントは新企業の老大な開業計畫である。一千三百三十四億ルーブルに達する資本工作計畫の内、新規開業の新企業改革企業の投下資本額は一千三百二十億ルーブルと豫定されてゐる。これは第一次五ヶ年計畫中に開設された企業の投下資本額の殆んど三倍以上である。これは一方からは第一次五ヶ年計畫から引き繼いだ建設事業の大きなためでもあるが、他方、我々が蓄積して來た建設經驗によつて急速な建設速度を擧げ得る様になつたためでもある。

この規模の資本工作と新企業の開業計畫は、國民經濟の活動しつゝある基本資金の老大な増加を保證するものである。各種の企業に投ぜられた基本資金總額は、五年間に八百五十億ルーブルから千九百五十億ルーブル迄増加する。



これは國內の基本資金が二・三倍に増加することを意味する。工業ではこの資金は三倍に増加し、農業と運輸では二倍に増加する。これによつて全國民經濟内の工業の指導的役割は一層強固となる。

この建設計畫は生産計畫の遂行に必要な可からざる技術的基礎の成長を保證するばかりでなく、又幾多の工業部門において大きな餘力を作り出させるものである。第二次五ヶ年計畫中に創造されるこの資金、石炭、發電所その他の部門の大きな生産餘力は第三次五ヶ年に國民經濟のより以上の大發展を準備するものである。

### 一、工業部門別新建設事業

國民經濟の個々の部門において建設事業が如何に進展するかは次に示す通りである。

機械工業においては第二次五ヶ年計畫の期間に九十四の新工場が建設される。第一次五ヶ年計畫で建設に着手した次の諸工場はこの期間に竣工する。即ち生産能力十萬噸を有するウラル重機械工場、生産高十五萬噸のクラマトルスキー工場並にウラルの大化學機械工場、一年に「エフ・デ」型機關車千八十臺の製造力を持つルガンスク機關車製造工場、機關車五百臺と重油機關車五百臺の製造力を持つオルスキー機關車・重油機關車製造工場、幹線用電氣機關車三百臺の製造力を持つカシル電氣機關車工場等も建設を終へるのである。四車軸車輛五萬四千臺の製造力を持つウラル車輛製造工場は完全に建設を終はる。そしてクズネツキー及びノヴ・ヂェルカスキー機關車製造工場並にカザン車輛製造工場の建設が進展する。極東のコムソモルスクの造船所の如き最大規模の造船工場の竣工と並行して河川及び海洋船舶建造の大工場群の建設が發展する。五萬臺の發動機製造力を持つウファ發動機工場の建設が竣工する。ゴリキ市自動車工場は自動車三十萬臺迄擴張され、モスクワのスターリン自動車工場は自動車八萬臺迄擴張され（その内

一萬臺は「ビウッチ」型）そしてヤロスラフスキー工場は五萬噸積貨物自動車二萬五千臺迄擴張される。この外第二次五ヶ年計畫では、各々三萬噸積貨物自動車十萬臺の製造能力を持つウフイムの自動車工場とスターリングラード自動車工場が建設される。自動車製造のためにその附屬品生産工場の大群が發展する。そのうちには二百四十萬個の製造力を持つ新設の大ボールベアリング工場、自動車用電氣器具及び自動車用器具工場等が含まれる。ハリコフの百五十萬キロワットのタービン發動機工場が竣工し、そしてウラルの變壓機及び電氣器具工場が建設され、モスクワ地方における幾多の電器工場が建設され、ヴォルガ河地方には研磨機、放射穿孔機、齒刻機、自動機及び重機械等を生産する十個の機械製造工場が建設される。紡績用機械裝備、染色用機械裝備等の製造工場群の建設も進展し又食品工業、製材工業及び製紙工業等の種々な裝備品の生産も亦發展する。以上列舉したものは第二次五ヶ年計畫中に建設されるこの大機械製造工場の全目錄のほんの一部にすぎない。

電化の方面では七十九ヶ所の地區發電所の建設が行はれ、そのうち四十八ヶ所は新設發電所である。ソヴェト聯邦の基礎的工業地方たるモスクワ、レニングラードの兩地方では巨大な建設事業が進展する。ウクライナにおける石炭、冶金業の根據地とウラルルックスネツ、企業聯合も擴張される。高壓配電線によるモスクワ—イワノフ—ゴリキ—三市の結合、其他東部地方では南北ウラルと中部ウラルの結合、ウクライナではドンバスとドニエプル企業聯合の結合、以上はソヴェト聯邦の基礎的工業地方を結合するところの統一的な高壓配電網の創設の準備を意味するものである。

基礎的工業諸地方は完全に電力を保證される。新開の諸地方でも發電建設工事は急速に成長する。

モスクワ電氣中心地は著しく強化され完全に電力を供給しそしてモスクワ地方の需要に對して送電餘力を貯える様になるであらう。それと同時に、モスクワはソヴェト聯邦の又全世界で最大の暖房設備を有する中心地となるのであ



る。レニングラードは確實に電力を保證され、しかもその電力の生産は移入燃料には依存しなくなるであらう。ウクライナにおける石炭冶金業根據地も亦完全に電力を保證される。ドニエプロ電氣中心地とドンバス電氣中心地との結合、更にその結合の中に北部カフカズの石炭冶金地方を包容すること、——これは第二次五ヶ年計畫末には總發電力二百萬キロワット、可能發電量九十億キロワット時を有するこの電力系統を世界最大の電力系統たらしめるものである。ウラル地方では電氣建設工事は同地方産の石炭を土臺として發展する。

石炭業では大規模な堅坑建設が進展する。その結果産炭力一億四千三百萬噸を有する百七十八ヶ所の炭坑が作業を開始する。計畫案には六十五ヶ所の新炭坑の基礎建設を豫定してゐるが、これは第三次五ヶ年計畫のはじめの諸年度に採炭高を一層發達せしめるものである。

石油工業では、資本工作は全重工業の資本工作の平均速度よりも著しく高くなる。殊に重要なのは石油精製工場——四十六基の第一蒸溜罐と九三の分溜工場の新設である。第二次五ヶ年計畫には次の様に豫定されてゐる。即ちカスピイール湖間、マハチ・カラリヴォ・ロネジ間、ネフテダグ・ク拉斯ノヴォツ・間の石油輸送管建設の完成、バク—バツーム間の石油輸送管の建設及びグロズヌイ—アルマヴィル間、ツルードワヤ—ドニエプロ—ベトロフスカ間の石油製品輸送管の建設。

鐵鋼業では次の諸工場が竣工する。即ち鉄生産力二百七十萬噸のマグニトゴルスク工場、鉄生産力百萬噸のクズネツキー工場、ザボロジスキー工場、アブクスタリ工場、ブリウヨグ工場、ツウクスキー工場、リベツキー工場、ベトロウ・ザバイカリスキー工場。並びに鐵管、壓延業では——ニコボリスキー、第一ウラリスキーの兩工場。タギルスキー工場の建設は豫定生産力の半分だけ完成し、バカリスキー工場は熔鐵爐二基の作業を開始し、ハリロフ

スキー工場、第二クズネツキー工場及び極東製鐵工場等の建設が進展し、いづれも最初の工場群は五ヶ年計畫の終りに作業を開始する。

卑金屬工業では銅の生産力十萬噸のプリバルハシスキー企業聯合と銅生産力五萬噸の中部ウラル工場の建設が完成する。ウラル及びザカフカジの舊來の銅製煉企業は改築され、銅の生産力は八萬乃至八萬五千噸迄擴大される。この他鉛の生産力六萬噸のカズボリメタル企業の建設が完成する。リップデルにおける豊富な卑金屬根據地の利用が強化される。チェリヤピンスク及びオルジョニキエ市の亞鉛工場の建設が開始される。ウォルホフスキー・アルミニウム工場及びドニエプロベトロフスキー・アルミニウム工場の建設も亦完成する。ウラルには生産力二萬五千噸の新アルミニウム工場と生産力八千噸のカレリスキー工場が建設される。マグネシウム、ニッケル、錫及び稀金屬等の生産を保證する工場建設は重大な意義を持つであらう。

化學工業の方面では、金肥企業聯合、合成ゴム工場、アニリン染料及び漆染料工業、プラスチック、曹達工場、硫酸、ゴム、人造纖維及びその他の諸工場の新設が進展する。

輕工業では建設事業の發展は第一次五ヶ年計畫に比すれば特に顯著である。これは次の通りである。即ち第二次五ヶ年計畫中に十五ヶ所の最大規模の企業聯合が新設される。これ等の聯合工場の内五ヶ所——タシケンツスキー、バルナウリスキー、ホジェンスキー、チャイルジュスキー及びザカフカスキーの企業聯合——は各々二十萬噸を有するものである。各々八百萬乃至千五百萬米の織布能力を有する十二ヶ所の大規模毛織工場、各々一萬八千乃至二萬七千噸を有する十二ヶ所の製靴企業、十八ヶ所の大規模メリヤス企業、十三ヶ所のカットニン工場、一億足の生産力を有する二十一ヶ所の製靴企業、五十四ヶ所の裁縫工場、十九ヶ所のガラス工場、九ヶ所の樂器企業、及びその他多くの工場



が建設される。

食料品工業でも建設事業の發展は過去の諸年度よりも著しく高まるのである。この方面では、第一次五ヶ年計畫で着手された十七ヶ所の獸肉聯合工場が完成し、二十三ヶ所の獸肉聯合工場の新設が伸展する。その外十四ヶ所の砂糖工場、二十一ヶ所の罐詰工場、三十六ヶ所の製菓工場、五十九ヶ所の大冷凍所、四十七ヶ所の製粉聯合工場その他多くの企業が作業を開始する。

林業の方面では多数の挽材工場、木材化學企業、張木工場その他の建設が展開される。カムスキー及びビコードボチスキー纖維製紙聯合工場並びにシャスキー纖維聯合工場バシキルスキー及びクラスノヤルスキー製紙聯合工場の建設が完成する。家具工場その他も新設される。

ソヴェト聯邦では既に建築工業が特殊の工業部門として創設されてゐるのである。第二次五ヶ年計畫では建築工事の機械化は著しく成長し、建築工事の根本過程の機械化は八〇%以上に達してゐる。第二次五ヶ年計畫には建設事業の大飛躍と關聯して新建築技術（諸外國の經驗の優秀な成果を含めて）を廣く且つ巧妙に利用する問題は特に重大な意義を持つのである。

建設事業に今一つ次の様な一般的な指摘を試みて見よう。

我々はわが工業が高度な集中化を達成して、それが最重要生産部門では巨大工場によつて代表されてゐることを誇るものである。又我々は現代一流の技術を裝備した大企業、最大企業の凡らゆる優越性を今後も益々利用して行かねばならぬ。それは第二次五ヶ年計畫の保證するところである。然しながら工業の集中化を、所謂建設事業の「巨人狂」と云ふ病氣と混同してはならない。これについては新開地方の工業の發展と工業の發達してゐない地方に工業企業を

創設し又工業を原料、燃料資源に接近させること等が新建設事業の最重要任務の一つとなつてゐる今日では特にこれを銘記しておかねばならぬ。この點から見れば我々は、例へば一、二の自動車工業の新設に止めずに、ソヴェト聯邦の各地方に四つの自動車工場の建設を進めることを必要と認めたのである。

工業の大成長と共に都市建設事業と新都市建設も發達するであらう。第二次五ヶ年計畫では數百の工業中心地をよく整頓された都市に轉化する工作が廣汎に進展する。

こゝでその標本となるのは我々の首都モスクワ市である。モスクワは近年その都市建設事業において渺からぬ仕事を爲し遂げた。がこゝでも建設事業の任務が如何に増大して來たかは次に述べる通りである。即ち第一次五ヶ年計畫ではモスクワでは街路、舗道及び砂利道の改善の爲に多くの事業を行つたが、それは無論完成には程遠いものであつて、今後も繼續されるのである。然し第二次五ヶ年計畫ではモスクワは一層複雑な諸任務も遂行しなければならぬ。第一にモスクワとヴォルガ河を結びつける大運河の建設、第二にソ聯邦最初の地下鐵道の建設がそれである。モスクワ地下鐵の第一期工事は第十七回十月記念日には運轉を開始するのである。現在既に三萬五千以上の労働者がこの建設事業に従事してゐる。そして仕事は眞實にポリシエヴィキ的テムボで進んでゐる。

個々の事業の内レニングラード市の一つの建設事業を挙げよう。同市には全ソ聯邦臨床醫學研究所の活動に最大の新基礎を齎すべき一大建設事業が第二次五ヶ年計畫の間に完成されるが、これは科學思想にとつて重大な意義を持つものである。この研究所の任務は人體の組織、その健康及び疾病の完全な研究と科學としての醫學を發達することにある。外國にもないこんな大研究所がソヴェト聯邦に創設されると云ふことは、社會主義を建設してゐる國では人間に對しても科學に對しても新たな態度を採つてゐることを示めすものである。



ソヴェト宮殿の建設は一切の普通の塔を越えてゐる。莊大な設備を有するこの宮殿は同時にすばらしく大きなレニンの巨人像の臺座とも成るのである。この建設はソヴェト聯邦における社會主義の勝利の記念碑である。我々は第二次五ヶ年計畫の間にこれを完成せねばならない。

## 二、各地方別の建設の新分布

第二次五ヶ年計畫の建設計畫で偉大な意義を持つのは國內全土に亙る建設事業の新分布である。この建設事業の新分布は二つの任務の實現を目指してゐる。即ち第一に、從來極度に後れてゐた地方で新工業の發展地となるべき各地方の天然資源の利用を出来る限り盛んにすること、第二に、後進民族共和國及び州（その後れてゐることに今日も尙帝政時代の植民地的統治の痕跡も見えてゐる）に急速な經濟的文化的向上を計ること——がそれである。

天然資源の點では我國は最も富かな國に屬する。

鐵、石炭、石油、卑金屬並に森林、水力等の如き基礎的天然資源については我々は世界諸國中の第一位、乃至首位の一つを占めてゐる。我が地質學者の活動は近年著しく發展し、目覚ましい成果を齎したがこの活動は今後も百万支援助して行かねばならない。

ソヴェト聯邦の鐵礦の總埋藏量は、約二千四百億噸と計算されてゐるが、これは全世界鐵礦資源の約五十%に當る。この埋藏量は全ヨーロッパ埋藏量の四倍以上である。調査済みの石炭資源は十月革命後五倍に増加した。石炭資源ではソヴェト聯邦は北米合衆國に次いで最も豊富な國である。ソヴェト聯邦の石油埋藏量は三十億噸と算定されてゐるが、これは世界資源の三分の一に當たる。卑金屬の調査は著しく後れてゐる。銅、鉛、亜鉛、ニッケル等の我が

資源は尙世界埋藏量の5%乃至10%にすぎない。然し、近年調査が進展した結果、卑金屬及び稀金屬（ウラルフ、ラム、モクブデン、蒼鉛、ベリリウム）資源は急速に増加してゐる。森林資源については我々は今日も尙僅かしか利用してゐないが、その可能性は眞に無盡藏である。これと共に中心地方附近の許し難き森林と乾燥地方の殖林方法の貧弱なことを指摘せざるを得ない。我が水力資源は嘗つては極めて貧弱に調査利用されてゐたのだが、ソヴェト政權になつて初めて大規模な水力發電所の建設が開始されたのである。國內の天然資源の調査、利用が如何に拙劣を極めてゐたかは次の通りである。即ち舊ロシアでは、假に現在の版圖について見れば、鐵礦の探掘は殆ど専ら國內の南部とウラルの小規模なものに限られてゐた。ドンバスは産炭總量の八六%を給し殘餘の地方は全く顧みられなかつた。石油はバクーとグロズノイからだけ産出したにすぎない。

だが今では事情は根本的に變つた。古い諸地方と相伍して鐵礦でも、卑金屬でも、石炭でも、石油でも最早新産地が續出して來てゐる。わが國には次の様な大鐵礦原産地が発見されてゐる、即ち最も豊富な地方たるクルスコイ磁氣異變地、マグニトナヤ山、バシキリヤのケメロヴォ・ジギンスキー鐵脈、中部ヴォルガ地方のハリロフスキー鐵脈並に、西部、東部シベリヤ、カザクスタン、北部カフカズ地方及びレニングラード州北部等の鐵礦原産地である。石炭鑛業では既にクズバスを新ドンバスに轉化すべき任務を提起して居り、更に次の如き石炭地方は急速に向上してゐる、即ちカラガンダ、キゼロフスク、チェリヤビンスク、ボッドモスコフイ諸地方並に東部シベリヤ、極東、ザカフカジニ、中部アジア及び北部邊境の諸地方がそれである。バクーとグロズノイの兩産油地の外にマイコブ、エムバ、トルクメニヤ、クラスノヴォツスク、バシキリヤ其の他の新石油地方が大なる意義を持つ様になつてゐる。

上述の天然資源が現存してゐること、その分布状態に關聯して第二次五ヶ年計畫では工業化事業の新據點を左記



の東部地方において創設すべき任務が特に提起されてゐる。即ちウラル、西部及び東部シベリヤ、バシキリヤ、極東地方、カザクスタン、中部アジア等の地方がそれである。東部地方におけるこれら新工業根據地の創設は、これらの地方の冶金業、石炭鑛業、並に機械工業の旺盛な發達振りによく現はれてゐる。

わが東部地方の工業化の發展の首位を占めるものはウラル・クズネツ企業聯合であつたが今後もさうであらう。この建設事業には第二次五ヶ年計畫でソヴェト聯邦の國民經濟總投資額の約四分の一が投ぜられる。前記ソヴェト聯邦東部諸地方（ウラル、シベリヤ、バシキリヤ、極東地方、カザクスタン、中部アジア、ザカフカジエ）の工業化の新支柱的據點の總體に對しては、其の冶金、石炭、石油、機械製造、電氣建設事業等を發展させる目的で、重工業の新建設總投資額の約半額が投下されるのである。

他方、輕工業と食料品工業は農産原料資源へ接近させられる。これも亦、第一に、東部地方と中部及び北部地帯の工業的に後れた二、三の地方で行はれる。第二次五ヶ年中に建設される十五ヶ所の木綿企業聯合のうち十ヶ所は中部アジア、シベリヤ及びザカフカジエに建設される筈である。亞麻工業では新工場は主として西部地方、ゴリキ地方及び白ロシアに建設される。製糖工場は大部分は西部シベリヤ、キルギジヤ、極東地方、及びザカフカジエに建設される。その外、東部諸地方には毛織物工場、メリヤス、絹業、裁縫、皮革、製靴等の諸工場の大建設並に獸肉聯合工場、搾油、マカロニ、製菓其の他の建設が發展する。

第二次五ヶ年計畫の全工業建設事業では工業的に後れた諸地方に特に深い注意を拂つてゐる。この點では中部ヴラルガ、タタリヤ、中央黒土地帯、北カフカズ、ザカフカジエ、カレリヤ、ムルマンスク地方、極東、東部シベリヤ等の如き諸地方の工業建設が著しく強固に展開されるのである。

同志スターリンは、今ではわが國を工業地方と農業地方に分ける古い分類法は其の意義を失つたと云つたが、第二次五ヶ年計畫の建設計畫は、この結論を完全に裏書きしてゐるのである。

第二次五ヶ年計畫における工業の新分布は、輕工業、食料品工業の新設と共に重工業の基礎的根據地の創設を完成し、各民族地方の經濟的立後れを急速に克服するものである。

農業の方面では我々は、穀物を生産する基本的諸地方の發達を保障し、穀物經營、就中消費地帯及びシベリヤの小麥の作付を大いに發展させねばならない。消費地帯の播種面積は、叢林の清掃による新開墾地を三百七十萬ヘクタールだけ増大する筈であるが、この消費地帯は顯著な小麥生産地方の一つに轉化すべき一切の地盤を備へてゐる。工業用農産物の基本的生産地方の作付面積を確保すると共に、東部地方の新甜菜根據地の創設を保障せねばならない。高價新農作物の發達を、殊に亞熱帯地方における其の發達を強力に支持せねばならない。

ヴラルガ東岸地方の旱魃との闘争事業は大活動を展開してゐる。ヴラルガ東岸地方の廣大な灌漑計畫は、地方的灌漑をもつて十三萬ヘクタールの被灌漑地域を創設することから着手し、同時に、ヴラルガ東岸地方の全般的灌漑計畫を實現する準備を完成せねばならぬ。

運輸事業は生産諸力の新分布と云ふ任務を實現する上で大きな且つ積極的役割を演ずべきである。この意味でバルハシ（銅）、リッデル（銅、亜鉛、鉛）、ステルリタマク（石油）、チウリム（木材）等の如き工業企業地へ至る鐵道敷設事業を進展せねばならぬ。

以上はいづれも、第二次五ヶ年計畫の國民經濟の向上と生産諸力の分布計畫とは、國民經濟全體の急速な成長を保障するのみならず又後進諸地方の經濟的文化的水準の著しく急速な向上をも保障すると云ふことを示すものである。



第二次五ヶ年計畫の建設計畫の實現は、わが國の姿を變じて、天然大富源を生産に引入れ、農業勞働を其の新機械技術を用ひて工業勞働の水準まで高め、後進諸地方を國內の先進的地方に接近させ、新運輸網によつて中心地と遠隔の邊境地方とを連絡し、ソヴェト聯邦の諸民族の民族文化の未曾有の向上を保障し、そして、この總てを以つて、都市農村間の對立の絶滅を準備するものである。

この建設計畫の實現と國民經濟全部門の發展、社會文化的施設の實施、行政上、國防上の支出、これらは第二次五ヶ年において三千三百億ルーブル以上を要求する。即ち第一次五ヶ年計畫における二・八倍以上である。一九三七年だけでも前記の出資は七百六十六億ルーブルである。

これらの財源はどこにあるか？

國家の主要な決定的な収入財源は、社會主義經濟が與へべき蓄積の中になければならない。これは次に見る通りである。

一九三七年には、民間資産の吸収額は(直接税、募債其他)前記支出の八分の一足らずを償ふ。即ち一九三二年の八十二億ルーブルに對して九十三億ルーブルに當る。斯くの如く、第二次五ヶ年計畫遂行のための主要な収入財源はこれではないのである。

他方、社會主義經濟が與ふべき蓄積(利潤、取引税)は一九三七年には六百十五億ルーブルに上る筈であるが、これは一九三二年に比し二倍の増加である。これが第二次五ヶ年計畫の最大の課題である。これらの蓄積を國家の手に保障することは、次の二つの條件を遂行して初めて可能となる。第一に、國民經濟全部門の生産増加計畫を完全に遂行して生産原價を豫定の程度に引き下げる事、第二に商品取引の豫定通りの發展を實現して商業の収入を擧ること。

この基礎的國家収入財源の内まづ前者を検討しよう。

第二次五ヶ年計畫で生産原價を引下ぐべき我々の任務はどの點にあるか？

その課題は次の通りである。工業全體の生産原價の低下率は二十六%に達すべきであるが、これは一九三七年度には百四十億ルーブル以上の蓄積を國家に與へるものである。運輸では原價引き下げ率は四十%であるがこれは七十六億ルーブルの蓄積を齎らす。ソフホーズ委員會では六十三%で十六億ルーブルに當たる。商業機關の運轉經費引き下げは二十六%で二十億ルーブルに當る。建設費の引下げは四十%でこれは國家に八十七億ルーブルの節約を來させる。これ等の任務を遂行することは一九三七年度に三百六十億ルーブルを國家に與へることを意味する。これ等の任務の遂行は次の諸事項を果して初めて出来ることである。(イ)五ヶ年計畫に豫定してある勞働生産性の増加を保障すること。(ロ)生産物一單位當りの燃料及び原料支出を切り下げる事、その爲には、今なほ我が國に充分存在し得る經濟的亂脈と頑強に闘争すること。(ハ)一切の非生産的支出を著しく削減し、各種機關その他を縮小すること。これらの任務を解決することは、わが工業、運輸、ソフホーズ及びソルホーズの活動改善のための大闘争を展開することの意味する。これらの事業はひとりで行はれるものではない。それは、幾千の困難と闘争することによつて解決されるのである。我等は既にその困難を少からず克服して來たが、今一層頑強な、一層組織的な闘争を行はねばならない。

國家収入の第二の最大財源は國營コーペラチフ商業であらう。商業収入を完全に保障するために、我々は日用品の品質を極力改善して、商品生産計畫を完全に遂行せねばならない。さすれば、國家収入のこの最重要財源も保障されるであらう。第二次五ヶ年間に我々は小賣物價の三十五%乃至四十%の引下げるべき任務を立ててゐることを忘れて







れてゐて、一定の教育課程を経てソヴェト國家の勤勞者の列に入るといふ事實は最も偉大な意義を持つものである。わが國の勞働者には勞働日を延長される危険は無い。それどころかわが工業においては勞働日は既に七時間に短縮されて居り、より困難な仕事では六時間以下に短縮されてゐるのである。そして國家は唯一つのこと即ちこの短い勞働日の間を規帳面に完全に働くといふ一事を要求するだけである。

勞働者と従業員との収入については第二次五ヶ年計畫では實質賃銀の向上に重點をおいてゐる。一九三二年の水準と比較すれば實質賃銀は五ヶ年計畫期間中に二・一倍に増加すべきである。これは勞働者及び従業員（農業部門の勞働者を含みます）の個々人の實質的消費量が二倍以上に増加すべきことを意味するものである。

勞働者及び従業員の實質賃銀の増加は次の三源泉から生ずるのである。

(イ) 勞働者家族の貨幣収入の著増。

(ロ) 勞働者及び従業員が文化生活的奉仕として國庫その他の資金から受ける無償施設の大なる増加。

(ハ) 日用品價格の大低落。

國民經濟の全部門に亙る賃銀資金は五ヶ年計畫の期間に、三百二十七億ルーブルから五百十八億ルーブルに増加する。即ち五九%の増加である。勞働者従業員の貨幣収入は五ヶ年計畫の間に四〇%だけ増加する。その平均賃銀は二・五%だけ増加する。我々は、第二次五ヶ年計畫における貨幣賃銀を一般的に向上させる方針を正しくないと考へる。否、勞働者の賃銀の向上は勞働生産性の成長と勞働者の熟練化の著しい向上の結果において生ずるものであり、又第二次五ヶ年計畫の第一年度に行はれた賃銀の向上と關聯してゐるものである。最後に、勞働者の貨幣収入の増加は勞働者家族の勞働人員が増加し、給料取り、恩給受領者等の數が増加する結果でもある。

勞働者従業員の實質賃銀の増加にとつて大なる意義を有つものは勤勞者の文化生活的無償施設に充てられる國庫支出である。この支出は勞働組合の支出と合計して五ヶ年計畫の間に四十三億ルーブルから九十三億ルーブル迄、即ち二倍以上に増加する。この支出は恩給及び社會保險に對する補助金増額、青少年の養育及び教育經費の増額、醫療、託兒所、休息の家、療養所、その他勞働者従業員の生活的、文化的條件の改善に充てられるものである。

五ヶ年計畫に豫定してある日用品の小賣價格の三五%乃至四〇%方の引下げは、實質賃銀の増加にとつて決定的意義を持つてゐる。周知の通り、近年我々は一再ならず商品價格を引上げねばならなかつた。今や、わが工業は強固になつた、農業は再組織の時代を終つた。わが幹部團は成長した。従つて我々は、商品價格を決定的に引下げるために、生産原價を引下げ、非生産的消費を削減する一切の前提を供へてゐる。物價を三五%乃至四〇%引下げることは小さからぬ任務ではあるが、我々は今やこの任務を遂行し得るのである。又それ故に又是が非でもこの任務を遂行せねばならない。茲に、第二次五ヶ年計畫中に都市農村の勤勞者の福利を向上させる決定的槓杆がある。

農村は今や急速な向上期に入つた。コルホーズ員の福利は目に見えて増加してゐる。コルホーズが既に組織替への時代を通過し強固になつた時から、我々が穀物の記録的な高收穫を得たと云ふことは決して偶然ではないのだ。穀物の收穫が數も多かつたのがコルホーズの組織が一番よく行はれてゐる所であつたことも亦周知の通りである。カバルダの例はこれを語るものである。そこではコルホーズは實際それだけ強固になつたのであるが、昨年度には穀物（とうもろこしを含めて）の分配高は一勞働日につき一ブードに達したのである。

農民コルホーズ員は自分の生活を急速に改善するために、たゞ一つの事柄を憶へておけばよい。それはコルホーズで眞面目に働き、そしてコルホーズの財産に注意深い態度を取ると云ふことだ。國家は又、トラクター、自動車、



コムバイン、農業機械、修理場其の他の技術裝備をもつて農民を援助するだけでなく、熟練した農業の専門家幹部團の養成に力を注ぎ、トラクター運轉手、コムバイン操縦士、コルホーズ及びMTSの班長及び指導者等の一大軍勢の養成を組織してゐるのである。

牧畜業を發展させるために國家はコルホーズとソフホーズに援助を與へるばかりでなく牛を持たないコルホーズ經營に對し貸付をしたり仔牛の分讓法を講じたりして、牛を有しないコルホーズの絶滅を極力促進してゐる。わが國では本年度即ち第二次五ヶ年計畫の第二年度中には、最大地方では牛なきコルホーズ經營を根絶し、全コルホーズ員に牛又は仔牛を分配するに至るであらう。コルホーズに種家畜や優良種子や其の他を供給する上でソフホーズは大なる役割を遂行するであらう。

斯様に、コルホーズをポリシエヴィキ的たらしめ、そしてコルホーズ員に文化的な裕かな生活を保障するためには一切の前提が出来上つてゐる。我々は同志スターリンのこのスローガンを既に第二次五ヶ年計畫の最初の二、三年間に實現し得るし、又實現せねばならない。かくて、幾千萬の農民大衆は、遂に人間的に文化的に生れ更るであらう。文化的發展の點ではソヴェト聯邦は巨人の如く前進してゐる。

第二次五ヶ年計畫中に我々はこの方面で次の如き任務を實現せねばならない。

- (イ) 民間の文官の完全な清算。この任務は、今後二三年間に全く實現されるやうになつてゐる。
- (ロ) 都市農村を通じて、七年制の普通義務工藝教育を實現すること。その結果、七年制學校の生徒数は二千七百七十萬人から二千八百八十萬人迄増加する筈である。この任務はわが學校教育の發達上第二次五ヶ年計畫の中心任務となるべきである。

(ハ) 普通教育の教師の總數を五ヶ年計畫の期間に六十二萬八千人から八十三萬四千人迄増加すること。學校に高等及び中等教育を受けた教師を配置し、同時に學校及び生徒に對して教科書、教材、及び必要施設を保障し、學校活動の内容を著しく高めること。マルクスレーニン主義の基礎の上に學校の工藝教育を實施して、學習の内容を向上させることは、黨と政府の第一級の任務の一である。

(ニ) 生徒總數(初等、中等學校、勞働者豫備校、工場學校、工業學校、高等學校、及高等工業學校の)を一九三二年の二千四百二十萬人から一九三七年には三千六百萬人迄増加すること。

(ホ) 學齡前の社會的養育を受ける七歳以下の兒童數を一九三二年の五百二十萬人から一九三七年には千六百萬人以上迄増加すること。こゝでも最重要任務は、資格幹部團即ち教師及び指導者を學齡前の教育に供給することである。

(ヘ) 公民學校及び高級講習所の生徒數を千五十萬人迄増加すること。これは民間大衆の巨大な文化熱に結びついてゐる事柄である。

(ト) クラブ、文化の家、讀書の家等を四萬九千三百ヶ所から七萬六千九百ヶ所迄、即ち一倍半以上に増加すること。

(チ) 大衆的圖書館網を五ヶ年計畫の間に一萬五千ヶ所から二萬五千ヶ所迄増加し、且つ其の藏書數を三倍に増加すること。

(リ) ラヂオ放送局を五ヶ年計畫の間に五十七ヶ所から九十三ヶ所に増加し、ラヂオ聽取所はソヴェト聯邦の全人口千人當り十三ヶ所から全國では五十七ヶ所迄、都市では百ヶ所迄増加すること。



(チ) 學術研究所(技術研究所を除く)の學術従業員數(研究學生を除く)を五年間に一九三三年の五萬二千六百  
人から五萬九千人迄増加すること。

民族的諸共和國及び州は文化的建設の全部門に互つて最大の成長速度を持つてあらう。民族文化の成長のために、  
又ソヴェト聯邦内の全民族の勤勞者中から新たな文化的幹部が廣汎に輩出するために、こんな好條件が創造されたこ  
とは曾つてなかつた。社會主義的基礎に立脚する民族文化の大成長の中にソヴェト聯邦における………が眞實の經濟的、文化的向上の基礎たり得るものである  
長が現はれてゐる。ソヴェト聯邦は、現在では………が眞實の經濟的、文化的向上の基礎たり得るものである  
と云ふことの無數の實例を………新に提供するであらう。

勤勞者の保健改善事業でも第二次五ヶ年計畫には矢張り偉大なる任務がある。保健事業、勞働者の休息及び體育に  
對する支出額が第一次五ヶ年計畫の五十四億ルーブルから第二次五ヶ年計畫では二百五億ルーブル迄、即ち殆んど四  
倍に増加することを見てその任務の大きさが察せられる。病院の收容患者數は都市では四十四%、農村では九十八  
%夫々増加する。醫療幹部團も著しく増加する。

住宅改善は勞働者にとつて第一級の意義を有つものである。住宅總面積は第二次五ヶ年間に一億八千五百萬平方  
から二億四千六百萬平方迄即ち三十三%方増大する。然し人口が著しく増加する結果住宅標準面積は僅かに十五%  
の向上に過ぎない、が二、三の工業部門ではその増加は一層急速である。例へば機械工業では住宅標準面積は二十二  
%増加し、鐵鋼業では三十三%、石炭工業では二倍に増加する。

最後に都市農村勤勞者に對する配給事業の改善と商品取引の發展について述べやう。  
我々が第二次五ヶ年計畫において管理する商品總額は如何程であらうか?

我々は既に、輕工業、食料品工業その他の日用品の生産部門が第二次五ヶ年計畫中に如何に急速に成長するかを知  
つてゐる。これに應じて我々の管理する日用品の總額は急速に増加するであらう。今一九三二年に國營工業の生産し  
た工業商品の總額が食料品を含めて百四十五億ルーブルに評價されたとしたら、(一九三二年の不發賣價格におい  
て)、一九三七年にはその商品生産額は四百十五億ルーブル迄(前記の價格において)即ち百八十六%だけ増加するの  
である。家内工業共同組合の日用品の生産の増加は幾分緩慢であるが、他方、非市場的生産物は市場向生産物よりも  
増加率が著しく緩慢である。その結果、市場向日用品の總額は五ヶ年間に二百五%方増加する。即ち市場向日用品は  
五ヶ年計畫の終りには三倍以上に増大する。農業の商品生産高も亦急速な速度で増加するが、同時にコルホーズ員の  
個人的消費も大いに増加する。

農業の商品生産物の増加は、第一に基本的な國家收納(租税、M T S やソフホーズ等の現物支拂)により、第二に  
郊外地經營により、第三にコルホーズ商業と分散的貯藏によるものである。農業商品生産物を増加せしめるこれ等の  
全源泉は穀物、馬鈴薯、野菜等の如き生産物の供給を殆んど二倍に高め、そして肉類と牛乳の供給を約二倍半に高め  
る可能性を與へるものである。

その結果我々は公衆供食と共に、國營及び消費組合商業の小賣商品取引總額の急速な増加を得るのである。これが  
第二次五ヶ年計畫の商品取引増加の根本的指標である。

#### 第二次五ヶ年計畫における小賣商品取引の増加

一九三二年の對比小賣價格において(單位百萬ルーブル)



	一九三二年	一九三七年	一九三二年に對する 一九三七年の比率
一、日用品 織物、衣類、靴、石鹼、書籍、 その他の工業製品を含む	一六、九七〇	五四、二八〇	三一九・九%
二、營養品 パン、肉類、鶏卵、脂肪、砂糖、 魚等を含む	一〇、一四五	二六、三八五	二六〇・一
三、社會的供食 糧草アルコール類を除く	四、八〇〇	一三、九二〇	二九〇・〇
總計	三一、九一五	九四、五八五	二九六・四

この表によつて日用品の小賣取引が特に急速に増加することが分かる、(三二二〇%)。營養品の取引高は幾分緩漫に増加する(二六〇%)。社會的營養品はその中間の發展速度を以て増加する(二九〇%)。總體において商品取引は五ヶ年計畫の終りには殆んど三倍に増加する(二九六%)。都市では稍々緩漫で(二八三%)、農村では最も急速である(三二九%)。

最主要生産物の平均一人當り標準消費額もこれに相應する速度で増加することを附け加へておく。第二次五ヶ年計畫の期間にこの平均標準消費額は肉類及び獸脂においては二倍に、鶏卵、砂糖、菓子類においては約二倍半に、罐詰においては五倍に、パン、馬鈴薯、野菜においては五倍に増加する。

全工業商品の平均一人當り標準消費額も、第二次五ヶ年計畫の期間中に二・八倍に増加する。

以上はいづれもこの五ヶ年間に勤勞者の消費水準は二倍半乃至三倍に高めることを可能ならしめるものである。商品取引高の増加と共に營養品及び日用品の最重要群の比重を増加し、商品の品質と品種を改善し、もつてその構成内容の著しい改善を來さねばならない。

國營消費組合商業網の商品取引の増加と、五ヶ年計畫末の工業商品價格の三五%乃至四〇%の低落とは農業生産物の市場價格の引き下げを來す可能性を與へ、又商業内の投機的要素根絶の闘争を徹底的に遂行する可能性を與へるものである。工業商品と農業商品の「價格の缺型」は接近して漸次に全く消滅する。我々は既に商業取引價格の低下を實施しはじめた、そして農産品の市場價格の低下には著しい成果を收めた。第二次五ヶ年計畫では我々は標準量によつて制限された商業の廢止を準備するために、商品取引の成長と工業商品及び農産物價格を低下せしめる政策の實現とを來さねばならない。

その爲には我々は小賣商業網のより以上の大發展を必要とする。これは消費組合にも(殊に農村における)商業取引を含む國營工業にも、各人民委員部の勞働者配給部にも又社會供食にもあてはまることである。コルネーズ商業を著しく發展する。

あらゆる形態の國營商業と消費組合商業を發展させそして大取引にも小取引にも夫々技術的に適合した有力な大小店舗網を保障することによつてのみ、又國營消費組合商業の全組織を眞實に改善し商業網内の幹部團を淘汰することによつてのみ、我々は第二次五ヶ年計畫の當面の任務を果し得るのである。商業改善の事業では今日迄我々は緩漫に進んで来たから第二次五ヶ年ではガッチリとこの事業にかかつて、急速な向上を辿る廣汎なポリシエヴィキの大道に導かねばならない。近き將來の最重要任務の一つであるこの任務に對して我々はポリシエヴィキ的解決を來さな



ればならない。労働者及び農民への配給事業を眞實に改善しようと欲するならば、我々は右の任務を遂行せねばならない。實質賃銀の決定的向上と、労働者に對する配給の改善とによつて、國民經濟の向上計畫とその生産高の急増を來さうと欲するならば、我々はこの任務を遂行せねばならない。我々はこの任務を解決して労働者と農民との……  
……最も強固ならしめると云ふことを想起して、是が非でも、この任務を遂行せねばならない。

同志スターリンはわが國內の條件下で進展してゐるソヴェト商業の意義を見事に評價した。同志スターリンはソヴェト商業に對する且那的な無頓着な態度をも、又直ちに物々交換に移る可しと云ふ「極左」的な小ブルジョアの囁言をも、徹底的に排撃した。

これはいづれも商業における我々の任務を強調するものである。商業管理上の繁文褥禮的な官僚的な秩序は殊に決定的に非難されるべきものである。この秩序は商業内に今なほ強くして、それに對する闘争も尙微弱であるから、かかる繁文褥禮的な官僚的な不仕態を絶滅して、凡ゆる眞面目な労働者、献身的なポリシエヴィキ、商業機關の改善のために頑強に活動してゐる人々を極力支持することは黨の最重要任務の一つである。

我々は労働者農民大衆の物質的、文化的な生活水準を急速に向上させるために素晴らしい前提を持つてゐることを認めざるを得ない。國家は凡ゆる手段を盡して都市農村の勤勞者の福利の向上を促進してゐる。

國家と黨の方策は労働者の労働條件を日々改善し、そして彼等の生産的熟練化と一般文化水準の向上を奨励する點に向けられてゐる。がこれは又労働の生産性を確實に高めつゝ、全労働者大衆に對してその物質的福利の改善と文化的向上の道程を、未曾有の速度で前進する可能性を與へるものである。

國家と黨の方策はソヴェトの地上から……残存物を終局的に清掃し、農村の新制度に對する××のありとあらゆる抵抗企圖を撲滅し、そしてコルホーズに機械と優秀技術を供給し、農村の文化生活の急速な向上を保障して、コルホーズを極力強化することに向けられてゐるのである。これは農業の向上のために又全コルホーズ員大衆の文化的な裕かな生活を保障するために未曾有の有利な條件を作り出し、そして新たな幸福な生活へのこの向上速度を、コルホーズ員自身の組織と労働の生産性に直接に依存させるものである。

労働者農民の物質的、文化的な生活水準の急速な向上の道程に横はる一切の障碍は既に取り除けられてゐる。この全事業では最後の決定は労働者自身が、勤勞農民自身が下すことになつてゐる。結局、この問題は我々自身に懸つて居り、吾々の活動に懸つて居り、與へられた任務遂行の闘争を組織する我々の手腕に懸つてゐる。

#### 四、五ヶ年計畫のための闘争と黨の指導

過去の時代は……残存物と労働者階級との緊張せる闘争を物語つてゐる。勝利をもつて第二次五ヶ年計畫の任務に着手するために、労働者階級は、都市におけるネップマンの残存物を放逐し、農村における……、わが國で今もなほ勢力のある小ブルジョアの本性に日毎に反撃を加へねばならなかつた。

ポリシエヴィキ黨の間にさへ、敵對階級の壓迫を其の小ブルジョアの動搖と反黨闘争の中に反映してゐたところの幾つものグループが発見された。「左翼的」反對派の旗の下に、或は、ポリシエヴィキ的速度に對する右翼偏向的の反對闘争の旗の下に、最後に、これらのグループ及びフラクションとのプロククの旗の下に、黨の原則方針とレニンの指



導とに對する反對闘争が行はれた。このレニンの指導の先頭には同志スターリンがゆるぎなく立つてゐたのであり、現存もさうであり、將來もさうであらう。黨は、一切の攻撃を撃退した、そして、右翼的、「左翼的」日和見主義者等を粉砕した。……、わが國には黨もなく、社會主義の偉大なる勝利もなかつたであらう。

黨と労働者階級は、一國內社會主義の勝利の可能性を否定したトロツキー反對派を粉砕して後始めて第一次五ヶ年計畫の事業に着手することが出来たのである。我々を資本主義へ引戻さうとしたこの敗北的グループ……には、我々はわが國の労働者階級が第一次五ヶ年計畫において遂行し且つ最後迄勝利的に遂行した所の献身的な闘争について考へることさへ出来なかつたであらう。トロツキー主義者等を破砕して黨は、一國內社會主義の勝利を主張するレニンの旗を守り通した。その時に始めて、労働者階級の廣汎な大衆の中にXの政策の正しさに對する全き確信が生み出された、そして大衆の熱意は、社會主義の建設道程を一步前進する毎に成長するやうになつた。

若し黨が、工業化のポリシエヴィキ的速度を拒否し、わが國に資本主義を解放せんとした右翼的提案との闘争において動搖を示したならば、第一次五ヶ年計畫のための闘争は勝利を収め得なかつたであらう。右翼的攻撃に答へて黨は、全線に亘つて資本主義分子への攻撃の旗を進めた。そして此の旗の下に我々は第一次五ヶ年計畫の勝利を確保したのである。右翼偏向の清算者的本質と其の富農的裏面とは時を失せずポリシエヴィキによつて曝露された。右翼との闘争、「左翼」との闘争において、又この連中の持つてゐる資本主義の更生的イデオロギーとの闘争において、黨は労働者階級と幾百千萬農民大衆とを結合させ、そして社會主義建設事業の最も困難な任務——農村の社會主義的再建設の任務——を解決したのである。

第一次五ヶ年計畫の成功は、一國內社會主義建設……、全世界の最も廣汎な勤勞者大衆の面前で……

明した。

ソヴェト聯邦の社會主義は、其の……のための將來闘争の凡ゆる内部的困難にも打勝つた。この困難は大したものでもなく、又我々が曩に克服した眞に巨大な困難とは比較にならないものではあつたが、とに角それに打勝つたのである。この點に第一次五ヶ年計畫の勝利の根本意義がある。

我々はソヴェト聯邦で進行中のことを資本主義諸國の事情と比較せざるを得ない。

資本主義世界は恐慌後既に第五ヶ年目であるが、なほ深刻な經濟恐慌から脱出し得ないのである。昨年資本主義諸國に多少の好轉が現はれた後でさへ、其の經濟生活の水準は一九二九年の恐慌前よりも矢張り著しく低いのである。

ソヴェト聯邦と基本的資本主義諸國の國民所得の動態を對照すればわが國と資本主義諸國において情勢が如何に發展して來たかを判断することができる。

### ソヴェト聯邦と基本的資本主義諸國の國民所得の動態

一九二八年に對する百分比(註)

國名	一九二八年	一九二九年	一九三二年	一九三七年(計畫)
ソヴェト聯邦	100	115.6	182.0	432
イギリス	100	103.8	83.1	—
ドイツ	100	101.0	61.4	—
北米合衆國	100	103.4	43.6	—

註、統計資料は、イギリスの分は國際聯盟の『世界經濟狀勢一九三二—三三年』、ドイツの分は『經濟と統計』一九三三年



この表によれば、一九二八年から一九三二年までに英國の國民所得は一六・九%低下し、獨逸では三八・六%低下し、北米合衆國においては五六・四%低下した。この表に明かな通り、最も富裕な資本主義國たる合衆國で國民所得は最もひどく低下したのである。たゞソヴェト聯邦においてのみ國民所得はこの期間に八二%だけ増加した。

我々は、一九三三年―三七年間のソヴェト聯邦と資本主義諸國の國民所得の動態を比較することは出来ない。資本主義諸國には五ヶ年計畫もなければ、明瞭な見透しもない。資本主義諸國の多くの指導者等は、果してこの期間(第二次五ヶ年計畫)の終りにさへも、一九二八年の水準へ轉ずる見込みを持つてゐるであらうか。ソヴェト聯邦では事情は異なつてゐる。わが國には明瞭な見透しがある。それは第二次五ヶ年計畫の中に示されてゐる。我々は國民所得の堅實な向上道程を進んでゐる。我々は國民所得を一九三二年に比し一三八%、一九二八年に比し三三二%だけ増加する任務を立ててゐる。

私は、資本主義諸國においてこの恐慌期間に生産諸力の巨大な破壊が行はれたことを證明する無数の事實を引證することはやめやう。

其の事實は餘りに多く、そしていづれも工業生産高の大減退、操業休止中の老大な生産機關、工業及び都市の新建設の縮小、多くの場合新建築の完全な中止、國際貿易の破局的減退、労働者階級の無数の犠牲、労働者の失業と極貧、農村の窮乏化と農業の衰退等を證明してゐるのである。一九三三年六月合衆國議會が次の様な言葉で初まつてゐる「全國産業復興法」を通過せしめたことを指摘すれば十分であらう。曰く、

「大衆的失業と生産の破壊の中に表現されてゐるところの、國民的不幸が存在してゐることが認められる。この不幸は各州間商業にも、外國貿易にも重荷となつて居り、一般的福利に損害を齎らし、アメリカ國民の生活水準を破壊し……云々」

最強の資本主義國の「國民的不幸」と國民生活水準の破壊を語るこの言葉は自らすべてを物語つてゐるのだ。又それが現代資本主義社會の支配團體によつて述べられたものであるだけに其の意義は尙更大きい。

翻つて、我々は第二次五ヶ年計畫の勝利のための闘争の中に自分の任務を見出すのである。第二次五ヶ年計畫には吾等の任務は巨大なプログラムの中に展開されてゐる。このプログラムは本大會へ提出したテーゼの中に述べられてある通り次の事項を保障するものである。

【(イ) 農民經濟の共營化の全き完成と全室内工業者、生産手段の××の協力化に基づいて資本家的要素と階級一般……ソヴェト聯邦の多様な經濟制度を清算すること。そして國內の全勤勞住民を社會主義社會の積極的な意識的な建設者に轉化せしめると共に唯一の生産方法として……生産方法を確立すること。

(ロ) 第一次五年計畫の期間に創造されしより以上に急速な向上の道を進みつゝある生産手段を生産する工業(重工業)を土臺としてソヴェト聯邦の全國國民經濟の技術的改造を完成すること。

(ハ) 労働者農民大衆の福利を一層急速に向上させ且つソヴェト聯邦における全住宅及び公共事業を決定的に改善する。

(ニ) 資本家的要素と階級一般……、労働者階級と農民層との……、經濟的地位を強化すること。



(キ) 國防力をより一層強化すること。

五ヶ年間のかかる計畫を定めることの出来るのは唯勝利的社會主義の國だけである。が要は計畫の作成にあるのではない。計畫を作成してそれに安んじるのは事業を殺し計畫を葬むるものである。計畫の作成は事業に着手することに過ぎない。肝心なことは計畫を實施するための闘争を組織することにある。

この闘争をわが黨は組織してゐる。黨は……社會主義社會の全建設事業を組織し指導してゐる。プロレタリア國家の全機關は黨の手中にあつて階級なき社會建設のための闘争の要具となつてゐる。

マルクシズムの教へるところに依れば、労働者階級は……すことなしには……  
……社會主義を建設することは出来ない。マルクシズムの教へるところによれば又プロレタリア××によつて創設された××だけが……を最後迄遂行して、……建設を保障することが出来、これによつて新たなプロレタリア的形態……のよりすぐれたる可能性を最後迄汲み盡し得るのである。國家に對する無政府主義的な拒否は、軌道から叩き出され將來への道を失つたブルジョア社會の社會群の無力な絶望の現れである。プロレタリア……を社會主義建設の決定的道具と見る……態度の中には、……完全な××の明瞭な展望が與へられてゐる。

十月革命以後の十六年間にわが國家には少なからぬ轉換が行はれた。一九二三年新經濟政策の初めにレニンが述べたことを想起しよう。レニンは云つた。「わがソヴェト共和國においては社會組織は二つの階級、労働者及び農民階級の協力に基いて居り、今やそれに加ふるに一定の條件の下で「ネツプマン」即ちブルジョアも許容されてゐる」と。この定式の中でレニンはわがプロレタリア國家が僅か十年乃至十二年前に如何なるものであつたかを正確に表現

してゐる。然し労働者階級の闘争がレニンの黨の旗の下に社會主義的體制の全般的支配的地位を保障してからは、「ネツプマン」や富農、即ちブルジョアジーにはわが社會主義組織の中においては僅かな餘地さへも残されなくなつたのである。ソヴェト聯邦におけるプロレタリア××はこれによつて更に一步前進を遂げた。然し現在ではプロレタリア××の役割は、労働者階級及びその黨の手中にある……社會建設の道具として、完全に展開されてゐる。それ故に官僚主義との闘争の問題は、斯様に切實なものとなつてゐる。又さればこそ管理系統内の資本主義の殘存物の最悪の表現たる繁文褥禮的な官僚的な指導方法との闘争の問題がか程尖鋭となつたのである。

同志スターリンはその「レニン主義の諸問題において」プロレタリア……の意義が何處にあるかを全く明瞭に説明してゐる。彼はプロレタリア……の三つの根本方面を指示した、(一)搾取者……、國防のために、他國のプロレタリア……、全國における……のためにプロレタリアート……を利用すること。(二)労働者と被搾取大衆が……と終局的に斷絶するために、これらの大衆とプロレタリアートとの××を強化するために、これらの大衆を社會主義的建設事業に引き入れるために、プロレタリアート側からこれらの大衆を國家的に指導するために、プロレタリアート……を利用すること。(三)社會主義の組織のために、階級……のために、……社會へ移行するために、プロレタリアート……を利用すること。

これらの根本任務は現在もプロレタリア……が直面してゐるものである。

第二次五ヶ年計畫案のプログラムは……社會主義の建設と云ふ根本方針を與へてゐる。文句はない。それは幾百千萬の大衆を捉へて任意の闘争へ動員しつつあるプログラムである。

併し、過去の力、習慣の力が強く現はれ、昨日迄はまだ資本家的地主的支配の傳統に打ちひしがれてゐた人々の意



識の中の資本主義の遺制の力が強く、小ブルジョアの氣分の活力は勤勞者大衆の間にさへ、黨の或る層の間にさへ強く現はれてゐるので、資本家分子及び階級一般……と云ふ我々の闘争的スローガンでさへ、階級闘争の終結として、自慰心と武器放棄の口實として屢々受容られてゐる程である。好んで時流に投合しようとするもの、事業を自然の推移に委せ、俗流の泥沼に沈下しようとするものが少からず現存してゐることは議論の餘地がない。それ故に同志スターリンを初め我が黨は到る處で斯様な氣分の「漫延」を撲滅し、自然放任の英雄達の「讚美」を撲滅してゐるのである。黨は闡明した——階級なき社會を建設する任務の意義は、資本主義の殘存物、勝利せる勤勞者階級の内外の××、勤勞者のありと凡ゆる××等に對する……に在る。それ故、勤勞者階級の……警戒を強めること、社會主義建設事業の難局との闘争に大衆を今一層廣汎に動員すること、プロレタリア……を其の仇敵に對し、仇敵階級の遺物に對し極力強化すること等が黨の最も積極的な任務となつてゐるのである。このためには、吾々には「有力な強力なプロレタリア……」(スターリン)が必要である。ソヴェト共和國を外國の攻撃から防禦する任務が、我々にとつて極めて尖鋭化して居り猶今後永くさうであるだけに、我々は一層この力の意義を強調せねばならない。

プロレタリア……の力はこのために必要なばかりではない。高度に發達した工業と、凡ゆる現代的技術の應用とに立脚するこの力は、全國民經濟(その中には最後進部門たる農業も含めて)の改造と技術的再裝備のためにも亦必要なのである。この力は又、新文化の建設と、大衆の社會主義的再教育とを組織するためにも矢張り必要なのである。わが國は勤勞者農民……と稱する。これは國家が勤勞者と農民との同盟に立脚してゐるからである。わが國家はプロレタリア……である。なぜかなれば、其の指導力が勤勞者階級だからである。農民大衆に對する勤勞者階級の指

導は、現在では農民に對する絶大な組織的、經濟的、文化的援助に現はれて居り、農村の社會主義的再教育事業の組織に現はれてゐる。勤勞者階級の指導は、それと共に、わが國の全勤勞者の重要利益として國家の利益を保障することに向けられてゐる。これは、昨日まではまだ富農の影響や資本主義の舊習を殊に強く反映してゐたところの、最も後れた農民集團がコルホーズの隊伍の中に誘導されてゐる現在に於て特に必要である。プロレタリア……に依據し、そして大衆の社會主義的再教育工作を益々展開することによつて始めて、わが黨は、全コルホーズをボリシェヴィキ的コルホーズに轉化する任務と、勤勞農民大衆と勤勞者を……意識的積極的建設者たらしめる任務を眞剣に遂行することが出来るのである。

プロレタリア……はわが黨の手中にあつて、それと同時に勤勞者自身の組織と再教育の有力な機關ともなるのである。勤勞者階級が……した時から、勤勞者階級は、……役割のみならず、……の組織者の役割をも最後まで遂行する可能性を握つたのである。勤勞者階級の前には、それと同時に次の様な任務があつた。即ち「勤勞者にして資本主義の因襲(習慣)を頑強に保持して、ソヴェト國家をこれまで通りの目で眺め、「國家」のためにも、出来るだけ悪く少く働いて「國家」からは少しでも澤山の金を取らうとする一握の小群の勤勞者層から勤勞者階級の利益を擁護する」(レニン)任務がそれであつた。この點には、我國の條件下における階級闘争が獨特な形で現はれてゐる。この點については、勤勞者階級の中に今や幾百萬の非プロレタリア層の出身者が流入してゐるのだと云ふ理由からだけでも、これを忘れてはならない。後進階級群と全勤勞者大衆を社會主義的精神に再教育する強力な活動によつて我々は、新社會建設の決定的道具としての……の強化を保障してゐるのである。我々の力は、彪大な勤勞者大衆が既に、國民經濟の内部は勿論、勤勞者の意識の中の資本主義の遺制に對する意



識的な積極的な闘士の隊伍に入つた點にある。この闘争の中において、労働者階級大衆となつて社會主義的再教育の學校を卒へるのである。この社會主義的再教育を行はずには、労働者の前衛と雖も……社會主義社會の建設事業を最後まで押進めることはできないのだ。

この全再建設と新社會の創造に對する指導はわが黨の掌中にある。黨はわが建設事業の成功と勝利を誇る權利を持つてゐる。黨はこれを組織してゐる。黨は社會主義を建設しつゝある労働者の先頭に立つてゐる。それと同時に黨はこの建設事業の不備と個々の部門の立ち後れに對して強い責任を感じてゐる。

この故に第一次五ヶ年計畫の勝利後も黨はプロレタリア的自己批判をやめなかつたばかりでなく、却て社會主義のための今後の闘争のためにこの自己批判の武器を利用してゐるのである。第十七回大會は、我々の活動のありとあらゆる缺陷との闘争に自己批判の旗を高く掲げてゐることを示した。昨日の偏向者達の演説を聞きつゝ我々はこう答へねばならない。今では問題は自責にあるのではなく、又過去の誤謬を云々するよりも寧ろ闘争の中に入り、社會主義の獻身的な建設者達の隊伍の中に自己の座席を見出さんとする希望にあるのだと答へねばならない。

第二次五ヶ年計畫案を採用すると同時に、我々は十七回大會において黨建設及びソヴェト建設の組織的問題を提起してゐる。この問題の實踐的解決に新五ヶ年計畫案の現實的遂行がかゝつてゐるのである。黨の政策が正しいといふ意識が幾百千萬労働者農民の資産となつてゐる現在では、管理機關を改善する任務、わが建設事業の組織問題、凡ゆる形態の官僚主義に對する實踐的闘争、これらが決定的意義を持つてゐるのである。

さて我々の掌中には尨大な天然富源がある。この富源は現在こそ全國家の利益と、全労働者大衆の利益に本當に奉

x

仕するようになつてゐるのである。我々は國民經濟全部門の技術的再整備を短期間に實現し得るところの工業を既に作り出した。そして國民經濟の技術的改造の任務を第二次五ヶ年計畫の諸任務の劈頭においてゐる。我々は決定的部分において農業再組織の時代を終つた。そして今やコルホーズ農村の未曾有の向上速度を保障する可能性を持つてゐる。我々はわが國の労働者の生活水準と文化を向上せしめる道程を確實に進んでゐる。そして今やこの事業で過去のどの時代よりも急速に前進する可能性を有つてゐる。幾百千萬労働者農民は黨の指示する道の正しさに不動の確信を抱きつゝ、社會主義建設者達の緊密な隊伍に結束されてゐる。……のための闘争において労働者大衆の間に積極性と創意が成長してゐる。都市農村におけるわが全建設事業の指導者の經驗は日毎に成長したし、又成長してゐる。黨は各工場とコルホーズに立脚しつつプロレタリア……全機關に立脚しつつ階級……闘争を組織し、そしてわが國の労働者を……社會主義社會の創設に導いてゐる。

ソヴェト聯邦の労働者が第二次五ヶ年計畫の勝利——この勝利の組織は吾が黨の手中にある——に向ふ運動を阻止し、或は遲滞せしめ得るが如き障碍は無い。如何なる仇敵が第二次五ヶ年計畫の勝利を如何に妨害せんとしても恐れるところは無い。凡ゆる種類の日和見主義と幾多の戦闘を行つて來た黨は今後も日和見主義を理論を實踐において撃破する爲に動員されてゐる。

我々はマルクス・レーニン主義の旗の下に……進んでゐる。我々はボリシェヴィキ黨が先頭に押し立ててゐるこの偉大なる旗の下にそして労働者階級とレーニンの黨の指導者であり誇である、同志、スターリンが鐵の双腕に支へてゐるこの偉大なる旗の下に勝利するであらう！



第二次五ヶ年計畫案の基礎

(第十七回黨大會報告演説)

ヴェ・クイブイシエフ



願れば、今から十年前に、人類出現以來の最大の天才的指導者たるレニンを喪つたソヴェト聯邦のプロレタリアー  
トは、同志スターリンの指導の下にレニンの遺した道を進んで、一國內、切り離した一國內に社會主義を建設する事  
……………と云ふレニンスターリンの教義の正しさを實際に證明して來たのである。社會主義建設上決定的勝利を納  
め、第一次五ヶ年計畫を成功裡に遂行して、我々はこの大會において第二次五ヶ年計畫の要綱を確立し得るに至つた  
のである。

我が國民經濟發展の唯一の正しいそして社會主義の××を保證するが如き方向を定める上で、又社會主義を建設し  
つゝある我が國に嘗てなき勝利を與へるところの第二次五ヶ年計畫の根本方針を定める上で、主役を演ずる者は我が  
黨と労働者階級との天才的指導者同志スターリンである。このスターリンの天才的な先見の明と、労働者階級の闘争  
に對する輝かしき指導とは、人類史上畫期的な第二次五ヶ年計畫の偉大なる任務を立てしめたのである。即ち資本主  
義分子と階級一般……………階級的區別と搾取を生み出す諸原因……………、全國民經濟の改造を  
進行し、労働者、コルホーズ農民の各人の生活を裕かな文化的な生活となす任務を立てしめたのである。

第二次五ヶ年計畫の遂行はソヴェト聯邦の國力を測り知れぬ程に強め、我が國の無盡蔵の新富源を社會主義の役に  
立てるのである。全國民經濟の産額は第二次五ヶ年計畫の間に二倍以上になる。國民經濟の生産額においてはソヴェ  
ト聯邦はヨーロッパのあらゆる國に追いつき、追いつき、更に多くの産業部門では合衆國をも追いつくのである。か  
くしてソヴェト聯邦は廣汎なる勤勞大衆の物質的福祉の嘗て見ない増大を來し、技術的經濟的方面においては資本主  
義世界から完全に獨立した國となるのである。

階級……………、全國民經濟の未曾有の増大は労働者階級に對して最大の組織性を要求するものである。何故かなら勞



働者階級は全勤勞大衆を率ゐて、……階級闘争の途上で經濟上又人間の意識上の……の殘渣を克服すべき任務を負ふてゐるからである。だがこの事は組織者……の役割を強めつゝ更にプロレタリア……を強化し、將來プロレタリア國家の全力を擧げて産業戦線の困難を克服する必要があることを意味するものである。私は第二次五ヶ年計畫の樞要なる諸任務と、この任務を解決するについて生ずべき難局について本大會の注意を集めたいと思ふ。

## 一、第二次五ヶ年計畫の樞要なる産業任務

第二次五ヶ年計畫の物質的骨組は、國民經濟の技術的改造の完成である。即ち國民經濟の全部門を根本的に技術的に再武装することである。同志スターリンがその報告演説に述べられた様に、我々は第一次五ヶ年計畫の間に工業問題を決定し、工業の最も重要な方面を前進せしめたのである。即ち強力な機械工業を創設し、電機事業を廣く進めて動力基礎を改造し、石油業と泥炭業の發展上大成功を納めて燃料の基礎を固め、化學工業の確固たる土臺を作つたのである。換言すれば、我々は國民經濟の改造をなしとける上で基礎となるべき技術的に進んだ技工業を作り出したのである。

然しながら重工業の改造を完成することは第二次五ヶ年計畫の任務である。第二次五ヶ年計畫の終りには技術的改造を完成した結果、ソヴェト聯邦の重工業は満開に達し、現在我が工業の中にかくれてゐる偉大なる能力は全面的に實現されるであらう。それは立派な技術學校を卒業した重工業となるであらう。

我々は第一次五ヶ年計畫の結果重工業を作り出した計りでなく、全工業の技術的再武装を廣く進めたのである。最新の技術に基づいて輕工業、食品工業の改造が始まり、特にメリヤス工業、被服業、製靴、製肉、罐詰、製紙その他の改造が始まつた。第二次五ヶ年計畫では輕工業と食品工業の技術的工業が完成される。消費物を生産する工業諸部門の生産能力は一倍半乃至二倍に向上し、輕工業と食品工業とは現代的な大機械工業の段階に達して、勤勞者の物質的福祉の急速なる増大を保證するであらう。

第二次五ヶ年計畫においては我々は農業の集團化を完成し、クラークを完全に擊破して、工業の今後の成長に基づいて、我が國の農業が大機械工業の段階に達するまで、農業の改造を行ふのである。

第二次五ヶ年計畫とは全國民經濟のすばらしい技術的再武装の五ヶ年計畫であり、その規模から云へば第一次五ヶ年計畫の成果に比して著しく大きいのである。國民經濟の基礎資本が一九三二年度の八百五十二億ルーブルから一九三七年度には一千九百五十二億ルーブルにまで、即ち一二九パーセントだけ増大すると云ふことを見ればこの點は充分に分る。然るに第一次五ヶ年計畫の期間には基礎資本は七二・三パーセント方増大したのであつた。即ち第二次五ヶ年計畫の基礎資本の増大率は第一次五ヶ年計畫のそれに對して三倍以上に當つてゐる。國民經濟の生産機關の更新は次の統計によく現はれてゐる。

	一九三三年一月一日 現在	第二次五ヶ年計畫 期間中の就業數	同上の一九三八年一月 一日現在に對する% (1)
金屬裁斷機 (單位千臺)	一六九(2)	一一九・四	四三
貨物用機關車 (「エ」型に換算して)	一一、〇〇〇	六、八七五(3)	三六



貨	車 (單位積載量百萬噸)	九・五	六・三	四〇
自動	車 (單位千臺)	七五・四	五七一・五	八八
農業トラクター	(單位千馬力)	二、二二五	八、六八二	八〇
コムバイン	(單位千臺)	一五・五	九〇	八六

(1) 一九三八年一月一日現在数は、償却と輸入を含みず、本表中の第一、第二項の合計として算出した。

(2) 一九三二年四月十日現在据付機臺數。

(3) 重油機關車及び電氣機關車を含まず。重油機關車と電氣機關車を入れるれば第二次五ヶ年計畫の期間中の就業數は七、五四五臺となり、更新率は三七・三パーセントとなる。

もしも第一に機械設備が物理的に使ひ古されることと、次に主に第二次五ヶ年計畫の初年度に行はるべき機械設備の若干の輸入とを考慮するならば、第二次五ヶ年計畫の終りには現に就業中の機械設備の約五〇乃至六〇パーセントは第二次五ヶ年計畫の期間中に國民經濟に供給されるものとなるのである。このことはソヴェト聯邦で、第二次五ヶ年計畫の間に世界で最も新しい生産機關が創設されて、進んだ技術を體現することを意味するのである。

第二次五ヶ年計畫の期間中に工業の方面では、百七十五ヶ所以上の機械工場が新設又は改造され、石炭坑二百四十八ヶ所の新設、地區發電所七十九ヶ所、鑄管工場四十六ヶ所、鑄溜工場九十六ヶ所、大鐵鋼工場十八ヶ所、卑金屬工場二十五ヶ所、輕工業の最大工場三百十三ヶ所と更に食料品工業の最大工場約三百五十ヶ所が新設される筈である。

ソヴェト聯邦の國民經濟の技術的改造が完成した際には、我が國の形相は根本的に變つて來るのである。

レニンの云つた、生産の現代的な設備の點では「イギリスの四分の一、ドイツの五分の一、アメリカの十分の一に

しか當つてゐない」舊ロシアは全然過去のものとなつて終ふであらう。

第二次五ヶ年計畫の終り頃にはソヴェト聯邦は工業生産額では世界第二位を占め、或種の工業部門の生産額と最重要農業部門（小麦、甜菜、亞麻、燕麥等）の生産額ではあらゆる資本主義國を凌駕するであらう。ソヴェト聯邦は近代的な生産設備の點ではあらゆるヨーロッパ諸國を凌駕するのみならず、工業や運輸事業の技術的基礎の中の或點では、又農業全體の技術的水準では世界第一位を占めるに到るであらう。一番大切なことは、ソヴェト聯邦が質的指數において、又第一に勞働の生産性について、第二次五ヶ年計畫の間にヨーロッパの最も進歩した資本主義諸國を凌駕すると云ふことである。

ソ聯邦に國民經濟の一層進んだ新技術水準が作り出されると云ふことは先づ第一に機械工業の指導的役割が維持される事實、機械工業の生産力が一層向上しその技術的裝備がいやが上に向上すると云ふ事實によく現はれてゐる。

第二次五ヶ年間には機械工業と金屬工業の生産額は二・三倍に増大し、一九三七年度にはドイツの一九二九年の機械生産高の二二九パーセント、合衆國の一九二九年の機械生産高の五五パーセントに達するであらう。機械工業の生産能力は第二次五ヶ年間に次の様な數字に達するであらう。即ち第二次五ヶ年計畫の最終年度の機械供給高は、同年度の國民經濟の操業機械總數の一五——一七パーセントに達する。この數字は別に註釋をしなくても明白である。ソヴェト聯邦の機械工業は第二次五ヶ年計畫の期間に、全國國民經濟に亘つて最新の技術を體得するに必要なあらゆる最新式の機械を生産するのである。

機械工業の發展計畫は運輸事業に對する機械の供給（機關車、車輛、自動連結裝置、造船業、飛行機工業）、輕工業、食料品工業、先驅的重工業並に農業に對する機械供給を特に能率的に進める豫定となつてゐる。



機械工業そのものをより以上に増大改良するために計畫には大機械製作を改造し、鍛工、壓搾、鑄造等の設備の生産を發展せしめる豫定となつてゐる。大機械工業は金屬裁斷機の供給量を二・七倍に増加し、しかもその生産品の品種と性能を五倍以上に（價格にして）改善することとなつてゐる。

ソヴェト聯邦の動力基礎が出来ることは、第二次五ヶ年計畫の期間中の全國民經濟の技術的水準が高まることを示す重要な指數である。第二次五ヶ年計畫は、レニンの電化計畫の實現上新らしい特別の段階を現はすものである。ソヴェト聯邦は第二次五ヶ年計畫の間にレニンの課した全工業を電機原則の上に再建する任務を完全に解決し、更に運輸事業の廣汎な電機と農業の漸進的電機に移るのである。第二次五ヶ年計畫において我々は電機事業の絶體的規模については合衆國に一步を譲つて、世界第一位に達することは出来ないかも知れないが、電氣動力の技術的水準についてはあらゆる資本主義國家を抜いて終ふであらう。即ち電力の生産は大發電所に集中され、發電所で使用する遠距離燃料は最少限度に限られ、そして世界最大の電力體系が創設されて將來の單一高壓配電機への一步をなすに到るであらう。世界最大のナイヤガラ電力體系は一九三〇年度に六十九億キロワット時の電力を供給した。然るに第二次五ヶ年計畫の期間中に設立されるドニエプロドンスバス電力體系は年額九十億キロワットの發電力を持つであらう。ソヴェト聯邦内の全電力發生量の三分の二は、年額各十億キロワット時の最大發電所に集中されるであらう。又我々は暖房設備の方面でもあらゆる資本主義國家を凌駕するであらう。

國民經濟の新動力基礎を作り出す上で重要な部分をなすものは燃料經濟の強化とその技術的改造である。あらゆる種類の燃料の採掘高は一九三七年には一億九千五百萬噸で一九三二年の二倍に増加するのである。之と平行して我が國內の燃料需給の方面でも質的な進歩が行はれる。即ち地方的な低級な燃料の採掘が盛んに發展し（國民經濟が大機

械工業の方法と技術に移つたことを現はすところの一特徴である）、燃料の礦物化が盛んに行はれ、そして燃料需給上石油の比重が一九三二年度の一・九パーセントから一九三七年度には一五・九パーセントに低下して、精油業に向けられる石油の量が多くなる。

ソヴェト聯邦は第一次五ヶ年計畫の間に先驅的重工業を創設し、且つ第二次五ヶ年計畫においてこの偉力を益々強めて、今や充分の準備を以つて國民經濟全體の技術的改造の完成に着手し、第二次五ヶ年計畫の樞要任務の解決に着手し、國民經濟の中の或種の弱點の根絶に着手し、そして第一次五ヶ年計畫によつて解決されなかつた諸任務の解決に手をつける事が出来る様になつたのである。では國民經濟の改造の方面では如何なる重要任務があるか？

第二次五ヶ年計畫の第一の樞要な産業任務は運輸事業の立ち後れを完全に克服し、先づ第一に鐵道運輸事業を強めることである。何故かならばこの運輸事業の立ち後れは全國民經濟の今後の發展を既に妨げ初めてゐるからである。第二の樞要なる産業任務は重工業の内部の若干の立ち後れた部門を最短期間内に向上せしめることである。鐵鋼業と卑金屬工業は一九三三年に議論の餘地なき大成功を納めたが、それにもかゝらず、今以つてこの立ち後れた部門に屬してゐるのである。

自動車、トラクター工業と航空機工業の急速な發達は、石油の問題をも切迫さしてゐる。石油工業は第二次五ヶ年計畫の間に、石油、特に精製品（ベンジン、ケロシンなど）に關する必迫した状態を完全に根絶するだけの發展を遂げねばならぬ。

最も重要な問題で然も第一次五ヶ年計畫によつてまだ完全に解決されなかつたものは化學工業を十分に發展させることである。化學工業は農業の收穫率を高め、纖維工業に對する染料の供給を盛んにし、そして國防の基礎を作り出



す様に仕向けねばならぬ。

重工業全體の技術的基礎を今一段高めると云ふ立場からして之にも劣らず重要なものは、石炭業、建築業、林業等の労働力を喰ふ生産過程を機械化する任務である。

第二次五ヶ年計畫の第三の樞要なる任務は勤勞者の物質的福祉を根本的に改善する土臺を固め、且つ都市農村間の商品流通を進展させることである。こゝに輕工業と食品工業並に農業を十分に發展させ、且つ先づ第一に牧畜業の問題を根本的に解決し、又輕工業の原料資源をなすところの工業用農作物を急速に發展させる必要が起る。

第二次五ヶ年計畫のこれらの任務の全體を解決する上で一番困難で複雑なのは、全國經濟のすばらしい技術的改造の實現と新技術の全面的體得とを結びつけることである。新技術を、新企業を體得することは第二次五ヶ年計畫の遂行の一環を體得することである。我が産業機關、黨機關、労働組合及びコムソモール機關はこの點に全勢力を向けねばならぬ。

### 一、運輸事業を指導的産業部門たらしめよ

國民經濟を改造する上で第一の樞要な任務は運輸事業である。運輸事業は最近二ヶ年間全經濟發展の後塵を拜して、徹頭徹尾自分の任務を果し得なかつたのである。

現在では日常の生産事業だけでも運輸事業に對して毎日六萬一千貨車の運轉を要求してゐるのに、運輸事業は最大限五萬二千乃至五萬四千貨車しか運轉出來ないのである。従つて先に行けば行く程滯荷の量は大きくなつて行くのである。

運輸事業を我が國民經濟の一番弱い部門となした根本的な諸原因は、我が黨の中央委員會とソヴェト聯邦の人民委員會會議との共同決議の中に充分明白に暴露してあるし、又本大會においては同志スターリンとヴロシロフによつて改めて強調されたので、私は敢てこの點に觸れないことにする。一番大きな原因が鐵道従業員自身の活動の不満足にあり、運輸事業の設備と物質的手段を最善に利用するための日常的な現實の闘争が行はれてゐない點にあることは明白である。例へば統計報告によると車輛はその就業時間の七一パーセントを停車してをり、機關車は五三・五パーセントを停車に費してゐる。この大停車の結果鐵道によつて荷物の動く速度は現在では僅に一時間四軒半で、人間の歩く速度と殆んど同様である。機械運輸事業の長所——運動の速さ、貨物移動の速さ——が斯様に全然利用されずにある様な運輸事業の仕事振りは、云ふまでもなく決して我々を満足させるものではない。況んや目下改造中の工業と農業の新しい要求に照してをやである。

運轉材料の利用と云ふ意味ですばらしい意義を持つものは修繕工事の質である。色々な事實は運輸事業がこの方面でも決してすべての可能性を利用してゐないと云ふことを物語つてゐる。交通人民委員會は一九三三年度には運轉材料の大修理計畫を完全には行はなかつた。その結果一九三三年には貨物用機關車のうち故障車の割合が増加したのである。即ち一九三三年度の一六・七パーセントに對して一九三四年一月一日現在には二一・二パーセントとなつてゐる。又旅客用機關車の故障車の割合は二二・一パーセントから二七パーセントに増加し、貨車の方面では五・三パーセントから五・四パーセントに、更に客車の方では八・三パーセントから九・五パーセントにそれ／＼増加したのである。斯う云ふ譯で運輸事業は、現有の運轉材料をうまく利用してをらず、又自分の運轉能率を向上させるための餘力をも利用してゐないのである。



第二次五ヶ年間の鐵道事業の特に重要な問題は廣い意味の路線事業の問題である。即ち復線、三回線、停車場、交叉點の發展、勾配の緩和、重量レールの採用、粗石バラスト等がそれである。この路線事業は我が鐵道事業中の最も後れた部署である。基礎的鐵道線路の運轉能力をより以上に高めるために計畫には次の様に豫定されてゐる。即ち復線、三回線及び四回線（クリグ・イ・ログー—ドンバス間）を九千五百軒敷設すること、單線路では運轉能力を一五乃至二〇パーセント高め、しかも運轉上の正確さと安全を保證するところの自動閉鎖機を八千三百軒の線路に裝置すること、延長五千軒の列車輸送を電化し、その間の輸送能力と列車の營業速度とを一倍半乃至二倍に高めること、完全な方法を採用して連絡を改善すること、勾配の緩和を施行し、且つ重要交叉點と停車場の改造を行ふこと。

鐵道用橋梁の設備の點でも大きな仕事が豫定されてゐるが、それは第二次五ヶ年計畫の間に新設される鐵橋の延長だけでも二十五軒以上になることを述べれば充分である。

鐵道運輸事業發展上の第二の重要問題は運轉材料の改造である。運輸事業は第二次五ヶ年計畫の間に工業から五千七百臺の貨物用機關車と二千二十五臺の旅客用機關車の供給を受けることになつてゐるが、之は革命以來十六ヶ年間に運輸事業の受け取つた五千臺の貧弱な機關車に比べて非常な相違である。御覽の通り、この任務は非常に重大なものである。然しながら機械工業はこの任務を遂行するすべての可能性を持つてゐる。唯そこでは次の様な問題を解決せねばならぬ。第一に「エフ・デ」型と「イ・エス」型の大型機關車を作製するルガンスク機關車工場を體得すること、第二には、豫定の期間内にオルスクの重油機關車及び機關車工場の作業を開始し且つカシルの電氣機關車工場（この工場は運輸事業の電化の運命を決めるものである）の建設事業が後れてゐるのを最大限に促進すること——がそれである。

車輛數も亦第二次五ヶ年計畫の間に大いに増大しなければならぬ。この事はノヴァ・タギルスクの大貨車工場とカザンの客車工場の兩巨大車輛工場が豫定通りに作業を開始して、豫定通りに體得されるか否かによつて決するところが多い。工業は運輸事業に對して貨車（二軸貨車に換算して）二十七萬三千輛と客車一萬二千五百輛を供給せねばならぬが、この數は過去十六ヶ年間に運輸事業が受け取つた十萬輛の車輛、しかも非常に小型なそれに比して多大の進歩である。工業は第二次五ヶ年計畫の間に大型の四軸車輛を運輸事業に供給するが、この車輛は五ヶ年計畫の終りには我が鐵道網の基礎的な型となるであらう。特殊の運轉材料——棧打機械、低線車（石油、油類、化學製品その他の貨物を運ぶための）各種の油槽車等の比重も著しく増加するであらう。

之と平行して第二次五ヶ年計畫の期間には、鐵道の運轉材料の利用も目立つて向上するのである。即ち貨物用機關車の一晝夜平均駛走距離は一九三二年度の百四十六軒から一九三七年度には百八十軒に延長し、客車用機關車の駛走距離は同様に二百二十三軒から二百九十軒に、貨車の駛走距離は九十七軒三分から百三十五軒に、客車のそれは三百軒から四百軒にそれ／＼延びるのである。更に貨物列車の平均營業速度は一九三二年度の毎時十四軒三分から一九三七年度には十八軒に高まることになつてゐる。

運輸事業に對する運轉材料の補充と、運輸事業の改善、特にその輸送機關の利用率の改善によつて、第二次五ヶ年計畫の間には鐵道事業の輸送能力は殆んど倍加するのであるが、一方貨物の動きはこの期間に七八・四パーセント増大するのである。従つて我々は運輸事業の運轉材料に對する要求を滿すばかりでなく、更に或程度の餘力をも作り出すのである。

鐵道運輸事業の方面で重大なる意義を持つものは修繕設備の發達である。この修繕設備が不充分であつたことが現



在の機關車特に貨車のだらしなさを來した重要原因の一つである。第二次五ヶ年計畫には機關車、車輛修繕工場を十三ヶ所新設し、又現在ある工場の一部を根本的に改造する豫定となつてゐる。

運轉材料の利用率は、現在の車輛に全部自動制動機をつけ替へ（之は貨物列車の營業速度を二二——一五パーセント方高める）、又車輛の半數に自動連結機（之は貨物列車の比重を著しく高めしめる）を据えつける事によつて之を高めることが出来るし又高めねばならぬ。

鐵道に對するレール供給については工業はすばらしい任務を與へられてゐる。即ち冶金業は運輸事業に對して一等品のレールを三百八十萬噸供給せねばならぬが、そのためには「アゾフスタリ」とマグニットゴルスク工場を初め各所の工場のレール橋梁製作設備の据えつけを促進せねばならぬ。

改築事業は次の様な重要線に集中される。

(一) クリヴェイ・ログ——ドンバス間。之は大部分を四回線とし、電氣牽引、重量レール、粗石バラスト、及び自動閉鎖機を裝備する。

(二) ドンバス——モスクワ間（エレッツ經由）。復線とし、粗石バラストと半自動閉鎖機を使用し「エフ・デ」型機關車を用ふ。

(三) レニングラード——ドンバス間（ブリヤンスク經由）。ドンバス——ブリヤンスク間は復線、ブリヤンスク——レニングラード間は三回線とし且つモスクワ經由の豫備線を設く。

(四) レニングラード——モスクワ——ハリコフ——ロストフ——プロフラッドナヤ線。復線とし、重量レール、自動閉鎖機と大型機關車を用ひ、最も負荷率の多いところは電氣牽引を用ふ。

(五) モスクワ——ウラル線。復線とし、大型機關車、重量レール、自動及び半自動閉鎖機を用ひる。

(六) レニングラード——ウラル線。部分的に復線とし、勾配の緩和、自動、半自動閉鎖機を一番頻繁な區間に備へつける。

(七) ウラル——クズバス間。復線、大型機關車、重量レール、自動閉鎖機。

(八) モスクワ——中央アジア間（カザリンスク經由）。部分的に復線とし、大型機關車と勾配の緩和を行ふ。

以上の材料を見ても分る様にソヴェト聯邦の重要幹線鐵道の技術的水準は第二次五ヶ年計畫の終りには著しく高まるのである。その運轉能力、輸送能力は殆んど二倍に増加し、餘力を生ずるに至るであらう。

然しながら現在次第に大きくなつて行く國民經濟の新要求に應ずる様な運輸事業を作るためには、鐵道運輸を改造しただけでは充分ではない。そのためにはこの他の運輸機關をも更に發展させて、その間に貨物を合理的に分配せねばならぬ。この事は同時に鐵道運輸の負擔も軽くするのである。かくて鐵道の貨物輸送は第二次五ヶ年計畫の間に約八〇パーセント増加するが、河川運輸の貨物輸送高は二倍半となり、海洋運輸は約三倍、自動車輸送は十六倍そして更に航空輸送は實に二十三倍半にそれぞれ増加するのである。

鐵道以外の運輸機關の發展の速度が早いことは、鐵道輸送の負擔を著しく軽くするものである。沿岸設備の改造、設備の行き届いた港灣の建設、積みかへ埠頭の建設は鐵道と水運との連絡輸送を盛んならしめる要因であつて、多量の貨物を安價な水路に振り向けるものである。港灣建設、人工水路の開設と既設の水路の改造を廣く行つた結果、各種の鐵道貨物を水路に振り向けることが非常な速度で行はれる様になるであらう。例へば石油の輸送高の中水運の割合は一九三二年度の三〇・四パーセントから一九三七年度には三四・六に増加し、又穀類については同じく九・七パー



セントから一六・二パーセントに増加するのである。

改造方針は廣く實行されて水運の根本的な合理化と立て直しを來すであらう。連絡を密にし、積み荷、積み下し作業を機械化し、船舶修繕工場の設備を改造する等々の方策は水運事業の經營を根本的に改善し、繋船を著しく短縮して航行の安全を期するであらう。

斯様に改築方策と擴張的合理化方策とを結びつけて行くことは水運事業の技術的設備の運轉輸送能力を高める上で多大の効果を來すであらう。

水運事業の技術的立て直しを完成する上で決定的な一環をなすものは商船隊である。汽船、内燃汽船の噸數と、非獨行船の貨物積載量は第二次五ヶ年計畫の間に約一倍半に増加する。之に基いて河川、海洋商船隊は根本的に作りかへられ、その素質は完全に改善されるのである。

運輸事業の立て直しを完成する上で最も重要な一部をなすものは自動車運輸の發展である。自動車數は一九三二年度の七萬五千四百臺から一九三七年度には五十八萬臺に増加するのである。

道路建設事業も廣く進展する。豫定の既設道路改築事業と二十一萬軒の新道路開設事業と、更に多くの地方的道路建設事業によつて、第二次五ヶ年計畫の間に、我が國內の無道路状態を根本において根絶することが出来る様になるのである。次の様な幹線道路が出来上る。即ち、モスクワ—レニングラード間、モスクワ—ミンスク間、ハリコフ、ロストフ、オルヂョニキーゼ經由モスクワ—チフリス間、モスクワ—ハバロフスク間（之は第二次五ヶ年計畫の間にクルガンまで延長される）等がそれである。

之にも増して第二次五ヶ年計畫に大發展を遂げるものは民間航空事業である。國立の航空網は殆んど三倍に増加す

る。それと同時に地方的な郵便航空と行政的産業的航空が初めて發展を遂げる。航空輸送の貨物噸數は飛行機の構造の改善、最新式の飛行機の利用と共に増大して行く。

斯う云ふ譯で第二次五ヶ年計畫の間に我々は、重工業の發展水準に應じた強力な鐵道と廣範圍に改善された水運事業を作り出し、自動車運輸を短距離運輸の基礎形態となすのである。

運輸事業の立ち後れを克服することは選信事業の立て直しと密接な關係を持つてゐる。この選信事業も亦我が國民經濟の中の立ち後れた部門となつてゐるのである。次に選信事業の立て直しの方面で最も重要な三問題を擧げてをくが、之は第二次五ヶ年計畫の期間中に何れも注意を集中すべき問題である。

第一に、電信電話の多回的通信をなすために高回機を廣く應用して、電信電話連絡の量を數倍増加し、電線の大節約を遂げること。

第二に、ラヂオ幹線を作つて機械化した高速度の發信、受信設備を持つた強力なラヂオ連絡を作ること。この第二の問題をうまく解決すると我々は短時間内に別に苦勞をせず、我が國の一番遠隔な地方と連絡を保つことが出来るのである。我々はこのラヂオ線によつて信號や聲を傳へるばかりでなくて、繪畫や、公文書や、サイン等をも送ることが出来るのである。

第三に、通信連絡の關係を放射型から交叉型に立て直すこと。この第三の問題の解決は時間的には第二次五ヶ年計畫と第三次五ヶ年計畫の一部とを含むものである。この問題の解決はすべての通信機關を一つの龐大な綜合體となして電氣通信事業の質を著しくかへるものである。それはラヂオや電話や電信が各々自分の機能を果しつつ、お互に補ひ合つて行く様になるからである。現在では電報は無組織に偶然空いてゐる線を通つて行くので、たまには手紙より



も幾日も後れることがある。多くの中心點を持つた交叉型の通信が出来る様になれば斯う云ふ状態は無くなるであらう。

第二次五ヶ年計畫の第一の重要な産業問題の解決は以上に述べた通りである。

## 二、重工業の個々の部門の立ち後れを完全に絶滅せよ

第二次五ヶ年計畫の第一の重要な経済任務は、さきに私が述べた様に、重工業内部の立ち後れてゐる部分を最短期間に引き上げることである。先づ第一にこゝでは鐵鋼業と卑金屬工業に就いて述べねばならぬ。

第二次五ヶ年計畫に豫定されてゐる鐵鋼業の技術的立て直しの完成は、この工業部門の立ち後れを完全になくなすべきである。

我々は重工業の生産機關の能力を二倍以上に高め、且つ煉鐵爐と製鋼場と特に展鐵工場との間の生産力の相違をなくなさねばならぬ。現に展鐵工場は煉鐵爐工場よりも著しく立ち後れてゐるからである。鐵鋼業に對する資本投下事業が如何に大規模であるかは茲五ヶ年間に戦前の冶金業の生産力の二倍半に匹敵するものが作り出されることを見ても判る。

我々はこの五ヶ年計畫の間に四十五基の煉鐵爐を新設しなければならぬ。最初の二年間、一九三三年と一九三四年とに我々は十九基の煉鐵爐に火を入れる。したがつて、この方面における残り三年間の任務——年に八基乃至九基づつの煉鐵爐をつくること——はすでに解決して來た任務にくらべてそれほど困難ではない。

平爐についても同様である。我々は百五十二基の平爐を建設しなければならぬのであるが、そのうち二十七基は

すでに建設し終り、四十基は一九三四年中に火を入れる筈である。すると終りの三年間の建設の割當は年に二十七基乃至三十基といふことになつて、これまた、吾々が一九三四年中に仕上げようとしてゐるよりも、また一九三三年にすでに仕遂けて來たものよりも、やさしい任務である。

鐵鋼生産の増大を促進するためにベッセマ轉爐とトーマス法（三大職場）の廣汎な發達がもくろまれてゐる。

鐵鋼業の技術的改装計畫のうちで一番困難な部分は壓延機の製造と据付である。昨年度に我々は壓延機と展管機を十二個据付けたのであるが、この五ヶ年間に全部で百七個を据付ければならぬのである。

第二次五ヶ年計畫中に据付けられる装置は冶金技術の最も尖端的なものである。我々は最大の集成機械、九百立方メートル以上の煉鐵爐、百五十噸（またはそれ以上）の平爐、年に數十萬噸の展鐵を製出する展鐵機を建設する。各々九百立方メートル以上の容積を有する強大な煉鐵爐の數と比重とにおいて一九三七年のソヴェト聯邦は世界のすべての資本主義國を追ひ越すであらう。一九二九年のアメリカ合衆國においてこの種の煉鐵爐は十七基、または煉鐵爐總數の五・八パーセントであつたが、これに對してソヴェト聯邦には四十三基、すなはち總數の二九・一パーセントだけこの種の煉鐵爐ができるのである。展鐵職場の技術的水準はヨーロッパ冶金工業の水準を著しく凌駕する生産能率の高い機械が据付けられる。クズネツの軌條梁材製作所は舊式機械よりも多くの軌條を製造する。ザボロジエ工場には無限葉鐵製作機が据付けられる豫定であるが、これは一九三四年におけるソヴェト聯邦の全冶金工業が生産したよりも非常に多くの葉鐵を製造するであらう。等々。

鐵鋼業の生産機構の更新は労働の機械化を著しく高めることを可能ならしめてゐる。一九三七年には完全に機械化されて、一切のつらい骨の折れる労働過程を排除した煉鐵爐から鉄鋼總生産高の八割が得られるであらう。そのは



か、二、三の工場では部分的機械化が展開されるであらう。全體として第二次五ヶ年計畫において製鐵業の技術的基礎は、ほとと世界の尖端を切つてゐるアメリカの冶金工業の水準に到達するであらう。

製鐵業の能力の増大と技術的改装とはその原料基礎の擴大深化を必要とする。

昨年探採業の鉄生産に對する立遅れが認められた。クリウ・ロージ・鐵山の改造と建設は南部冶金工業の成長のテンポに對して立遅れてゐる。ケルチ・エンスク・鐵山と中央地方の鐵山の建設も立遅れてゐる。鐵石根據地はその發達において本來ならば鉄生産を超越してゐなければならぬのに、かへつて後者の後塵を拜してゐる有様である。鐵山建設を廣く前進させなければならぬ。五ヶ年計畫の終末には聯邦内全鉄生産の半分以上を保證すべきクリウ・ロージ・鐵山の建設は特に促進する必要がある。

製鐵業の原料基礎を鞏固にするには、新しい原料資源、新しい産地を開拓する必要が生じて来る。第一次五ヶ年計畫においてはマグニトゴルスク・鐵山が生産に加はつた。第二次五ヶ年計畫においては、シベリヤの鐵石、クルスク・磁氣變則帯の鐵石、最も貴重な複合鐵石、——すなはちウラルのチタン磁鐵礦、ハリロフの鐵石など——の産業的開發が開始されてゐる。

だが問題はひとり原料品の數量に止まらない。

第二次五ヶ年計畫における製鐵業の重大な任務は、現在許すべからざるほどに立遅れてゐる原料品の準備と富化とである。これを解決すれば質的指標の目ざましい改善が保證されるのである。五ヶ年計畫はこれに關聯して各大工場における濃聚職場の設立、ほとんどすべての鐵山における細分・選礦・富化装置の建設を豫定してゐる。

生産機構を改造し、製鐵業の原料其他を鞏固にした上は、第二次五ヶ年計畫中にどんなことがあつても國民經濟に

對する金屬供給の完全を期さなければならぬ。現在數種類の金屬——鐵板、電線、帶鐵、鐵管、等々——は特に不足してゐる。この不足は最短期間に除かれなければならぬ。我々に必要なすべての鐵合金類——オルフラム鐵、ヴァナヂウム鐵、等々——の生産を擴張するためにオルフラム、モリブデンのやうな稀元素の採取に、またチタン磁鐵礦からヴァナヂウムを採出する問題に特別の注意を拂はなければならぬ。それらの鐵合金類は吾々がこの二年間に異常な成功を収めた特殊鋼の生産を限りなく發達させる基礎である。

製鐵第二次五ヶ年計畫の中で巨大な意義をもつものは、第一次五ヶ年計畫にくらべて裝備能力の利用程度を一層高めることである、なぜならば、こゝに利用されない莫大な餘力がひそんでゐるから。もし吾々がドイツで達成されたやうな熔鑪利用率を達成したならば、現在作業中の裝備において鉄生産が五〇パーセントも増大すると云ふことを挙げればその重要さがよく判る。第二次五ヶ年計畫において南部の熔鑪利用率は二三パーセントだけ、平爐利用率は約三〇パーセントだけ改善されなければならぬ。けれども豫定の裝備利用率はけつしてこれが限度といふものではない。たとへば、南部の新設熔鑪に對して利用率は一・一五と豫定されてゐた。ところが、最近火を入れた「ザボロジスターリ」および「アゾフスターリ」兩工場の熔鑪は、この課題を原始的に豫定以上に實現する完全な可能性のあることを證據立てたからである。

このやうに、第二次五ヶ年計畫のプランには超過實現の可能性がこもつてゐるのだ。

卑金屬冶金工業について。第二次五ヶ年計畫に我々は銅の生産を四倍以上、鉛の生産を六倍、亜鉛の生産を七倍に増加するために全力を盡さなければならぬ。我が國には卑金屬鐵石が莫大な埋藏量を持つてゐる。我が國には殊に卑金屬工業の企業聯合の冶金作業の部分においてすでに巨大な能力が創り出されてゐる。けれども、鐵山經營が立遅れ



てゐる、富化工場が立遅れてゐる。我々は、中部ウラル製銅コンビナート、沿バルチック・コンビナート、チェリヤビンスクならびにケメロフスク亞鉛工場などの卑金屬冶金工業の新企業の作業を近々のうちに開始し、それと同時に既設企業の鑛山の發達を促さなければならぬ。

銅工業は第二次五ヶ年計畫中に舊企業の改造を完了する、そして新設工事を進展させ、反射爐の近代的製鍊法へ完全に移行する。

亞鉛工業では現在蒸溜法が亞鉛の基本的製法となつてゐるのであるが、第二次五ヶ年計畫のうちには最も完成された電氣分解法が優勢になる。この方法で製造される亞鉛の割合は、一九二九年のアメリカでは總生産高の二四・四パーセントであつたが、これに對して一九三七年のソヴェト聯邦では七〇パーセントとなるであらう。

第二次五ヶ年計畫においては鑛業に特別な注意を向けなければならぬ。

我々はチムケントおよびアルタイ製鉛コンビナートの鑛山と富化工場を廣汎に發達させ、極めて豊富なアルタイ鑛石に含まれてゐるすべての貴重な要素をもつとよく採出するやうに努めなければならぬ。第二次五ヶ年計畫においてはアルミニウムの生産が廣く發達する、一九三七年の生産高は八萬噸、すなはち一九二九年の世界生産高の約三割に達するであらう、ウラル・コンビナートはアルミニウム工業中の新設事業の主要な對象にならなければならぬ。それは第一流の品質をもつウラル鐵礬土の最も豊富な産地を開拓するであらう。我々は第二次五ヶ年計畫中にニッケル工業を創建し、錫の生産を發展させる。錫の調査には一等眞剣な注意を向けなければならぬ。これはわが國民經濟の最大弱點の一つである。さらに第二次五ヶ年計畫の間にマグネシウム製造工場が二ヶ所に建設される。

第二次五ヶ年計畫のプログラムが實現すれば、わが卑金屬工業は生産高においても、企業の技術的水準においても

世界第一流の地位に上るであらう。

冶金機械製作の發達は製鐵および卑金屬工業の課題を實現するために決定的な意義をもつてゐる。展鐵機械、熔鑪、反射爐、濃聚工場を建設すべき我々の大プログラムの成功如何は、新しくできた最大の巨大企業——ウラル機械工場と「クラマトルカ」——の活動、イジール工場の活動如何に偏にかかつてゐる。我々はブリューミングの建設をなしとけた。我々は第二次五ヶ年計畫中に條材・軌條・葉鐵および展管のソヴェト國産機械を「マゲニツトカ」、タギル、ザボロージェ、ニコポリその他の工場に裝置しなければならぬ。この責任の極めて重い任務をわが機械製作労働者は、しかも豫定の期限内に、解決しなければならぬ。

第二次五ヶ年計畫において最も眞面目な注意を向けなければならぬ重工業方面の第二の問題は、石油影ある。石油工業の立遅れは、原油においても、精製油においても、これまた同様に國民經濟に悪い影響を與へてゐる。諸君はみな、ケロシンの不足のために農業の播種および收穫運動を行ふのに我々がどんなにか苦んでゐることを知つてゐる。諸君はみな、わが國における自動車數がお伽噺のやうな早さでふえてゐるのに、エンジンの生産高が現在のやうではどれほど困難になるかを知つてゐる。それ故に第二次五年計畫には石油の探出を二倍以上、エンジンとリグロインを三倍、ケロシンを約二倍、マセルを二倍半に増大する必要がある。従つて、第二次五ヶ年計畫においては、石油探出高がガスを含めて九〇パーセントだけ増加した第一次五ヶ年計畫におけるよりも、もつと高いテンポで石油工業を發達させる必要がある。そればかりでは足りない。すでに一九三四年中に石油の探出と精製に急激な飛躍を達成しなければならぬ。

この無條件に緊張した石油工業の計畫をうまく實現するためには、次の主要任務の解決に注意を集中しなければならぬ。



らぬ。

(一) コーカサス以外、先づ第一に東方における新石油産地の發達を促進すること。コーカサス以外の地方の石油工業に對する投資の割合は一九三二年の三六・〇パーセントから一九三七年の五二・六パーセントに、同じく試掘の割合は一三・五パーセントから三二・〇パーセントに増加すべく豫定されてゐる。これを基礎としてコーカサス以外の産地の採油高は、一九三七年には五百三十萬噸、すなはち全聯邦採油高の一・二・二パーセントに達して、第二次五ヶ年計畫末には九倍半に増大する。

(二) 深度の試掘と相當高度の掘鑽速度とを體得すること。これらの任務を解決する鍵は掘鑽方法の一層の改造、なかんづくタービン掘鑽孔を廣く採用することである。

(三) アメリカで適用されてゐる石油精製の新式方法を體得すること。この任務の解決がなぜ大切であり、焦眉の急務であるかといへば、第二次五ヶ年計畫の石油精製の任務に照して、また最近アメリカが達成した精製の技術的水準に比較して、製油の需要は非常に増加してゐるのに石油精製の技術的水準はまだ比較的低いからである。

(四) 第一次五ヶ年計畫中に體得した、石油精製過程における新生産——アルミニウム用のコークス、ゴム用の煤、パラフィン、土蠟、高級油および石鹼油——を廣汎に發達させること。

(五) デイズェル燃料の問題を解決すること。デイズェル・エンジンの製作が強化され、輕燃料を需要するモーターをデイズェル重燃料に移すことになつてゐるので、この任務の解決は重要である。

そして、最後に、これに劣らず重要なのは——  
(六) 石油精製工場の建設の時期を極力促進すること。

第一次五ヶ年計畫において完全に解決されなかつた最も重要な懸案の一つは化學工業の全面的發達である。

特に肥料生産の極めて急速な發達の必要を指摘せねばならぬ。その總生産高は第二次五ヶ年計畫中に十倍に増大することになつてゐる。第一次五ヶ年計畫中に我々はたゞ極めて單純な肥料の生産しか會得しなかつたのであるが、第二次五ヶ年計畫には複雑な肥料の生産も發達させようとしてゐる。

ソーダ工業の發達水準は現在石鹼・纖維・硝子その他の工業部門の發展を制限してゐる。従つてソーダ工業は大任務を課せられてゐるのである。第二次五ヶ年計畫の間に新産地——カラブガス、ヴェルガ東岸、西部および東部シベリヤの産地を開発しなければならぬ。

コークス化學工業は今でもコークス生産の増大から立遅れてゐる。その結果、コークス生産の際生ずる貴重な産物は利用されずに打捨てられてゐる。それと共にコークス化學工業の立遅れはプラスチックの化學工業生産、アニリン染料・製薬・その他の工業部門の發展を制限してゐる。第二次五ヶ年計畫においてコークス化學工場の強力な建設は、根本的にこの部門の立遅れを清算するであらう。

第二次五ヶ年計畫におけるプラスチック化學の發達は大きな國民經濟的意義をもつてゐる。その生産高は十二倍に増加するであらう。私は大會の注意をこの新しい工業部門に留める必要があらうと考へる。なぜならば、國民經濟にとつてこの工業部門の持つ最大の意義をまだ必ずしもすべての人が意識してゐるとは限らないからである。プラスチックは一般消費材の製造に用ひられるばかりでなく、生産手段および要具の製造にも應用されるのである。それをもつて貴重な卑金屬に代へることができる。一九三七年に生産されるだらうところの三萬噸のプラスチックのうち一萬噸が四萬噸の卑金屬の代用をするといふことを挙げればその重要さは充分に判るであらう。



ゴム・アスベスト工業は第二次五ヶ年計画において其の主要生産、即ち自動車用タイヤの生産を一九三七年に三百萬個まで發展させる。第二次五ヶ年計画における其の生産力の成長は、第三次五ヶ年計画の第一年度に自動車用タイヤの年生産高五百萬個に達するやうに計畫されてゐる。

ゴム工業の原料資源の擴張は、第二次五ヶ年計画においては新生産部門、即ち合成ゴム生産部門の大發展によつて達成される。而も、ゴム工業は根本においてこの合成ゴムに轉ずるのである。この部門は、ソヴェト聯邦にとつても又世界各國にとつても新たな生産部門であるだけに其の體得の困難さは一入である。

合成ゴムの生産は一九三七年には四萬七千噸迄増加する（一九三四年には一萬二千噸の豫定）が、これは合成ゴム工業の幹部團の強化と、實驗的たる生産的たるをとせず、學術的實驗研究活動を一層廣汎に發展さすべきことを要求し、同時に原料を完全に利用しつくす問題の解決を要求する。

硬質燃料化學の方面では、石炭についても又泥炭や頁岩についても第二次五ヶ年計画においては大なる任務が與へられてゐる。かゝる方法によつてモーター燃料及び幾多の高價な生産品を得ることが巨大な意義を有することは別に證明する迄も無い。

かくて御覽の通り第二次五ヶ年計画では我々は有力な化學工業を創設するのであるが、これは農業に對して廣く肥料を供給し、國防力を強化し得るものであり、又種々の方面で最新の化學的成果を適用し、最も合理的な新方面で技術の最新の進歩へ向ひつゝある化學である。

第二次五ヶ年における重工業の最も重要な經濟的任務は労働力を要する生産過程の機械化を完成することである。第二次五ヶ年計畫は困難な疲労し易い仕事に歴史あつて以來初めてと云へる程度廣汎に機械を人間の代りに使用する任

務を規定してゐるのである。資本主義の下においては機械は労働を軽減せしめる手段では無い「資本主義は——とレニンは書いた——下層のことには意を勞しない……社會主義國家の下では吾々は人々を苦役的労働に就かせることは出来ない。あらゆる所で一層機械を使用し、より一層廣汎に機械技術の適用に轉すべきである。」第二次五ヶ年ではレニンのこの指令は黨の幾多の決定の中において發展され、具體化せられて廣汎な實踐に移されてゐる。これらの任務を緊急に實現すべき必要は幾多の工業部門における労働條件を軽減することの重要性から生じてゐるばかりで無く、又この機械化の實現なくしては重工業は國民經濟の技術的改造の完成——國內に強固な燃料基礎を創造し建設計畫を遂行し、労働生産性を充分な速度で高めること等——を保證し得ないことから來てゐるのである。

石炭鑛業においては第二次五ヶ年計畫において基本作業過程——探炭——の機械化は九三パーセントに達し、他の過程の機械化水準も之に應じて高まる（送炭—九〇パーセント、運炭—八〇パーセント）。積込過程の機械化は石炭コムバインとツヴェト國産の積込機械とを使用することによつて發展する（二五パーセント）。石炭鑛業は堅坑における連續搬出に移る準備がなされてゐる。

鐵鋼冶金業においては、熔鑛爐生産のうち第一に鐵道貨車からの荷卸し、原鑛の配布、銑鐵の取出し過程を機械化せねばならない。平爐生産においては屑鐵と爐の填充作業の機械化に特に注意を拂はねばならない。展鐵職場における今後の機械化は、第一に壓延機に材料を供給する過程の機械化と壓延機の自動化に向つて進められる。

第二次五ヶ年計畫においては建築事業の機械化に巨大な進歩が行はれる。基本的建築過程は八〇パーセントだけ機械化され、そして建築それ自身は工場によつて生産される建築部品を集結することに轉化し初める。この機械化の實現は新建設機械の建造と運轉材料のために必要である。建築を大機械（掘鑿機、起重機等）と結合させると共に建



築上の最も廣汎な機械化の扶植と器具の改善が續行されねばならない。

泥炭工業においては沼地の準備、採炭、乾燥、泥炭の運搬等のためにわが工業は幾多の機械と集合機械とを作成し且つ體得したのである。ここでは我々は外國の技術の力をかりずに獨自の道を進まねばならなかつた。第二次五ヶ年間には機械化採炭方法（切斷法、Strippe等）の比重が一九三二年の四九・七パーセントから一九三七年における七一・二パーセント迄増加すると共に準備作業及乾燥作業の機械化が著しく發達する。

工場内運輸と積下ろし作業の領分においては機械化は著しい發達を遂げるであらう。第二次五ヶ年計畫においては林業の根本過程の機械化は著しく成長する。林業人民委員會統制下の機械化された木材買付けは一九三七年には一九三二年の一パーセントに對し一六・四パーセント迄増加し、區分においては二〇パーセントに對し六二・七パーセント迄増加し、搬出においては四・四パーセントに對し二七・六パーセント迄増加する。

### 三、勤勞者の福利向上の物質的基礎を強化せよ

第二次五ヶ年計畫の第三の重要な經濟的任務は既に指摘した通り勤勞者の物質的福利を根本的に改善する基礎を強固ならしめること、商品流通を極力發展させることである。

第二次五ヶ年間に於ける農業の集團化の全き完成、全コルホーズのポリシエヴキ的コルホーズへの轉化及び根本的な機械化の實現はソヴェト聯邦に生産力の高い強固な農業食料及び原料の基礎を創設することを保證してゐる。

最も近き將來における農業の最も重要な最も困難な問題は牧畜業を向上發展させて、肉、牛乳及び畜産原料品（羊毛、皮革、等）並に馬匹牽引力に對する國內の著しく増加しつつある需要を満足させることである。

牧畜業は再組織時代を最も強く持ちこしてゐる。ここに牧畜業における第二次五ヶ年計畫案の任務遂行の特殊な困難がある。第二次五ヶ年計畫は根本において牧畜業問題を解決せねばならない。我々は幼畜を保存するために極力闘争し、畜群の標準構成を恢復し、同時に二倍以上の畜産品を獲得せねばならぬ。牧畜業問題の解決は第二次五ヶ年間にソフホーズ、コルホーズ商品農場、及びコルホーズ員の有する家畜頭数を増加せしめる方法とその早熟的成長と畜群の生産性の向上による可きである。家畜頭数の増加に關する任務の内容は次表の通りである。

各年度の春における頭數（單位百萬）

	ソフホーズ		コルホーズ商品農場			
	一九三二年	一九三七年	一九三二年に對する一九三七年の比率	一九三二年	一九三七年	一九三二年に對する一九三七年の比率
牛	三・五	六・七	一九一・四%	六・一	九・二	一五〇・八%
牝牛	一・七	二・五	一四七・〇	二・一	四・二	二〇〇・〇
羊及山羊	七・二	一四・九	二〇七・〇	四・五	二七・六	六一三・三
豚	一・九	六・四	三三六・八	二・五	九・六	三八四・〇

以上の外にソフホーズ及びコルホーズ商品農場はその家畜頭数を著しく増加せしめて五ヶ年計畫期間にコルホーズ員に對して二百萬頭の仔牛と千七百萬頭の仔豚と百二十萬頭の仔羊を引渡す筈である。その外家畜を有しないコルホーズ員は仔牛を有するコルホーズ員との契約買付けによつて著しい援助を受けるであらう。

結局これ等の手段によつてコルホーズ員の有する家畜頭數は一九三二年におけるコルホーズ員及び個人農民の有する家畜と比較して次表の程度に増加する筈である。



一九三七年におけるホルホーズ員の家畜頭数、一九三二年におけるホルホーズ員及び個人農民の家畜頭数の比較(各年度共春における頭数、單位百萬)

	一九三二年	一九三七年	一九三二年に對する 一九三七年の比率
牛	二四・三	四四・九	一八四・七%
うち牝牛	一四・八	一九・〇	一二八・三
羊及び山羊	二九・七	五三・五	一八〇・二
豚	五・七五	二七・一	四七一・三

若し生産的家畜頭数の著増と云ふ任務が幼畜の保育の問題を最も鋭く提起してゐるのであるならば、肉その他の畜産品を増加せしめる任務は家畜の生産性を著しく向上せしめる問題をそれに劣らず鋭く提起してゐるのである。

五ヶ年計畫の期間中に油脂製造ソフホーズの搾乳量を二倍以上に高め、ホルホーズ商品農場では六三パーセント高めることが豫定されてゐる。肉用に屠殺される牛の平均重量は獸肉製造ソフホーズでは三六パーセントだけ増加し、ホルホーズでは百六十四疋から二百二十五疋迄増加し、豚については養豚ソフホーズにおいて九六パーセント、ホルホーズにおいて六〇パーセントだけいづれも増加する筈である。

馬匹頭数を保存し、より以上に増加せしめる問題には特に注意を拂はねばならぬ。馬はトラクターに對する助力者である。若し我々が種馬交尾カンパニア問題及び各ソフホーズ、ホルホーズにおける仔馬の飼育問題を眞面目に解決しないならば、近き將來に牽引カバランスの緊張が除去されることはないであらう。

計畫案によれば、馬匹頭数は一九三二年の千九百六十萬頭から一九三七年春には二千百八十萬頭迄即ち一一・二パーセントだけ増加すべき豫定である。

計畫案は、飼料基礎の著しい擴大と改造を目論んでゐる。

農業人民委員會は、この任務に關しては第十六回黨大會によつて課せられた任務を遂行しなかつた。この數年間に牧草の播種構成に不利な變化が起つた。多年草の比重は低下した。飼料醱酵事業において一九三一年に獲ち得た成功は確保されず、牧草の刈入期は短縮されなかつた。そして共有草場及び牧場の改善はわづかな進歩を示すにすぎなかつた。

第二次五ヶ年計畫案は、牧草及び飼料蕪青類の面積を著しく擴張すべきこと、二千九百五十萬ヘクタールに互る共有草場と牧場の改善工作を遂行すべきことを規定してゐる。

收穫高は播種草においては八〇パーセント以上、天然乾草置場においては二〇パーセント乃至二五パーセント増加すべきである。これと共に、家畜に對する穀物その他の集中化された飼料の保障は著しく高まる。一九三七年には穀類、その他の集中化された飼料が戦前の二億一千萬乃至二億二千五百萬ツェントネルに對し四億乃至四億二千五百萬ツェントネルに充當される筈である。これは、牧畜業の早熟種の發展——第二次五ヶ年計畫においては、豚、鶏、兎等が最も發達するのであるが——によつて特殊な意義を有つてあらう。

家畜の品質改善の任務は、在來家畜とわが國に既に現存する優秀な外國種及び地方種との交種速度を促進すべきことを要求してゐる。これと關聯して種家畜牧畜業は大きな任務に當面してゐる。種家畜事業はわが家畜の肉、獸毛、乳等々の量的質的向上によつて決定的一要因たるべきである。



牧畜業の任務遂行に對しては、同志、スターリンが指摘した通り、「すべてのわが黨、すべてのわが黨員及び黨外従業員は、牧畜業問題は、成功的に解決された昨日の穀物問題と同様に、第一義的問題であることを考慮して」着手すべきである、——かくて初めて我々はそれを解決し得るであらう。

ソヴェト農村が固く終局的に社會主義の道に立つて居り、あらゆる農業部門の急速な成長を來すべき、一切の必要條件を持つてゐるといふ事實、我々は既に牧畜ソフホーズの有力な系統を創設し、その内優秀なものは既に高度な活動指標を達成したといふ事實、我々は既に一九三四年迄に十三萬のホルホーズ商品農場を創設し、そして牛なきホルホーズ員の清算運動を速く前進せしめたといふこの事實は、この任務の全き實現性を證明するものである。

幼畜の獲得、保存、飼育問題がわが黨、コムソモール及びソヴェト社會の最大の注意を引くようにせねばならぬ。牧畜業における交尾事業の組織化、牛、豚等の分娩の準備及び遂行は播種及び收穫カンパニヤの組織よりも少なからぬ注意と配慮を要するのである。

第二次五ヶ年計畫の第一年に我々はわが國における穀物の記録的收穫高を達成した。第二次五ヶ年の初年間に我々は一九三三年に達成された穀物收穫を確保し、更にこれを著しく高かめねばならぬ。一ヘクター當り收穫高は第一次五ヶ年計畫期間の七・五ツェントネルに對し一〇・六ツェントネル迄増加すべきである。既に一九三三年において全行政地域の二七・九パーセントが一ツェントネル以上の收穫を達成した、これは第二次五ヶ年計畫の收穫率に關する任務が完全に遂行される可能性のあることを最もよく證明してゐるものである。前記の豫定收穫率の増加と穀物播種面積の五百萬ヘクターの擴張とは一九三三年に十一億ツェントネルの穀物收穫を保證する筈である。一九三二年における穀物生産高の増加四億七百萬ツェントネルの内收穫率の増加による増加が三億五千三百萬ツェントネルを占める

筈である。

かかる穀物生産高の増加は住民の平均穀物消費高を二〇パーセントだけ高める可能性を與へ、家畜の飼料として穀物の支出を一九三二年の三倍にし、同時に國家及びホルホーズの穀物貯蔵高を三億ツェントネル迄増加するものである。

第二次五ヶ年間に農業に進出する機械及びトラクターは農業の機械化過程を根本的に完成する可能性と農業技術を資本主義が企及し得ない水準迄高める可能性を與へる。

機械化の水準(全播種面積に對する比率)

	一九二八年	一九三七年
春播種の耕作		
手鋤によるもの	九・八	一
馬鋤によるもの	八九・二	二〇
トラクター鋤によるもの	一・〇	八〇
穀物播種		
人手によるもの	七四・四	一
馬匹播種機によるもの	二五・四	四五
トラクター播種機によるもの	〇・二	五五
鎌によるもの	四四・四	一
馬匹農具によるもの	五五・四	四〇
トラクター農具によるもの	〇・二	六〇
穀物の收穫		
そのうちコムバインによるもの	一	三〇



連枷その他人手によるもの	四〇・七	1
馬匹によるもの	五八・〇	1
穀物の打穀	一・三	100
機械傳送機によるもの		

農業のかかる機械化水準を達成するには、第二次五ヶ年計畫案が豫定してゐる所の巨大数のトラクター及び機械トラクター牽引力を以てしてさへもトラクター及びその他農業の有する一切の組合は機械類の利用を著しく高める必要がある。

穀物生産の機械化の根本的完成は農業労働期間を著しく短縮する可能性を造り出してゐる。かくて第二次五ヶ年計畫案によれば春期耕作は一九三三年の三十五日に對し十二日乃至十五日間に遂行される筈であり、播種は三十日の代りに十日乃至十二日間に、收穫は二十五日乃至三十日の代りに十五日乃至十八日間に遂行される筈であるが、これは特に乾燥地方における收穫高増加の最重要々因であり、又落穂を減少する最重要々因である。

播種及び刈り入れ期間の短縮並に農業労働の質的改善、循環農法の實施、循環農法において綿密に栽培され、耕作された作物が現存すること、純休耕地を播種面積の六〇パーセント迄増加すること、耕地の除草、基本的穀物栽培面積の九〇パーセントに優良種播種を實施すること、凍地耕作の保證は六〇パーセント迄高めること及び改良前代種の播種を五二パーセント迄高めること、——これ等はソヴェト聯邦の穀物生産を文化的な合理的な農業に移す基礎であり、收穫率増加の基礎である。

科學的、組織的農業を創設、するための闘争、高度の收穫率を得るための闘争において指導的役割を演ずるものはソフホーズであつて、ソフホーズは眞に模範的な經營とならねばならぬ。ソフホーズのかなりな部分がコルホースよりも著しく優秀な物質的、技術的條件を有し乍ら著しく劣悪な結果を擧げてゐる様な現状は絶対に許容し難いものである。ソフホーズの組織的強化、その大規模化、政治部の活動——これがソフホーズ活動の急速な改善をなす上の基礎である。

ヴォルガ東岸における灌漑工事の發展は既に一九三七年にこの地方の被灌漑地十三萬ヘクタールの穀物の播種を保障する。これは「ヴォルガにおける重要な全く安定した、天候の變化に依存しない穀物生産の基礎」(スターリン)を創設する偉大なる事業の出発點である。

基本的な穀物生産地方における穀類生産を強固にし、發展させつゝ、第二次五ヶ年計畫案は所謂消費地帯と稱せらるる北部及び中部地方に新たな穀物根據地、殊に小麦根據地を作り出して、これらの地方の小麦播種面積を三百萬ヘクター以上に擴張する方法をとることに豫定してゐる。穀物生産のかくの如き擴張は、村落の全消費を満足せしめ、一九三七年には、これらの地方の諸都市の著増し行く住民の消費額の七〇パーセントを、其の地方自身の穀物生産をもつて満足せしめることを保障するであらう。然るに一九二八年には、これらの地方の都市の全消費高と其の村落の消費高の約一〇パーセントは他地方からの移入穀物によつて満たされてゐたのである。

計畫は又東部シベリヤ及び極東地方における穀物生産を増加し同地方の穀物消費を完全に保障すべきことを規定してゐる。

穀物生産高の著しい増加は、工業用並に特殊農作物の生産の急速な成長にとつて必要な條件を創り出す。棉花の總收穫高の七七・七パーセントの増加は、五ヶ年の終年に紡績業に對し七十二萬噸の纖維を供給するであらうし、亞麻纖維の總收穫八〇パーセントの増加は、わが亞麻加工工業の資源を二倍半高めるであらう。甜菜の生産高



は一九三三年に比し四倍以上増加する。

甜菜及び亞麻生産高の増加高の全部と棉花生産高の増加の九七パーセントは専ら收穫率の増加によつて得られる筈である。

黨及び政府はこのために一切の必要條件及び前提を創造する。三萬五千臺のトラクター耕作機の生産は、コルホーズにおいては棉花作付面積の五〇パーセント以上、ソフホーズにおいては九〇パーセントまで、及び甜菜作付地のかなりな部分の畝間耕作の機械化を保障するものである。工業用農作物のための收穫機の生産高は五ヶ年計畫期間中に四倍半に増加し、棉花收穫の機械化を五〇パーセントまで、亞麻收穫の六〇パーセント、大麻收穫の四〇パーセントまでを保障するであらう。

新灌漑地百萬ヘクター以上を開拓し且つ現存水路系統を改善する所の廣汎な灌漑工事計畫は、棉花にとつて最も有利な給水利用條件を創設し、棉花地方に循環農法の實施を保障し、棉花にとつて最良の先行植物たるクローバー類の作地面積の擴張(二十六萬ヘクターから八十二萬八千ヘクターまで)を保障するものである。聯邦の北部及び中部におけるクローバー類の播種の發達はクローバー地における亞麻の播種を播種面積の二〇パーセントから六〇パーセント迄高めるであらう。

工業用農作物の收穫率を高めるためのこれら一切の物質的技術的條件の實現は、全く、ソフホーズ及びコルホーズ自身にかゝり、指導的諸地方のソヴエト機關並びに黨機關にかゝり、農業におけるそれら諸機關の活動の性質にかゝり、農業技術の諸原則の遂行如何にかゝるものである。既に一九三二年及び三三年は高い收穫率の幾多の手本を示した。かくて、例へばフェルガナの諸地方は既に一九三二年及び三三年において平均水準以上の棉花收穫をあげた。こ

れは次表に見る通りである。

地 方 名	一ヘクター當り棉花收穫高(單位ツェントネル)	
	一九三二年	一九三三年
ゼレンスキ	一五・九	一六・四
ナマンガ	一四・三	一四・四
アイムスキ	一三・六	一三・八
アンザジャンスキ	一二・九	一三・八

これらの地方の個々のコルホーズは一ヘクター當り二五乃至三〇ツェントネルの收穫率を達成した。かくの如く、棉花の收穫率に關する吾々の計畫は誇大なものではなく、立派に活動してゐるソフホーズやコルホーズでは十分にそれを征服し得るものである。

甜菜についても同様である。其の收穫率については一九三二年の實際收穫率を著しく超過する所の非常に緊張せる任務が與へられてゐる。即ち一ヘクター當り二百ツェントネルの供給がそれである。然し既に一九三三年に聯邦の大部分の地方では甜菜の一般的な低收穫を見たにも拘はらず先進的なソフホーズ及びコルホーズ例へばヴィンニツカヤ地方においては一ヘクター當り百八十乃至二百ツェントネルの收穫をあげたのである。しかもその當時には少量の肥料をもつて、二枚型もなしに、又一九三七年に創設される筈の作業條件もなかつたのである。すべてこの事實は、コルホーズやソフホーズ其のもの、中に著しい餘力が現存して居り、その利用は全コルホーズ員及びソフホーズ員の作業内容の改善と相俟つて收穫の急激な増加を保障するものであることを證明してゐる。



第二次五ヶ年計畫案においては亞熱帯農業の發達と改善に對し、殊に茶、レモン、密柑、油桐樹、ラミー、エフ、ル、橄欖樹、及び藥草の如き最重要の農産物の増加に對して大なる注意を拂つてゐる。

第二次五ヶ年における農産物の大増加は、農業の根本的な機械化の完成に依存して居り、其の技術的裝備の成長と其の規模は次の表に示す通りである。

指 標	第一次五ヶ年計畫期間において	第二次五ヶ年計畫期間における豫定
農業におけるトラクターの配備(單位百萬馬力)	二・四	八・六八
MTS* 所屬	一・二	六・四五
ソフホーズ所屬	一・二	二・二三
コムバインの配備(單位千臺)	一五・五	九〇・〇
MTS 所屬	三・〇	七五・〇
ソフホーズ所屬	一二・五	一五・〇
自動車の配備(單位千臺)	一四・四	一七〇・〇
農業に利用される發電所發電力(單位千キロワット)	三六・〇	三五九・〇
MTS 新設(單位一ヶ所)	二四四六	三五五四
MTM* 新設	一八〇〇	三五〇〇
農業人民委員會所屬	五二〇	一一〇〇
經濟人民委員會所屬		

\* 機械トラクター配給所

\* 機械トラクター修繕工場

化學工業は農業に對して標準肥料數百萬噸を供給せねばならない。農業に對する肥料の配給は次表の通りである。

	一九三二年	一九三七年
窒 素 肥 料	五二(千噸)	一七六〇(千噸)
加 里 肥 料	七九	一六八〇
過 燐 酸 肥 料	六一二	三四〇〇
磷 灰 肥 料	三九〇	二九〇〇

社會化された農業部門に對する第二次五ヶ年間の投資額は第一次五ヶ年計畫の投資額に比較して二倍に達する。(二百十九億ルーブル)。その外に各種の個人的牧畜業と住宅建設に對してコルホーズ員は六十五億ルーブルを支出する。農業生産の基本資金は六六・五パーセントだけ増加し、播種一ヘクター當りの農具配備高は三二ルーブル(一九二六—二七年度の價格による)から五四ルーブル迄向上するのである。然るに合衆國においてはそれは一九三〇年において播種一ヘクター當り二十三弗である。

第一次五ヶ年計畫期間に世界における最大の生産高に達したソヴェト聯邦の農業は第二次五ヶ年間にその技術的裝備の點で世界における最も先進的な農業となるのである。農業労働は工業労働となるのである。

農業の強力な發達に基いて輕工業と食料品工業は素晴らしい速度で成長する。第二次五ヶ年計畫においては輕工業



の生産高は三倍に、食料品工業は二・八倍に増加すべきである。國民經濟總體における日用品の生産高は二・七倍に増加し、都市農村間の商品流通を著しく強化する爲の基礎が出来、又制限的商品賣出の漸次的廢止と發展せるソヴェト商業への推移のための基礎が創設されるのである。

この生産増加案の實現は國內原料資源の最大限の動員、原料の最善の利用、輕工業活動内容の根本的改善を要求する。

原料をもつと注意深く取扱ひ、原料支出基準を嚴守することによつて追加的商品群を造出する非常な可能性が得られるのである。一九三三年においては紡績業の活動が劣悪であつた(原料の拙劣な使用、その濫費、錯誤、基準の超過)ために一億メートルを下らない綿織物の損耗を來したのである。一九三三年には天然硬皮革の一般的濫費の結果(原料使用の誤りと基準原料に對する超過支出)三百萬足以上の靴が豫定通りの配給を受けなかつた。

輕工業に對する原料の保證が經營者自身に、工場組織自身に著しく依存することは明白である。

輕工業は農産原料の新たな大資源を合理的に利用しなければならぬし、又それと同時に新種の原料を發見獲得せねばならないであらう。絹綿交織の生産は八萬九千噸迄即ち木綿工業によつて使用される原料總量の九パーセント迄増加すべきである。製靴工業は代用皮革の品質を徹底的に改良して十二萬五千噸を使用せねばならないであらう。

原料の上手な利用によつて吾々は一九三七年には一九三二年に比し綿織物の生産高を一二パーセント増加する筈である。毛織物工業においては原料の上手な利用によつて吾々は二千萬メートルの毛織物を得る筈であり、製靴工業において約一千萬足の靴を得る筈である。

輕工業部門の生産高の高率の成長速度と共に、生産品の種類と品質の著しい改善が計畫されてゐるが、これは現在

の所許容し難い低い水準にある。

織物工業においては外套用織物の生産は三倍以上に増加し、着物及び下着用織物は二倍以上に増加する。

毛織物工業においては薄地ラシヤ及びカムヴォール織の比重が増加する。メリヤス工業においては毛製品及び人造纖維製品の比重が著しく増加する。織物の仕上げが改善される。靴の品質は縫ひ方の改善と半製品の品質向上によつて向上する。

輕工業生産高の三倍の増加は巨大な新建設事業と全工業部門の現有企業の大改善とを要求する。輕工業における投資額は第二次五ヶ年間に四・六倍に増加し、操業開始企業の規模は第一次五ヶ年計畫に比し六・一倍に増加する。

九十二億ルーブルの總投資額の内半分以上(五十四億ルーブル)は新建設に投ぜられる。一九三六年と三七年には我々は新企業及び改築企業から輕工業全生産高の四〇パーセントを得る筈である。

十五ヶ所の木綿聯合工場が建設され、その内十ヶ所は鍾數十萬を有し、五つは二十萬鍾を有するものである。毛織工業においては十三ヶ所の毛織企業が建設される筈である。亞麻工業においては十二ヶ所の亞麻企業が建設される。その結果亞麻工業の生産力は二倍に増加する。麻苧工業においては十一ヶ所の企業が建設され、メリヤス工業においては十八ヶ所の企業が建設される。製靴工業の生産力は二倍に増加し二十一ヶ所の企業が新設される。

硝子工業においては十九ヶ所の工場が建設され、陶磁器生産の爲に五つの工場が新設される。

新技術に基く廣汎な建設事業の結果、輕工業は總體的に大規模機械工業の水準に高められるのである。

輕工業と同様に食料品工業も亦第二次五ヶ年において生産品質の著しい改善を達成せねばならぬ。

第一次五ヶ年計畫において量的計畫任務を豫定通りに遂行した食料品工業は生産品の品質向上の爲の闘争では必要



な改善を達成しなかつたのみならず、個々の部門では（罐詰、製菓部門）明らかな製品品質の悪化さへ來したのである。

營養及び調味上極めて高價な生産品を生産する部門の大發展に對する支柱たるものが食料調味品工業に關する第二次五ヶ年計畫の基本的特質である。食料調味品工業の平均増加二・八倍に對し食用脂肪加工工業部門群は三倍に増加する、砂糖の生産は三倍以上に増加し、腸詰生産は殆ど四倍に増加する。

これと同時に各部門の製品分類の變更に關連して品質の決定的進歩が計畫されてゐる。鮮魚及び冷凍魚の割合が増加し、獸肉工業製品のうち豚肉の比重が著しく増大し、穀粉の高級品の比重が高まり、パン、マカロニ、菓子類の品質が改善される。

食料品工業の或る部門は第一次五ヶ年計畫において其の原料基礎を組織する任務も果さなかつた。これらの部門では、原料の不足原料の破損或は損耗、その保管、輸送拙劣と云つた様な事實の結果、生産計畫は系統的に未遂行に終つてゐる。罐詰、獸肉、魚、砂糖、搾油等の如き諸部門の計畫遂行の蹉跌は殊に顯著である。五ヶ年計畫を四ヶ年間に超過遂行した漁業は最近二ヶ年間に系統的に計畫未遂行に終つてゐる。一九三一年度の漁獲高は千四百三十萬ツェントネル（第一次五ヶ年計畫案の千三百萬ツェントネルに對し）に達したが、一九三二年の漁獲高は千三百三十萬ツェントネルまで低下し、一九三三年には千三百萬ツェントネルまで低下した。

この漁獲高の低下は、第一次五ヶ年計畫期間に漁業の技術的基礎が成長したに拘はらず、又漁業基本基金が六千四百萬ルーブルから四億四千萬ルーブルまで増加したに拘はらず、生じたのである。第二次五ヶ年計畫においては、少くとも千九百萬ツェントネルまで漁獲高を増加せねばならぬ。漁業の技術的裝備を豫定通りに擴大することは、この

ために必要な一切の條件を創設するであらう。

食料品工業生産の豫定の増加速度を保障する目的で、第二次五ヶ年計畫案は、著しい新生産力の創設を規定してゐる。供給人民委員部の五ヶ年間の投資總額は第一次五ヶ年計畫期間の十八億五千八百萬ルーブルに對し五十三億四千萬ルーブルと豫定され、買付委員會（製粉工業）の分は第一次五ヶ年計畫の一億五千三百萬ルーブルに對し五億五千萬ルーブルと決定されてゐる。投資案は、食料品工業を原料原産地と新工業地方へ接近させる豫定を立ててゐる。

砂糖工業では、三十ヶ所工場が新設され、其のうち二十二ヶ所は東部地方に建設されるが、そこには有力な原料基地が創設されるのである。其の他の食料品工業部門でも矢張り多數の新工場が建設される。搾油工業では二十工場、製菓工業では三十六工場、獸肉工業では四十の製肉聯合工場が建設されるのである。

食料品工業の技術的改造の根本方針は第二次五ヶ年間に、其の數部門を大規模機械工業の軌道に移し終へることに歸着する。最新の技術的成果が廣汎に應用される。第二次五ヶ年の最終年度には肉生産品の七五パーセントは新たに機械化された獸肉聯合工場によつて加工されるであらう。新たに操業を開始する罐詰企業は合衆國の最先進的技術を利用する。機械化漁獲の比重は全國營漁獲高の七〇パーセント迄増加する。製粉工業では大聯合工場が新設され、現在の多數の小製粉工場は改造される。輕工業と食料品工業の根本的な技術的再裝備は機械供給の急激な増加を要求する。織物機械製作専門工場の生産高は第二次五ヶ年計畫の期間に六倍に増加すべく食料品機械製作専門企業の生産高は三倍に増加する。輕工業と食料品工業に對する裝備品供給計畫はわが機械工業にとつて重要な任務である。

勞働者及びホルネイズ員の増加し行く消費を全面的に満足させる上で極めて重要な補助的働きをなすものは第二次五ヶ年間の地方工業の發達である。地方工業は第二次五ヶ年間に一般消費資料の生産を三倍に増加するのである。地



方諸機關が地方工業の發達と各種の新原料探求上最大の創意を示すことはこの計畫を實現する根本條件である。全聯邦的及び共和國的意義を有する幾多の企業が地方企業に移讓されねばならない。

わが經濟は量り得ない程に成長した、幾多の企業を人民委員部の手から地方諸機關の手に移すことも生産品の補足的増加を來すであらう。

我々は第二次五ヶ年計畫において大量の日用品を生産する。然しそれを消費者の手に移すには立派に活動する商業網が必要である。わが商業機關の活動は現在甚だ不満足である。その結果屢々莫大な商品の棚ざらしを生じ、その發達は屢々消費者の需要高の算定を全然外れて居り、商品は消費者の手に入る前に多數の商業機關を通過し、工業生産品の品質向上のために商業機關は何等の統制も闘争も行つてゐないのである。

かやうな状態がこれ以上我慢出来ないことは明白である。第二次五ヶ年間に商品流通高は殆ど三倍に増加する。我々には増大し行く商品群を急速に消費者の手に渡し、其の需要の全面的満足を保障するが如き文化的なソヴェト商業が必要である。商業機關は消費者の需要を廣汎に研究する義務があり、消費者への奉仕に一層配慮すべきであり、消費者に凡ゆる店曝品を押しつけるべきではないのだ。無制限商業の擴張と集中的配給制の廢止準備とは、疑ひもなく商業機關の活動を健全にし、其の活動の必要な改造を一層急速ならしめるであらう。商業活動においては、工業中心地の労働者への奉仕と、急速に福利を増進しつつあるコルホーズ農村への奉仕により多くの注意を拂はねばならない。商業網の三七パーセント増加計畫は、第一に、商業地點を、都市の中心においてではなく、労働者住宅の基本的中心地並びに農村において擴張することによつて遂行さるべきである。商品の豫約、其の家庭への配達制の實行は一層廣汎に發展せねばならぬ。

第二次五ヶ年計畫の日用品生産の豫定通りの増加、ソヴェト商業、文化的に組織された商業——これが、都市及び農村労働者の福利改善のために第一に必要なものである。

第二次五ヶ年計畫はこのために一切の條件を創造する、そして我々はそれを實現せねばならぬ。

## 二、一般大衆の生活水準の向上

農業、輕工業及び食料品工業の急速な發達と商品流通の發展とに基いて第二次五ヶ年計畫は、わが國の廣汎な労働者大衆の物質的福利と文化的水準の未曾有の向上を計畫してゐる。

第二次五ヶ年間に實質賃銀の二・一倍の増加を保障し、全コルホーズ員を裕福にせよと云ふ同志スターリンのスコーガンを實現し、國內労働者の生活條件と文化條件の根本的向上を實現せねばならない。

實質賃銀の増加は、國營消費組合商業の小賣値段三五パーセント乃至四〇パーセントの引下げ、コルホーズ市場の値段の三分の一乃至四分の一の引下げ、文化生活上の奉仕基金の二倍以上の増加、消費基金の二倍半乃至三倍の増加等によつて保障される。

一九三七年にはコルホーズの人口一人當り總生産高と純収入は、一九二七年の富裕農家の人口一人當りのそれよりも一二パーセント乃至一五パーセント方多くなるであらう。農業では吾々は物質的福利の向上過程を有するであらう、この向上過程は急速な速度と達成される水準の方面で顯著なばかりでなく、其の大衆性、國內の全コルホーズ住民をこの過程に引入れる點においても顯著である。



第一次五ヶ年計畫の間に我々は住宅資金の増加及び都市改造の大事業をなした。其の期間に、六十ヶ所の新住宅地、都市、労働者大居住地の建設が開始され、三十ヶ所の急速に成長しつゝある大都市には都市經營の廣汎な改造が開始され、二千三百五十萬平方メートルの住宅が新設された。

我々は、強行した工業化事業の結果都市人口の未曾有の増加を來してゐる。舊工業都市の人口が増加し、それと共に舊工場住宅地は大工業中心地に轉化し、最後に、昨日までは荒涼たる曠原や森林であつた所に新たな大都市が勃興したし又勃興しつゝあるのである。

例へば、モスクワは最近數ヶ年にニューヨークやシカゴが最も急速に成長した年よりも三倍も急速に成長した。スヴェルドロフスク、ゴリキキー、スターリングラード等の諸都市はデトロイト、エッセン、ピッツブルグ等よりも三倍も急速に成長した。スターリンスク（西部シベリヤ）において一九二九年一月一日現在で一萬二千人の住民が居住してゐたのが、一九三三年一月一日には二十四萬人に増加した。プロコピエフスクでは同じ期間に二萬二千人から十一萬七千人に増加し、マグニトゴルスクでは二千人から二十萬人以上に増加し、スターリナバードでは五千人から四萬二千人に増加した。カラガンダ、ヒビノゴルスク、スターリノゴルスク、ヂェルジンスク等々の如き新都市が勃興した。一九三三年一月一日現在でわが國には人口十萬以上を有する都市六十五であつたが、一九二六年末にはその數は僅か三十一であつた。

恐しく大規模の事業が遂行されたにも拘はらず、住宅―公共建設は我々の要求に對して遙かに立ち後れてゐる。そして屢々この立ち後れは労働力の流動性やその他の不利な現象を來す原因となつて工業活動を著しく困難ならしめてゐるのである。

第二次五ヶ年間の都市及び工業住宅建設に對する投資額は百二十五億ルーブルに上るべきで、第一次五ヶ年計畫よりも三倍以上に達する。これは六千六百萬平方メートルの住宅の新設を保證するのであるが、これは數十年間に蓄積された全都市住宅の三分の一に相當するのである。モスクワでは四百五十萬平方メートル、レニングラードでは二百七十萬平方メートル、ハリコフ百十五萬平方メートル、スターリングラード百二十萬平方メートル、ゴリキキー百三十萬平方メートル、ノヴォシビルスク八十萬平方メートルの住宅が各々建設される筈である。ウラル、クズネツク企業聯合地方には千三百萬平方メートルの住宅が建設される筈で、石炭業の住宅は二倍に増加し、鐵鋼冶金業においては三倍半に増加し、機械製造業においては五・二倍に増加するのである。

經濟機關、ソヴェト機關及び黨機關はこの龐大な新住宅建設計畫を實現し、同時に住宅の内容を著しく改善することとはこの事業に最大の注意を向けることによつて初めて可能であることを考慮すべきである。

公共事業の方面では次の様な大事業が豫定されてゐる。即ち都市公共事業への投資總額は六十九億ルーブルに上る筈で、衛生技術的施設には十七億ルーブルの投資が豫定されてゐる。一萬以上の人口を有する都市の全部に水道が建設されるであらう。特にハリコフ水道（ドニエプロ河）及び新バッキンスキー水道の建設並びにレニングラードにおけるラドガ湖水道の建設着手は特に指摘せねばならぬ。又人口五萬以上の全都市には下水装置が施されるであらう。ウズベツク、トルクメン及びタヂツク諸共和國の最重要都市には初めて下水道が建設される。

都市運輸事業では第二次五ヶ年間に現在の運輸機關を擴張し、新運輸機關を扶植し、軌道を完成する事業を遂行せねばならぬ。第二次五ヶ年間に二十ヶ所の都市に電車が建設され、八十三ヶ所の都市には乗合自動車が開通し、四十ヶ所の都市にはタクシー運輸が組織されるであらうし、モスクワには地下鐵が建設される。



緑化廣場の開設擴張についても大活動が行はねばならぬ。

電力、ガス及び暖房装置等を一層廣汎に敷設することは勤勞者の生活改善に最も重要な役割を演ずるものである。住民一人當り電力消費量は一倍に増加すべきである。ガス設備の點では大プロレタリア中心地（モスクワ、レニングラード、ハリコフ、オデッサ、バクウ）におけるガス經營の復興と發達が豫定されてゐる。レニングラードでは一九三四年に生産力六千萬立方メートルの最新式ガス工場の新設が豫想されてゐる。天然ガス（バクウ、グロズヌイ、エイスク、スタッフロボリ）の利用に基くガス化の發達が計畫されてゐる。最後に、冶金工業を有する諸都市ではガスの一部を都市經營に利用する豫定になつてゐる。（ドニエプルベトロフスク、スターリノなどがそれである）。都市暖房裝置網の延長は五倍に増大するであらう。

第二次五ヶ年計畫では四百以上の中心都市が改造事業を受けるが、その内大部分は民族中心地である。即ちスイクツィフカル、イジニフスク、エリスタ、エンゲルス、ウファ、ミコヤンシヤハル、オルヂニキエ、ウエルフネウヂンスク、キエフ、チラスボリ、ミンスク、チフリス、バクウ、エリワニ、バツーム、タシケント、アシハバド、スタリナバドその他がそれである。

この點において先驅者はモスクワである。モスクワでは同市を世界中で最も美麗な、最も整頓した都市の一つとなす事業において現在既に大成功を収めつつある。正しい計畫、數千の新建造物の高級な建築學的形態（その内にはソヴェト宮殿、技術宮殿等の如きものが含まれてゐる）、地下鐵の建設——すべてこれはモスクワを社會主義國の首都に相應はしいものとなしてゐるのだ。

第二次五ヶ年では保健事業に特に大なる注意が拂はれる。保健事業に對する支出は第一次五ヶ年計畫に比し四倍に

増加してゐる。新たに建設される病院と現在の病院の擴張事業は病床數を十萬増加する。數千の新たな豫防病院、施藥所、健康相談所、休息の家、療養地、體操廣場、水泳場、浴場等が擴張新設される。醫師の數と診療所が急激に増加し、豫防施設が一層廣汎に發展し、世界最大の實驗醫學研究所が建設される。

公衆教育の方面では第二次五年計畫は一般工藝教育の急速な發展、無學及び半無學の撲滅の完成、就學前の養育組織の廣汎な發達及び大衆的政治・文化・啓蒙機關の廣汎な發達等を計畫してゐる。

中等學校の生徒總數は一九三二年に比し三倍以上に増加し、帝政ロシアの戦前の水準に比し二〇倍以上に増加し、そして一九三二年の三百六十萬人に對し千百六十萬人に達するのである。中等學校の生徒増加數八百萬人の内六百萬人は農村におけるものである。民族諸共和國及地方では生徒數の増加はソヴェト聯邦全體の増加速度の二倍又は三倍以上である。

第二次五ヶ年間には高等或は中等師範教育を受けた有資格のしかも政治的教養ある幹部を普通學校に配備すべき大任務がある。このためには、師範大學及び専門學校の急速な發展と現幹部の資格向上方法とによつて五ヶ年間に十九萬人以上の中等教員を養成せねばならない。この數は第一次五ヶ年計畫の期間の養成人員よりも數倍多いのである。

學校の物質的技術的基礎の決定的改善、學校に對する必要な敷地及び設備、確定教科書、教材、手帳及び其の他の保障——これは工藝學校の内容の向上に巨大な役割を持つべきものである。計畫案は五ヶ年間の學校への投資額を第一次五ヶ年計畫の七億ルーブルに對して二十二億ルーブルと規定してゐるが、その内には設備費の五億ルーブル以上が含まれてゐる。

教育の民主性と大衆性の點ではソヴェト聯邦は既に世界中のあらゆる國を超越した。我々の世界觀はマルクス・レ



ニン主義理論である。この理論は最も先進的な、最も科学的な理論であり、人類文化の發生當初からの全遺産を攝取し且つ批判的に加工した理論である。わが國では教育の獨占は撲滅されてゐる。

現在わが學校、研究會、講習會等において知識を習得しつゝあり、技術及び農學の試験を受けつゝ熱心に勉強しつゝある幾千百萬の人々の持つ熱烈な知識慾はこの國にも見當られない。

夜學校、普通教育、政治、講習會、工藝講習會及び其他教育向上施設に學ぶ成人數は一九三二年の六百四十萬人から一九三七年には一千五十萬人迄増加する筈である。

文化に對する要求が成長し質的に増大しつつあるに鑑み第二次五ヶ年計畫は、クラブ、讀書の家、社會主義文化の家、劇場、キネマ、競技場等の廣汎な建設を目論んでゐる。觀覽場數は一九三二年の三萬に對し一九三七年には七萬一千五百に達する筈である。第二次五ヶ年計畫には九千の映畫劇場が建設されるが其のうち七千は農村に建設される。ハリコフ、ノヴォシビルスク、マグニトゴルスク、スモレンスク、アルマ・アタ、チェリヤピンスク、エリヴァニ、アシハバド、スターリノ等には大劇場が建設されるであらう。トーカー設備數は十九倍に増加する筈である。新聞の發行部數及び書籍雜誌の出版高は著しく増加する。各社書籍雜誌の發行部數は一九三二年の三千五百五十萬部に比し一九三七年には六千六百萬部に達し二倍以上に増加する。ラヂオ網は數倍増大する。

民族諸地方においては、内容は社會主義的なそして形式は民族的な文化が力強く開花するであらう。第二次五ヶ年間に民族諸地方における文化活動は尙一層強化され、農村及び民族諸地方の勤勞者の水準を物質的福利においても、文化的關係においても都市の水準まで出来るだけ急速に引き上げる様にせねばならぬ。

第二次五ヶ年間には科學に對する大なる任務がある。第二次五ヶ年計畫は科學研究所網を増加することなくしかも

科學研究幹部の著しい増加と、第一次五ヶ年計畫に比し投資額二倍半の増加を計畫してゐる。第一次五ヶ年計畫の間にソヴェトの科學思想は最も重要な幾多の課題を獨力で解決したのである。第二次五ヶ年間には西歐の科學及び技術の最新成果をより以上に學び且つ我々の地盤に移植すると共に我々は知識の全部門に亘り幾多の問題を獨力で解決する活動を尙一層強化せねばならぬ。科學・技術思想の方面で我々が資本主義の先頭に進む機會は益々多くなり、技術の領域において資本主義が提起することさへも出来ない課題に我々がぶつからねばならぬ場合は益々多くなるであらう。

第二次五ヶ年計畫の期間に（國民所得は二倍増加）社會文化的施設に對する資金支出高は聯邦全體においては平均四倍以上に増加し民族諸地方においては五倍乃至六倍に増加する。

第二次五ヶ年計畫案においては社會文化建設に對する資金總支出額は八百億ルーブル以上即ち第二次五ヶ年計畫の總財政計畫の四分の一以上と規定されてゐる、これは第一次五ヶ年計畫における社會文化的支出の三倍以上に當るのである。

物質的福利の向上と文化的建設の豫定計畫は社會主義建設事業の構成部分である。我々は後れた、虐けられた文盲の國に社會主義社會を建設し初めたのである。我々は第二次五ヶ年に入つてゐるのである。即ち資本家的要素及び階級一般………五ヶ年に入つてゐるのである。國內の幾千百萬の全住民に裕かな文化的生活が保證されてゐるところの更新された國として第二の五ヶ年に足を踏み入れてゐるのである。都市農村における勞働の社會主義的規律の強化、物質的福利の向上及び社會主義文化の開花、社會主義的勞働形態の成長、これらは第二次五ヶ年間に人間の意識の中の資本主義………事業に決定的成功を收める爲に必要な一切の條件を創造するものである。



労働の過程において、労働に對する社會主義的態度の發展において人間は煮返され、社會主義社會の建設者たるに應はしき新しい人間が創造されるのである。

### 三、第二次五ヶ年計畫案遂行の決定的條件たる體得の問題

第二次五ヶ年計畫案の地方別検討に移る前に、第二次五ヶ年計畫案の最も重要な問題即ち同志スターリンが一月の中央委員會總會においてあれ程明瞭に規定したところの體得の問題を述べやうと思ふ。

第二次五ヶ年間の國民經濟の技術的改造の完成は第一に、國民經濟全部門の現代的大機械工業段階への移動が完成され、それによつて社會主義社會の經濟に全く適合せる技術的基礎が創設されるといふことにある。此の基礎の上のみ労働者階級及び農民の物質的福利の水準を根本的に向上させることが同時に可能となり、わが國の技術・經濟的獨立を終局的に保證し、そしてソヴェト聯邦の國防力を正當に強化することが可能となるのである。

ソヴェト聯邦の國民經濟の技術的改造の完成は更に次の點に特質がある。即ち國民經濟全部門に最新技術を扶植すること、新たな社會的結合の創設、經濟と人間の意識の中の資本主義的遺制……及び此の基礎に立脚する社會主義的労働規律の完成、プロレタリア自身の技術インテリゲンチヤの創設と不可分に結びついてゐることにある。廣汎な大家が新技術を體得することは技術的改造を完成する上で最も重要な不可缺の契機である。就中この點に困難の源泉があり、我々が第二次五ヶ年においてそれに向つて進むべき偉大なる勝利がある。

體得の問題は何の點にあるか？ 第一に労働の生産性にある。何故なれば労働者、技師、工場總體が或る機構を體

得したならばそれによつて労働者の労働生産性が増大することは全く明白であるから。労働の生産性は體得の最も明白な指標の一つである。

第二次五ヶ年計畫の生産的任務の遂行にとつて體得と品質指標の偉大なる役割は次の資料に見る通りである、即ち一九三七年の工業生産高の一九三二年に對する増加總額の内六五パーセントは労働生産性の増加によつて得られるであらう。又工業の生産原價の低下による總節約高は第二次五ヶ年計畫全期間の工業投資額の約四〇パーセントに當るであらう。一九三二年に比し一九三七年の穀物總收穫高の増加總額の内八七パーセントは收穫率の増加によつて得られるのである。

第二次五ヶ年間に創設される技術的基礎體得の難しさは國民經濟の中に新たな種類の技術が壓倒的なものとなりつつある點にある。この新技術は從來廣汎な労働者幹部にも、基本的經營者幹部にも、廣汎な技術家従業員幹部にも知られてゐなかつたものである。

實際、農業では機械技術は最も廣汎な大家の労働の基礎となつてゐる。著しく大規模の生産企業が農村に創設され、たし又創設されてゐる（コルホーズ及びソフホーズ）。

一九三七年には工業においては全生産高の六五パーセント、個々の部門では八〇パーセント以上が最大企業によつて提供されるのである、この最大企業の平均規模は革命前の工業においては稀にしか見當らなかつたものである。工業諸部門において到達された高度の生産集中に基いて企業聯合——相互に聯絡した數個の生産部門を組合した企業——が基本的企業形態となつてゐる。

これと同時に新たな工業部門数が著しく増加して居り、古い工業部門においてもこれまで知られてゐなかつた新たな



な生産・技術過程が獲得されてゐる。

一九三三年の経験はこの新技術の獲得が複雑であるに拘はらず、計畫された生産力及び技術的基準（スターリン自動車工場、スターリングロードのトラクター工場、第一「ボールベアリング」工場、ドンバスの数ヶ所の鑛坑其他）を完全に獲得する實際的可能性が現在既にあることを示した、そして或る場合には最先進的資本主義諸國で同じ聚合機械で達成されてゐるよりも遙かに高い基準さへ獲得し得る可能性のあることを示したのである（ウォルホフのアルミニウム企業聯合、チェリヤビンスクの鐵合金工場その他）。一九三三年の獲得経験は更に次のことを示した。即ち新技術獲得にとつて根本的な最重要な條件は人間である。労働の正しい且つ正確な組織であり、労働組織及び生産管理における一切の缺陷の完全な根絶である。この缺陷はわが黨の中央委員會が石炭工業及び鐵道運輸に關する決議の中で暴露したものである。

新技術獲得の爲の闘争を準備し強化することは、同時に幹部養成の廣汎な方策を展開することによつてのみ出来ることである。第二次五ヶ年計畫は五百萬の大众的有資格當事者を養成すべきことを規定してゐる。その内には工場附屬學校で養成される二百五十萬人を含むのである。

高等専門學校卒業の専門家は第二次五ヶ年間に倍加し、工業學校卒業生は第一次五ヶ年計畫に比し三倍に増加する。國民經濟の全部門における専門家の配備率は著しく高まる。工業における専門家は五七パーセント増加し、一九三七年には五十二萬人に達する。

有資格水準は特に著しく向上し、農業における専門家の配備率は特に急速に増大する。第二次五ヶ年計畫にトラクター牽引力の取扱方法を學んだコルホーズ員数は五百萬乃至六百萬人迄増大し、教育を卒へた専門家は農業におい

ては三倍半に増加すべき筈で、これは工業における専門家の増大速度さへ凌駕するものである。

運輸における専門家数は次の如く著しく増加する。即ち鐵道においては四三パーセント、水運においては四九・三パーセント、自動車運輸においては殆ど三倍半に夫々増加する。

工業における労働生産性の増加速度は六二・七パーセントで、第一次五ヶ年計畫における其の増加速度（四一パーセント）を著しく凌駕する筈である。第二次五ヶ年計畫における労働生産性の急激な飛躍を保障する最重要モメントは、我々が既に述べた所の工業機械化における新段階である。第二次五ヶ年計畫においては勞力を多く要する工業部門の機械化が完成され、それらの部門を大機械工業技術へ移すことが完成され、個々の過程の機械化水準における懸隔が克服されるのである。それによつて機械技術の優越性を完全に發揮する可能性が現はれ、労働生産性の水準を著しく向上させる條件と労働條件を改善するための條件が創設されるのである。

第二次五ヶ年間に於いて、農業における労働生産性の増加速度が工業における其の増加速度を凌駕すべきであるといふことは極めて特徴的なことである。この點に、第二次五ヶ年においてソヴェト聯邦内に實現される所の、資本主義が企及し得ない農業立後れの克服が現はれてゐる。

運輸事業の新技術の獲得も亦労働生産性の著しい向上の中に表現されてゐる。鐵道運輸では労働生産性は四三パーセント向上し、水運では八六パーセント、自動車運輸では七〇パーセント夫々向上する。

生産原價の低下も亦この獲得過程のうちには現はれてゐるが、その計畫の遂行が、第二次五ヶ年計畫において有する巨大な意義は次の點にある、即ち生産原價の引下げは蓄積の最重要な源泉の一であり、そして同時に、實質賃銀の向上を保障する所の物價引上げを徹底的に遂行する基礎を創設するものである。第二次五ヶ年では蓄積の源泉として重



工業の役割が増大し、そして輕工業、食料品工業及びソフホーズの収益性は著しく増大する。

生産原價の引下げと同時に第二次五ヶ年計畫案は生産物の品質の根本的改善を任務としてゐる。

生産手段及び要具の品質向上は最重要な國民經濟的任務である。労働者及びソルホーズ員の物質的文化的水準の向上は、第二次五ヶ年間に輕工業食料品工業生産物の品質問題を全面的に提起する。この問題は今日迄はなほ有利な解決は未だしの状態である。輕工業食料品工業企業の従業員、技術家達は、勤勞者の消費水準を二倍乃至三倍に高める任務の解決は量的計畫の遂行に依存するのみならず、又織物、靴其の他の品質を著しく向上することにも依存してゐるといふことを銘記せねばならぬ。現在、よい織物、よい靴、よい衣服、よいバタを生産するために闘ふことは、重工業のドニエプロストロイの建設事業に参加するに劣らぬ名譽ある任務であることを理解せねばならぬ。ドニエプロストロイの建設事業をやりとげたボリシエヴィキは、生産物の品質問題を克服することが出来、かつ克服すべきである。これは云ふまでもないことだ。

體得の領域における任務はかくの如きものである。この任務が、學問ある技師、發明家等の最も廣汎な参加なしには解決され得ないことは云ふまでもない。

第二次五ヶ年計畫によつて提起されてゐるところの國民經濟の未曾有の技術的再製備と技術の體得に關する任務は、ソヴェト聯邦の科學と技術の役割を異常に高め、科學を生産に扶植する問題を全面的に提起してゐる。研究所はわが國中を取り巻き、あらゆる工場、あらゆる企業において技術過程を研究し、技術の體得を助け、生産物の品質を改善する爲に研究所が設定されねばならぬ。國民經濟の技術的再製備の當面の任務を解決すること、新技術を體得することとは、今や科學研究事業の組織問題を全然新たに提起してゐる。我々はこの科學研究事業に多數の技師、技

術家大家を引き入れねばならぬ。我々は技術の研究に最もすぐれた労働者大家を引き入れねばならぬ。さすれば我々は第二次五ヶ年において體得問題を征服し、従つて本大會の確認を得る爲に提出された諸任務の遂行をも克服するであらう。

#### 四、第二次五ヶ年における諸地方の發達

第二次五ヶ年間の廣汎な建設計畫は國內の工業及び農業地理學に根本的進歩を豫定してゐる。この進歩は技術的改造完成計畫の構成部分をなし得るものである。

工業の分布は生産力の新分布を行ふ事業で指導的な一環である。

ウラル・クズネツ企業聯合の建設事業完成と共に第二次五ヶ年間に東部において重工業及び輕工業の新中心地が創設される。

東部諸地方（ウラル、東部及び西部シベリヤ、極東地方、バシキール及びカザックの兩自治共和國、中央アジア諸共和國）は國民經濟總投資額の三三パーセント、重工業における總投資額の三七パーセント、石炭工業における投資額の四九パーセント、鐵鋼冶金業投資額の四一パーセント、卑金屬工業における七一パーセント、機械製造業における二七パーセント、化學における三四パーセントの投資を得るのである。

東方への工業移動の廣汎な進展は同時に又工業を原料地へ接近させるレニン主義的原則を實現することを意味するものである。工業企業地圖は天然資源の分布地圖と益々接近して來る。一九三二年に石炭の全工業貯藏高の六五パー



セント、銅の三四・二パーセントを集中したところのウラル・クズネツ企業聯合地方は第二次五ヶ年計畫の期間に全聯邦産炭額中の比重を一七・五パーセントから二七・二パーセント迄高め、銅生産高における比重を五七・八パーセントから七六・八パーセント迄高める。東部地方及び中央アジアの石油資源の強行開發に基いて新石油生産地方は産油高の比重を一九三二年の二・五パーセントから一九三七年には二二・二パーセント迄高めるのである。輕工業及び食料品工業を原料地へ移動せしめる事業においては決定的進歩が遂げられる。中央アジアは棉花生産高における比重を一九三二年の〇・五パーセントから一九三七年には四・六パーセント迄高める。基本的亞麻生産地方（西部地方、ゴリキ地方、白ロシア共和國）は麻織物の生産における比重を一九二八年の四・五パーセントから一九三七年には二八・七パーセント迄高めるのである。原料産地地方では大規模な、技術的に完成された獸肉企業聯合が建設される。即ち生産力四萬五千八百噸のセミバラチンスク工場、生産力二萬六千噸のオルスキイ工場其他、罐詰工場、榨油工場及びその他の食料品工業企業が建設されるのである。

東部への工業の移動、原料への接近、工業化の新支柱的基礎の創設、これは同時に民族諸共和國及び地方の經濟的立ち後れを克服する爲に必要不可欠からざる前提を創設することを意味してゐる。生産諸力の分布の變化は國民經濟の基本的動力基礎——發電所の分布の變化によつて最も明瞭に特徴づけられてゐる。

發電所の規定發電力の分布状態

地 方 名	總發電力に對する規定發電力の比重百分比	
	一九三二年	一九三七年
ソヴェト聯邦	100.0%	100.0%

舊工業諸地方（レニングラード、モスクワ、イワノフ、ゴリキ等の諸地方）	三四・九七	三〇・四三
ヴォルガ沿岸地方（タタリヤ、中部ヴォルガ、下流ヴォルガ）	五〇・七	五・六六
ウクライナ共和國	三二・二六	二二・五五
ウラル・クズネツ企業聯合地方（ウラル、ベシキリヤ、西部シベリヤ、カザクスタン）	一一・五七	一八・二五
東部シベリヤ及び極東地方	〇・八七	二・二一
コーカサス地方	四・六二	六・三三
中央アジア	〇・七九	三・四七

同志スターリンが正當に指摘した通り、既に現在わが國には純粹に農業的な地方も純粹に工業的な地方もないのである。第二次五ヶ年計畫では工業の發達は、個々の地方の工業の技術的立後れが清算される程度に應じて達成されるのである。地方工業化のこの廣汎な過程は大約次の事實によつて立證される。即ち第二次五ヶ年計畫においては多くの地方で工業投資額の比重は工業及び農業への投資總額の六〇パーセント乃至七〇パーセントを占め、以前の農業地方たるカザクスタンにおいては七〇パーセントを占め、東部シベリヤ地方においては七七パーセント、中部ヴォルガ地方においては六二パーセントを占めてゐること等によつて立證されてゐる。

同志スターリンが正しく指摘した通り、現在既にわが國には純粹に消費的な地方はない。國民經濟の技術的改造が完成し、諸地方の性質が變化する結果、第二次五ヶ年間に消費的的地方はその農業の立後れを特に急速な速度をもつて克服するのである。これは、消費的的地方の播種面積が擴張され、收穫率が増大し、嘗つて農業の後れてゐた地方の技術的再裝備が成長するといふ方法によつて達成される。かくて、中部及び北部地方におけるトラクター臺数は第二次



五ヶ年計畫では十一倍に増加するに反し、南部諸地方においては三・三の増加に止まるのである。

私は、各地方の發達計畫を詳細に説明して行くことは出来ない。この計畫によつて第二次五ヶ年に解決される任務は私の演説に收めるには餘りに多様で且つ尨大である。この詳細な資料を諸君は國家計畫委員會の事業に見られるであらう。それで私は、各地方の最重要な經濟的任務のうち特に其の解決が現在の缺陷を清算するもの、又特に熱心に其の克服に當らねばならない任務を指摘するに止めよう。

ウラル地方。ウラルは技術上、經濟上の方面でソヴェト聯邦の最も先進的な工業中心地の一となるであらう。聯邦内の總發電力におけるウラルの比重は一九三二年の七・九パーセントから一九三七年には一三・三パーセント迄高まり、石炭工業においては四・九パーセントから八・七パーセント迄、鉄鋼においては一八・七パーセントから二四・五パーセント迄、銅においては四二パーセントから五四・二パーセント迄、製紙業においては四・九パーセントから一四パーセント迄高まるのである。ソヴェト聯邦の各地方の中でウラルは第二次五ヶ年の終りには産炭高においては第三位、鐵鋼業においては第二位、銅においては第一位、アルミニウムにおいては第二位、機械製造業においては第四位、上質の木纖維の搬出においては第二位を占めるであらう。化學工業、殊に基礎化學の方面ではウラルは最も巨大な意義をもつであらう。

ウラルの經濟の素晴らしい成長と廣汎に發展しつゝある建設事業については、次の如き建設について述べれば十分である、即ち、マグニトゴルスク、タギルスク、バカルスク等の冶金工業、ウラル機械製造工業、ニジネタギルスク車輛工場、チェリヤビンスク・トラクター工場、重機械及び動力機械製造の諸工場、幾多の卑金屬企業即ち中部ウラルの製銅企業聯合、ウフアレイスクのニッケル企業及び其の他と化學工業企業等を挙げれば十分である。が、その建設事

業は地方間の連結問題並にウラル地方内部の諸問題を從來とは異つた風に提起してゐるのである。

第二次五ヶ年間は、クズバスの石炭の外にカラガンダの石炭もウラルに供給するやう組織せねばならぬ。ソヴェト聯邦の東部諸地方に對する機械供給の中心地としてウラルの意義は恐ろしく増大するであらう。ウラルの冶金業殊に良質冶金業の生産品は、西部の機械製造業の基本的中心地へも多量に發送されるであらう。

この地方間連絡の成長はウラルの運輸問題を特に尖く提出してゐる。この問題は既に第一次五ヶ年計畫において一つの弱點となつてゐたものである。第二次五ヶ年計畫はウラルと南北隣接地方との連結を根本的に改造し且つ著しく強化し、カラガンダとの連絡(ウフアレイスク—マグニト線、アクモリンスク—カルタリ線の建設、スウェルドロフスク—クルガン線の裝備完成その他の事業)を創設せねばならぬ。それと同時に、ウラルの基本的工業地點を連結するウラル地方内部の交通網をも創設せねばならぬ。計畫はウラル鐵道七百四千軒の電化を豫定し、そしてウラルの運輸事業を有力な且つ技術的に先進的な運輸網に轉化するところのツナルスク・チェリヤビンスク間の新線その他の建設を豫定してゐる。

冶金工業の燃料においてはウラルは殆んど全く移入燃料に依存するであらう。地方燃料基礎の發達を著しく強化することによつて動力用石炭の輸送を削減することはそれだけ一層必要なことである。計畫は石炭の採掘高増加を四倍以上、泥炭は五倍と豫定してゐる。この任務を遂行することはウラルの第二次五ヶ年計畫の決定的任務の一つである。

第二次五ヶ年は最も尖鋭な問題の一つ即ちウラルの電力供給問題を解決するであらう。一九三二年においては中部ウラルの需要電力六萬三千キロワットの内發電所は規定發電力五萬キロワットであつた。南ウラル及び西北部ウラルは何等の有望な動力の全力をも有しなかつた。第二次五ヶ年計畫は發電所の規定發電力を四十四萬一千キロワットか



ら百二十六萬一千キロワット迄即ち殆ど三倍に増加し、地方發電所においては三倍半増加し、それによつて、約十五萬キロワットの發電餘力を形成して電力供給問題を完成に解決するのである。

ウラルが第二次五ヶ年間に解決に向うべき新問題は輕工業と殊に食料品工業の發達である。輕工業関係では十六ヶ所の工場が建設され、食料品工業関係では三十六工場が建設される。その結果、この最大工業地方の消費資料を自ら生産する基礎の建設が始まるのである。

農業の方面では計畫は、小麥播種の著しい擴張と殊に菜園と飼料農作物の著しい擴張を豫定してゐる。トラクターの馬力数は四倍半以上増大し、基本的農業活動の機械化水準は八〇パーセントに達する。ウラルの農業は穀物生産の方向に發展しつゝ牧畜業及び菜園・瓜類作物の發達においても著しい進歩を遂げ、それによつて地方中心都市の急激に増大する住民に肉・牛乳製品と蔬菜類を完全に保障するやうにせねばならぬ。

新工業中心地と新都市の急速な成長に應じて計畫案は基本的都市の公共事業を改造して現存住宅を一倍半増加する計畫を立てゝゐる。この點には特に注意を集中せねばならぬ。なぜなら、この任務の解決は、新設される巨大な生産機關の體得及びこの先進工業地方における勤勞者の物質的生活條件の改善と直接に結合してゐるからである。

#### バシキール自治共和國。

バシキール自治共和國は、第二次五ヶ年間に優秀な卑金屬工業、石油鑛業、林業、穀物農業等の地方として發展する。バシキール領内に建設されつゝある最大企業（年産額五萬臺のモーター工場、三噸積自動車工場、石油企業聯合、等）はバシキールの工業的風格を一變し、そしてソヴェト聯邦經濟における其の意義を著しく高めるものである。大規模な裁縫工場、製靴工場その他の建設と、食料品工業の十五大工場の新設とによつてバシキールには殆ど新た

に大規模な輕工業と食料品工業が創設されるのである。

この大工業建設は、動力供給、燃料供給、及びバシキール自治共和國の運輸連絡の強化等の諸問題を特に鋭く提起してゐる。

著しく發展しつゝあるウフア地帯の爲に特に尖鋭化しつゝある動力供給問題は、ウフア中央發電所の擴張と、モーター工場その他のウフア地帯の新企業の需要に應ずる爲めの新熱電力中心地の建設とによつて、解決されるのである。燃料供給は地方燃料（泥炭その他）を著しく利用する外に主としてカラガンダ、クズネツ、及び一部はチェリヤビンスク地方から石炭を移入する方針によつてゐる。

運輸問題は次の諸線の建設によつて解決される。即ち電化されたウフア——マグニト幹線及びステリタマク——ウフア線。これはバシキールの貧弱な鐵道網を五百七十六軒増大するもので、その内四百六軒は電化線である。

計畫案は農業生産の廣汎な發達を計畫してゐる。穀物生産地方の役割を維持しつゝ、バシキール共和國は小麥、菜園——瓜類、飼料農作物の播種を著しく擴張するであらう。

トラクターの馬力数は三倍以上に増加する。これは農業勞動の基本過程を著しく機械化するものである。

西部シベリヤ地方。大工業建設の結果重工業が素晴らしく成長するであらう。西部シベリヤ地方の工業發達の規模は次の例によつて充分明かであらう。ソヴェト聯邦における西部シベリヤの比重は石炭においては一九三二年の一一・二パーセントから一三・三パーセント迄高まり、鉄鐵においては四・一パーセントから七・一パーセント迄、展鐵においては〇・六パーセントから六・九パーセント迄、亞鉛においては二八・五パーセントから四二・二パーセント迄高まり機械製造業の生産高は六倍以上に増加し、化學工業その他が膨大な規模に發展する。動力の生産は四・六倍に増加す



るのである。

新設の巨大工業の體得を土臺とする重工業のこの素晴らしい成長はこの新開最大工業地方の特に急速な創設過程を充分に特徴づけるものである。第一及び第二クズネット冶金工場の如き建設、特に有力な堅坑（總産炭力四千四百萬噸の堅坑二十五基の作業開始）の創設によつて特質づけられてゐる最大堅坑の建設、クズネット機關車工場、自動連結機工場、鑛山用設備品工場等の建設、ケメロフ化学冶金企業聯合の建設等々以上は西部シベリヤを特に集中化された且つ技術的に先進的な大工業建設地方として特徴づけてゐるものである。

第二次五ヶ年間は同志スターリンによつて提起されたところのクズバスを第二のドンバス即ち高度に機械化された石炭工業（探炭の九八パーセント機械化）中心地に轉化する任務を解決せねばならぬ。この地方の強力な工業的成長によつて提出されてゐる新たな諸問題のうち私は特にシベリヤにおける液體燃料問題と石油の廣汎な探求を解決するところの大規模な石炭・化学工業の組織問題を指摘し度い。

この地方において第二次五ヶ年間で解決されるところの新任務は、輕工業及び食料品工業の最も廣汎な發展である、これは西部シベリヤに一般消費資料を保證する問題を解決しつゝ、第一次五ヶ年計畫にこの地方の工業發達の過程に現はれたところの最大缺陷の一つを清算するのである。

西部シベリヤは大工業發展と農業の強力な發達とを結合する。播種總面積の増加二三パーセントのもとで小麦播種面積は三三・八パーセント増加し、甜菜の播種面積は殆んど四倍に増加する。M.T.Sの増加とトラクター臺數の増加は最重要農業勞働の機械化を根本において完成させるのである。社會化された牧畜業の方面で計畫されてゐる巨大な成長はソニェツト聯邦における最大の牛乳・バター生産地方の一としてのシベリヤの意義を確立するものである。

この地方の經濟的發達にとつて特殊な意義を有する個々の問題のうち、私は運輸問題、強固な農業生産の建設問題及び住宅・公共建築問題を指摘しよう。

西部シベリヤは他地方、主として西部方面へ移出する爲め九百萬噸の石炭を供給せねばならぬ。中央アジア及びカザクスタンの木材供給と結合してゐる貨物の流動は特に偉大な規模を持つてゐる。第二次五ヶ年間にこれらの任務を解決する爲には基本的シベリヤ幹線を根本的に改造し且つ強化し幾多の新線、殊に新森林地帯を工業的開發に導くところの木材運輸線（トムスク—チュウリム間、アチンスク—エニセースク間）を敷設する必要がある。計畫された建設事業の内容及び速度から見ても、又運輸網の能力のこの増大を達成すべき速度から見てもこの任務は是が非でも克服すべき幾多の重大困難を示すものである。

最後に、住宅・公共建築問題が尖鋭化してゐるのは、西部シベリヤの工業化の廣さと速度及び新都市の成長、プロレタリアートの人口増加によるものである。五ヶ年計畫は住宅の約二倍増加と、ノウシビルスク、スターリンスク、ケメロウ、プロコピエフスク、バルナウル、オムスク等の諸都市における公共經營の發展に關する大活動を計畫してゐる。

カザク自治共和國。カザク自治共和國は卑金屬工業、石炭、石油等の豊富な極めて多様な資源を有つてゐて、第二次五ヶ年ではこれ等の富源の最大限度の獲得を保證するところの大工業建設を展開するのである。石炭の産出高は五ヶ年間に九倍に増加する（七百五十萬噸迄）。且つ一九三七年にはカラガンダは豫定生産力千五百六十萬噸を有する二十二の堅坑を有するであらうが、これは當分東方におけるこの最大石炭根據地の發達規模を充分に特徴づけるものである。バルハシ企業聯合の建設によつて銅工業の廣汎な發達を保證され、一九三七年には銅の生産高三萬噸に達する



が、これはカズボリメタルの建設の完成及びリッデルの改造と共にカザクスタンを卑金屬工業においてはソヴェト聯邦の首位の一つに上せるものである。石油工業は大發展を遂げ、石油産出高は殆んど七倍に増加する（一九三七年には百七十萬噸）が、この發展はエンバ——オルスク間の有力な石油輸送管の敷設と結合してゐるものである。

機械製造工業も新設される。

輕工業と食料品工業の發達の爲の原料資源の豊富さと多様さの點ではカザクスタンはソヴェト聯邦における顯著な地位の一つを占めてゐる。然し今日迄これ等の部門は何等目立つた發展を來さなかつた。第二次五ヶ年計畫は十二ヶ所の輕工業企業建設と四十ヶ所以上の食料品工業企業の建設を計畫してゐる。これによつて、第一次五ヶ年計畫中のこの地方の工業發達の一面性を清算する所の最大問題の一つが解決されるのである。

カザクスタンの發達にとつて特に尖鋭な重大な問題は牧畜業の復興問題、運輸問題、及び水利經營の對策の問題である。

カザクスタンのソフホーズには全聯邦内ソフホーズの牛及び羊頭数の約二〇パーセントが集中されてゐる。ソフホーズとコルホーズの確立、飼料基礎の増大、家畜品種の改良、及び其の他の方策は新たな社會主義的基礎に立つ牧畜業の向上にとつて必要缺くべからざる一切の前提を創設する。この問題の解決に黨並に經濟機關の最大努力が集中されねばならない。

鐵道問題が尖鋭化してゐるのは、カザクスタンの領土の廣さそのものに由來して居り、かつ現在其の基本的經濟中心地が聯邦の一般運輸網から引離されてゐることに原因してゐるのである。第二次五ヶ年計畫においてはカザクスタンに延長二千軒の新鐵道線が開通するであらう。アクモリンスク——カルタリ線、カラガンダ——バルハシ線、リッデ

ル——ルブツァフカ線、チムケント——タシケント線及びその他の如き新鐵道線は既設線の複線の敷設及び水運の改善と相俟つてこの特に責任ある問題の解決を可能ならしめるであらう。

幾多の水利經濟問題の解決は、カザクスタンの個々の地方の農業の發達並に數ヶ所の工業中心地の發達の條件となつてゐる。チュー河流域における二萬五千ヘクタールの灌漑は新たな樹皮用作物の生産の巨大な基礎を創設するであらう。ゴロドナヤ・ステツプ地方には棉花耕地として數萬ヘクタールが準備され、米作其の他の耕地が灌漑を受ける。これらの新耕地の正しい體得は第二次五ヶ年計畫におけるカザクスタンの最重要任務の一つである。

カラガンダの給水事業は尖鋭な且つ未解決な問題の一つである。第二次五ヶ年計畫はこの問題も解決するであらう。

私が列擧したウラル・クズネツ礦業企業聯合諸地方の發達はソヴェト聯邦東部の工業化の規模と速度を十分に特徴づけるものである。新地方の天然富源の獲得事業の斯くの如き巨大な飛躍は史上其の例を見なかつた。然し、計畫の決定した任務が如何に偉大なものであらうと、それは遂行されるであらう。なぜなら我々は、第一次五ヶ年計畫の期間に創設された堅固な土臺に立ち、レニン黨の指導下に社會主義を建設しつゝある労働者階級の創造的エネルギーの盡きざる資源に依據してゐるからである。

ウラル・クズネツ礦業企業聯合の偉大な建造事業を創設することによつて我々は、同志スターリンが第十六回黨大會において與へた歴史的指示を遂行するのである。この建造の輪廓は彼の手によつて描かれた、ウラル・クズネツ礦業企業聯合の土臺を据える最初の最も困難な任務は彼の指導下に解決されたのであつた、彼の指導下にこの歴史的事業は完成されるであらう。

計畫案はその他の東部諸地方にも最大の工業的發達を豫定してゐる。東部のベリヤは石炭、金、鑛石、及び林業を



廣汎に發展させつゝ、新たに創設される鐵鋼冶金業の改造、及び發展する機械工業と電氣建設事業のために強固な基礎を得るであらう。この農業殊に牧畜業の大向上と平行して大規模の輕工業、食料品工業を創設することによつて、この地方に消費資料を供給する任務が解決されるであらう。

聯邦の最重要な牧畜地方の一つたるブリヤート・モンゴリヤ自治共和國においては國民經濟が大いに成長するであらう。同時にブリヤート・モンゴリヤには最大の工業建設が展開される。ウエルフネウヂンスクには機關車・車輛・修繕工場、製材工場、硝子工場等の建設が完成されるのである。

ヤクーツク自治共和國においては採金工業をより一層發展させ、これと平行して同地方の燃料基礎が創設され、木材及びその他の工業部門が發展し播種面積の増加と牧畜業の發展に基く食料基礎が強固にされる。

極東地方については私はもつと詳細に述べようと思ふ、といふのはその特殊な經濟的、政治的意義は誰にも明らかであるからである。

極東地方の巨大な工業的發達は第二次五ヶ年間に解決すべき幾多の最重大任務を提起する。

第一の且つ根本的問題は運輸問題である。ウスリー鐵道の複線の敷設、最大の新鐵道線——バイカル・アムール幹線建設、及び大規模な砂利道の建設の發展、並びに極東における自動車組立工場の建設等によつて陸路運輸の問題は根本において解決される。

この計畫と同時に水運に關する大事業が豫定されてゐる、即ちアムール河の開鑿、ウラヂオストク、カムチャツカなどの諸港の建設事業がそれである。水運問題と密接に結び付けてゐるのは造船問題である。コムソモリスクにおける最大の造船所建設の完成とダリザウ・ドの根本的改築とは極東地方における有力な造船根據地の創設を保證するものである。

である。

第二次五ヶ年間に極東において解決される第二の最重要問題は燃料問題殊に液體燃料問題である。

樺太の石油を原料として活動しつゝあるハバロフスクの石油企業聯合の建設完成は極東地方の自動車トラクターに精製石油製品を保證するであらう。又石油の産出高は一九三二年の二十萬二千八百噸から一九三七年には八十萬噸迄増加する。それと同時に、新石炭産地（ライチフ、プーシヤその他）の開発によつて産炭高は一九三二年の百八十九萬二千噸から一九三七年には六百五十萬噸迄増加する。

冶金工場の建設は極東地方の發展の全將來にとつて巨大な意義を有つのであるが、これは一九三七年には既に第一回の再製鉄五萬噸を産出する筈である。

以上が極東地方發達の根本的缺陷を克服しつつある對策である。

計畫によれば多大の輸出上の意義を有つところの企業をより以上に發達させる豫定がある。即ち漁獲高は一九三二年の三十二萬噸から一九三七年の三十八萬噸迄増加し、ソヴェト聯邦内全漁獲高の二三・六パーセントに達するのである。林業の發達には大なる注意が向けられてゐる。

この地方に獨自の農業的基礎と消費資料生産工業とを創設することは極東地方の根本問題の一つである。

第二次五ヶ年間にはこの地方に獨自の砂糖工業の基礎が創設され、ビスケット工場、マカロニー工場、裁縫工場、製靴工場、卸工場その他の食料品及び輕工業企業等が建設される。農業に關しては播種面積の二六・二パーセントの増加、そのうち米作地は二〇〇パーセント、菜園地は一二・八パーセントの増加及びこの地方の消費を保證する程度の農産品の増加が計畫されてゐる。



トラクター臺数は五二パーセント増加する、牧畜業は著しく増大する。

同志スターリンの發意によるところのこの地方住民に對する廣汎な免除特典の提供はこの地方にとつての最尖鋭問題即ち人の問題を解決する最重要々因であらう。

東部諸地方の發達はわが舊工業中心地の側から有力な支持を得るであらう。この舊工業中心地は既に第一次五ヶ年計畫において新諸地方の技術的再裝備の基礎となつたのである。舊地方はその生産物、技術的經驗、自己の幹部等を以て私が上に述べた東部諸地方の經濟におけるその決定的轉換の實現を援助すべきである。これらの舊工業中心地のうち最重要地位の一つを占めるものはレニングラード州である。東部諸地方が急速な速度で前進するので、國內經濟における舊地方の比重が低下することは全く明白なことである、それにも拘はらずレニングラード州は第二次五ヶ年間に次の如き生産をなすであらう。即ち聯邦機械製造生産品の二〇・八パーセント、純生産高の一八・六六パーセント、發電力の九・〇三パーセント、アルミニウム生産高の二一・五パーセント、聯邦泥炭産出高の一三・五パーセント、頁岩産出高の三〇パーセント、木質纖維生産高の七・四五パーセント、總漁獲高の一八・二九パーセント。五ヶ年計畫の最終年度には同州は紙生産高においては第一位を占め、機械工業生産高においては第二位、泥炭生産と綿織物産出高においては第三位を占め、頁岩工業及び漁獲高においては第二位に上るであらう。

レニングラードは全聯邦の機械工業の方面では依然として建設的研究所であり、幹部の技術的學校である。有力なタービン發動機、水力發動機、新式な一層完成せるディーゼル機關、タービン、汽罐、新型船舶、植字機械及びタイプライター、新式紡織裝備品等の製作が獲得される。機械製造のため高級品の展織生産の基礎が確立される。第二次五ヶ年間にウ・ルホフ・アルミニウム企業聯合がその全能力——一萬噸——迄發展し、ティフウィンスタ粘土企業聯合の

建設が完成される。ヒビンスク燐灰石の利用に基いて第二次五ヶ年間には基礎化學即ち頁岩化學、泥炭化學其の他の化學的生産が廣汎に發達する。大規模な木材工業、木材・化學工業、及び製紙工業が創設される。この部門の新たに建設される企業の大部分はコリスク半島に創設される。高級規格織物及び技術的紡織を専門とする木綿工業、革靴工業、麻苧工業等の一層の發達と並んで、この地方産出の亞麻に基いて輕工業の新部門たる亞麻工業が創設される。高級織物を生産する大規模な亞麻聯合工場、亞麻刷梳工場及び絹綿交織工場が建設される。總てこれらの企業は、工業的には後れた亞麻栽培地方（ノヴゴロド、ブスコフ及び其の他の地方）に分布され、もつて、それらの地方の工業化を助成するのである。

食料品工業は、獸肉生産高の増加（四倍）、主として、この部門の技術的改造の完全な完成に基く魚肉生産高の増加に向つて發達する。

私は、レニングラード州の主要經濟問題のうち第一次五ヶ年において解決されず第二次において完全に又は部分的に解決される所の二三の問題について述べやうと思ふ。それは、第一に、この州の工業的發達に對して著しく後れるる燃料及び電力問題と建築材料問題及び運輸問題である。

同地方の燃料基礎は強力な發展を遂げる。泥炭産出高は二・二倍に増加し、頁岩産出高は十一倍に、ボロヴィチスク地方の石炭産出高は五十萬噸迄増加する筈である。然し、これは、なほ同州を遠隔のドネツ炭の移入から解放するものではない。

第二次五ヶ年間に、總發電力二十四萬キロワットの、新水力發電所二ヶ所（シヴィリ第二と第三）と發電力十萬キロワットの泥炭火力發電所一ヶ所、發電力十萬キロワットの火力發電所一ヶ所が開業し、そして幾多の在來の發電所が



改築される。同州の總發電力はコリスク半島の分を除き二倍半増加し、發電量は一九三七年には三十四億キロワット時に達する。その外コリスク半島には發電力十四萬一千キロワットの三大水力發電所が建設される。これによつて同州の電力供給問題は完全に解決されるのである。

建築材料の生産は著しく發展する。即ち耐火物、シャモタ、ディナス、イゾブリット、泥炭合板、セメント等。しかし、セメントの生産は州内の需要を完全に充たすに足らず、他地方から移入の必要が生じてゐる。

レニングラード州は「粗末なパン」地方から著しい小麥生産地に轉化し（小麥生産高は一八・七倍に増大する）、同時に家畜頭数は著しく増加する。州の西北部にはレニングラード市のために大規模な牛乳原産地が創設される。

運輸問題はレニングラード中心地點の改造、ムルマンスク電化鐵道の複線敷設、及び主として、白海への出口を與へヴォルガとの連結を強化する所の水路（白海・バルチック運河、マリンスク水路系）の發展によつて解決される。

モスクワ州。

第一次五ヶ年計畫の結果モスクワ州は高級な機械、電機技術、化學の最大中心地となり、同時に輕工業の根本的な改造を實現した。第二次五ヶ年計畫の終年にはモスクワ州の生産高は聯邦生産高の、泥炭は二七パーセント、發電力は一四・一パーセント、銃鐵は四パーセント、機械工業の生産高は二三・四パーセント、綿織物は四一・二パーセント、毛織物は四三・五パーセントを占むるであらう。モスクワ州はわが國民經濟の全部分の技術的改造完成任務の解決に最大の役割を演ずべきであらう。第二次五ヶ年間の新建設の最重要對象は、ボブリコフスク化學企業聯合等の完成と共に、幹線用電氣機關車三百臺の製造能力を有するカシルの電氣機關車工場、ランプ五千萬個の製造力を有するリャザンの電球工場、銃鐵四十萬噸の生産力を有するノウ・ソリスク冶金工場等である。中央絶縁電器工場、水銀

變電機工場、照明器工場、廻轉旋盤工場其の他の工場建設が完成する。スターリン自動車工場は一萬臺の輕自動車を含めて八萬臺まで擴張される。機械器具生産の發達には大資本投資が計畫されてゐる。（「スタンコ・コンスツルクトツィヤ」、「スタンコリット」、「フレゼル」、及び「カリブル」等の諸工場）。

輕工業及び食料品工業では數部門の大改造と新建設が計畫されてゐる。輕工業には其の生産品の品質を著しく高め品種を改善する任務がある。亞麻工業は同州によつて全く新しい部門であるが、我々はこの地方原料亞麻に基いて亞麻工業を創設し、亞麻製品の生産高を聯邦總生産高の一〇・九パーセント迄に達せしめねばならぬ。

第二次五ヶ年の始めには生産力七萬七千噸の世界最大のモスクワ獸肉企業聯合の建設が完成した。獸肉生産高は一九三七年には一九三二年の二萬五千噸に比し八萬一千噸に達し、三倍以上増加する。

モスクワ州の發展計畫によつて特に緊切な問題は、自身の燃料・動力基礎と冶金基礎を發展せしめる問題並に運輸問題である。燃料基礎を確立すべき任務は第二次五ヶ年間はボドモスクワ炭田地の産炭高を一九三七年には少くとも一千萬噸迄増大することによつて解決される。泥炭生産高は第二次五ヶ年間は六百七十萬噸迄に（一九三七年）達せしめねばならぬ。

モスクワ州の電力供給基礎となるのはカシル及びシャツール發電所並に發電力二十五萬キロワットの新たな最大のスターリノゴルスキー中央發電所及びモスクワ市における總發電力二十八萬五千キロワットの發電所であらう。モスクワ州の總發電力は一九三七年には一九三二年の六十九萬二千八百キロワットに對し十三萬四千キロワットに達するが總發電所の三分の一は火力發電所である。

ノヴォツォリスク冶金工場の建設は鑄鐵供給の任務を解決するであらう。「電氣鋼」工場の改造は其の生産高を十二



萬噸迄高めて、モスクワ工業に止まらず他地方工業にも良質展鐵を保障するであらう。

計畫案の極めて重要な問題は最大の運輸建設事業である。モスクワを深水港に轉化するところのヴォルガ—モスクワ運河建設はモスクワの貨物に大能力を有する安價な水路を開くものである。モスクワ—ドンバス間の新幹線はモスクワ州に燃料を供給する上で巨大な役割を演ずる。同州の運輸條件の改善にとつてこれにも劣らず重要な任務を果すものはモスクワで交叉する鐵道の電化並びに改造である。

農業の方面では第二次五ヶ年間の根本的問題はモスクワ州を消費地から生産地へ轉化する任務を完全に解決することであるが、これは特に小麥の播種の大増加を伴うところの百萬ヘクタールに亘る播種面積の擴大、總てのソフホーズ及びコルホーズにおける正しい循環農法の實施、百八十ヶ所の新MTSの組織、基本的農業過程の機械化等によつて達成されるのである。

イワハフ州。第二次五ヶ年計畫は第一次五ヶ年計畫中に創設されたところの重工業諸部門、就中機械工業及び化學工業のより以上の發達と、高級織物工業のより以上の發達並びに特殊化を計畫してゐる。全工業部門の新技術を得得してイワノフ州は第二次五ヶ年間に技術的水準においては聯邦の先進的の地方の一つとなるであらう。この點は第二次五ヶ年間に建設される次の諸企業を列擧すれば充分である。即ち、ヤロスラウリにおける大型自動車の生産をなす世界最大の自動車工場、最大のゴム石綿企業聯合、有力な水力發電所、有力な亞麻聯合工場、捺染霜降織企業聯合、——最大の且つ技術的に完成せる木綿工業企業の一つ、泥炭及び道路機械工場、絹綿交織工場、裁縫工場その他。機械製造及び金屬加工機の生産高は一九三二年の二億七千二百二十萬ルーブルから一九三七年には五億一千五百二十萬ルーブル迄即ち殆んど二倍に増大する。そしてヤロスウリは最大の機械製造業中心地に轉化しそこには運輸機械製造と並

んで造船業が發達する。

輕工業の總生産高は十二億三千五百萬ルーブルから三十二億五百萬ルーブル迄、即ち一五九パーセント増大する。同州の廣汎な工業發達は充分な燃料と動力基礎の創設問題を特に尖鋭化する。泥炭の生産高は二百萬噸から三百六十萬噸迄増大せねばならぬ。石油加工工業の建設事業と共にヴォルガによる石油運輸を廣汎に利用せねばならぬ。前者は十二の石油分溜場と七本の分溜管を有する大規模な石油蒸溜工場の部分的開始を保證するものである。次に地方發電所の能力をも増加せねばならぬ。即ちイワノフ地方國營發電所は一九三二年の七萬五千ワットから一九三七年には十二萬四千ワット迄、ヤロスラフ火力中央發電所は七萬二千ワット迄、そして全發電所の總發電力は三十五萬五千ワット迄増大せねばならぬ。第二次五ヶ年において着手され、一九三八年に開業するところのヴォルガ河の發電力十萬ワットの有力なヤロスラフ水力發電所の建設事業は特に注意を要する。ヤロスラフ水力發電所の開始に至る迄のこれ等總ての手段をもつてしてもイワノフ州には尙電力の不足が生ずるであらう、この不足は地方間の配電網によつて補充されるであらう。

農業の方面における第二次五ヶ年の主要任務は、穀物播種の擴張(三三・七パーセント)、亞麻生産の發達、急速に發展しつつある牧畜業の爲の強固な飼料基礎の創設等である。州内のトラクター臺數は五ヶ年間に十倍以上に増加し一九三七年には十七萬馬力に達するのである。

ゴリキ地方。ゴリキ地方は第一次五ヶ年間に聯邦の有力な工業地方の一つとなつたが、第二次五ヶ年には運輸機械、機臺製作、化學工業及び輕工業等への専門化を保持するであらう。

同地方は聯邦自動車生産高の六十五パーセントを生産し、聯邦における機臺生産高の五分の一を供給し、聯邦製紙



高の一八パーセントを生産し、張木の一四・二パーセント、木質繊維の二二・三パーセントを供給するであらう。

機械工業の方面の最重要任務はゴリキール自動車工場の全能力の獲得である。その建設事業には第二次五ヶ年間に同州の重工業投資額の二八パーセント、即ち機械製造投資額の五三パーセントが投ぜられるのである。ソルモフスク造船工場の大改造は同工場を聯邦の河川船舶建造の根本基礎たらしめるであらう。同地方は腕の確かな機械製造と云つた點では最大の意義を獲得するであらう。有力な廻轉耕耘機工場、齒刻機械工場の建設が完成され、金屬截斷機に適合する大量生産が創設される。

同地方においては弱電流工業が発達し、三ヶ所のラヂオ機械工場が建設される。これと平行してディーゼル機關建造が発達し、同地方において發展せる製紙工業用裝備品及び輕工業用裝備品、製粉用裝備品等の生産が組織される。

豊富な森林の存在は同地方に木材、木材製紙及び木材化學工業の發達を呼び起してゐる。

ゴリキール地方には地方燃料基礎（泥炭産出高は二倍以上に増大する）を著しく發達させ、幾多の發電所を地方燃料へ移す任務がある。然しそれでも尙同地方は第二次五ヶ年の終りにも燃料の不足を克服しないであらう。

同州に建設されつゝある有力な石油蒸溜企業聯合は地方燃料バランスを變化させ、石油消費を増加させる。石油加工業の生産品は動力燃料として利用されるであらう。

同地方の電氣建設事業は第三次五ヶ年において開始されるところの巨大なワシリェフ水力發電所の建設、ソルモウ・カナウ・インスク火力中央發電所、ヂェルジンスク火力發電所、ゴリキール水力發電所の全能力の發揮（二十萬四千キロワット）自動車工場及びその他の工業發電所の擴張等によつて特徴づけられる。作業中の發電所總發電力は二倍に増加する。

ゴリキール地方は聯邦の根本的亞麻生産地方の一つである。同地方には亞麻工業の大規模な三つの企業が建設され、麻織物の生産一九三二年の水準に對し殆ど十倍に増加する。

ゴリキール地方は消費地帯地方中にあつて最も後れた農業技術を有する地方として有名であつたが、今や高度に機械化された農業地方に轉化する。トラクター臺数は十八倍以上に増大し、家畜頭數と牧畜業生産品が増大する。

第二次五ヶ年にはゴリキール地方とソヴェト聯邦内他地方との經濟的連絡が、金屬、石炭、石油を移入し、木質纖維、機械製造業、化學其の他の部門の生産品を移出する方向に發達する。ゴリキール地方の弱點となつてゐる運輸問題はゴリキール鐵道主要部の改造と、ゴリキールから東方への新出口の開設、ヴォルガ河の水運の改善によつて解決されるのである。

マリイ自治州は機械的、化學的木材加工業に専門化される。チュウヴシ自治共和國は頁岩と燐灰土に基く化學工業の發達に、ウヅムルト自治州は腕の確かな機械製造業の發達と同州に産する亞麻に立脚する亞麻工業とに夫々専門化される。

ソヴェト聯邦の中央工業諸地方の根本的發達方針は以上の如くである。これらの地方は夫々確りした生産部門に専門化しつゝ、過去において其の發展を阻止した幾多の缺陷を克服して、國民經濟の技術的改造完成事業に最も巨大な役割を演ずるのである。

過去において工業的に後れてゐたソヴェト聯邦ヨーロッパ部の他地方も亦大發達を遂げるであらう。就中これはヴォルガ河沿岸の地方について云へるのである。

中部ヴォルガ地方は第二次五ヶ年間に發達した運輸機械製造業、電機技術工業、石油加工業、發達した農産原料加



工工業等を有する地方に轉化する。第二次五ヶ年においてこの地方の専門化を深める最重要建設事業は、サマラの自動車工場、自動車トラクター装備品、乾電池、ラチオ真空管等の諸工場、オルスクにおける有力な機關車製造工場、同所の石油蒸溜工場及び其の他であらう。

第二次五ヶ年において中部ヴォルガ地方にとつて新たな建設はハリロフの冶金工場とブリヤフの卑金屬冶金聯合工場の建設である。これらの工場は鐵鋼及び卑金屬冶金企業基礎建設の堅固な基礎を築くものである。

輕工業及び食料品工業の方面で第二次五ヶ年に計畫されてゐる廣汎な建設事業も矢張り指摘せねばならぬ。これらの部門においては、この期間に四十ヶ所の新工業企業が建設されるが、これは農産原料品加工業の有力な基礎を創設するものである。

オルスク地方には最大の、多方面に發達した工業中心が形成される。

中部ヴォルガ地方においては、急速に工業化されつゝある他のヴォルガ沿岸諸地方と同様に、燃料問題が著しく尖鋭化してゐる。急速に發達しつつある工業と運輸にドンバス産の動力燃料を補給することが幾多の困難に遭遇してゐるだけに、第二次五ヶ年計畫においては同地方産燃料頁岩の廣汎な生産並に石油加工工業——その生産品も亦同地方の切迫せる燃料バランスを緩和するであらう——の發達が計畫されてゐる。

同地方の最重要任務は農業——穀物及び工業用農作物と高度に商品的な牧畜業——の一層の發達である。第二次五ヶ年計畫は、ヴォルガ東岸地方の灌漑事業の着手を實際に實現し、地方的水流によつて六萬五千ヘクタールの被灌漑地を創設し、そしてヴォルガ東岸地方一帯の灌漑計畫の實現を準備する。

タタール自治共和國はその工業化過程が特に活潑な速度を以て行はれてゐる地方の中に屬する。

計畫案は重工業、輕工業及び食料品工業の二十五以上の新工業企業の建設を目論んでゐる。計畫に豫定されてゐるところの客車工場、光學用器具工場、自動車トラクター装備品工場等の建設はこの共和國にとつて最大の意義を有するであらう。

キネマ寫真工業(キネマ・フィルム工場、寫真印畫紙及びカリウム化學工場)、毛皮工業及び特に廣汎な建設が目論まれてゐるところの食料品工業等の方面でも同共和國は大なる意義を有するであらう。

計畫案によつて目論まれたタタール自治共和國の發達は同共和國の動力經濟發達問題に特に注意を要求してゐる。この問題の解決の爲め第二次五ヶ年計畫に豫定されてゐる發電所の發電力は、三萬四千九百キロワットから十一萬一千九百キロワット迄高められ、即ち五ヶ年間に三倍以上に増加する。タタール自治共和國に動力燃料を供給する問題は大なる意義を獲得する。

計畫によつて目論まれてゐるところのカザン——ブグリム間の鐵道建設の巨大な經濟的意義を指摘せねばならぬ、今日迄はタタール自治共和國の工業建設は殆んど専らカザン地方に集中され、その他の部分は農業地方となつてゐるのである。この鐵道建設は二つの幹線鐵道を連結しつゝ、ソヴェト聯邦の運輸網に同共和國の新地方を包含し、そして同共和國內に工業の一層均等な分配の可能性を條件づけるものである。

農業の發達はその技術的裝備の大成長によつて強化される。同共和國のトラクターは五ヶ年間に一萬七千三百馬力から二十萬馬力迄増大する。牧畜業殊に早熟的牧畜業の發達に特に注意を集中すべきである。

ヴォルガ東岸地方。第一次五ヶ年計畫において本地方内に開始された機械製作工場の建設の完成とならんで、年産三噸積自動車十萬臺の能力を有する一大工場の建設が展開されるであらう。スターリングラードのトラクター工場は